

平成27年7月教育委員会定例会議事日程

新潟市教育委員会

日 時	平成27年7月29日(水) 午後2時30分 開会
場 所	新潟市役所白山浦庁舎7号棟 405会議室
日 程	<p>第1 会議録署名委員の指名</p> <p>第2 付議事件</p> <p>議案第8号 市立小学校長の人事について…………… 1</p> <p>議案第9号 平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について…………… 2</p> <p>議案第10号 平成28年度使用新潟市立中学校用教科用図書並びに新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について…… 7</p> <p>議案第11号 平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について…………… 1 2 2</p> <p>第3 次回日程</p> <p>8月定例会 平成27年 8月28日(金) 午後3時30分</p> <p>9月定例会 平成27年 9月25日(金) 午後3時30分</p> <p>10月定例会 平成27年10月26日(月) 午後3時30分</p> <p>第4 閉会</p> <p>第5 協議会</p> <p>・教育委員会の事務の管理及び執行状況に関する点検・評価について…… …………… 1</p>

平成27年7月

教育委員会定例会議案等

新潟市教育委員会

付議事件

議案第 8 号

市立小学校長の人事について

市立小学校長の人事について，次のとおりとしたため議決を求める。

平成 27 年 7 月 29 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

非公開での審議を予定しており，資料は関係者のみ配布します。

議案第9号

平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について

平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書の採択について，議決を求める。

平成27年7月29日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

平成28年度使用新潟市立小学校用教科用図書

新潟市教育委員会

教科・発行者 の番号・略称	使用 学年	教科書の 記号・番号	書 名	
国語 2 東書	1	国語 131	新編 あたらしい こくご 一上	
		国語 132	新編 あたらしい こくご 一下	
	2	国語 231	新編 新しい国語 二上	
		国語 232	新編 新しい国語 二下	
	3	国語 331	新編 新しい国語 三上	
		国語 332	新編 新しい国語 三下	
	4	国語 431	新編 新しい国語 四上	
		国語 432	新編 新しい国語 四下	
	5	国語 531	新編 新しい国語 五	
	6	国語 631	新編 新しい国語 六	
	書写 11 学図	1	書写 132	みんなとまなぶ しょうがっこう しょしゃ 一ねん
		2	書写 232	みんなと学ぶ 小学校 しょしゃ 二年
3		書写 332	みんなと学ぶ 小学校 書写 三年	
4		書写 432	みんなと学ぶ 小学校 書写 四年	
5		書写 532	みんなと学ぶ 小学校 書写 五年	
6		書写 632	みんなと学ぶ 小学校 書写 六年	
社会 17 教出	3・4	社会 333	小学社会 3・4上	
		社会 334	小学社会 3・4下	
	5	社会 533	小学社会 5上	
		社会 534	小学社会 5下	
	6	社会 633	小学社会 6上	
		社会 634	小学社会 6下	
地図 2 東書	4 6	地図 431	新編 新しい地図帳	
算数 11 学図	1	算数 134	みんなとまなぶ しょうがっこう さんすう 1ねん	
	2	算数 234	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上	
		算数 235	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年下	
	3	算数 334	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上	
		算数 335	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年下	

算 数 1 1 学 図	4 5 6	算数 434 算数 435 算数 534 算数 634 算数 635	みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上 みんなと学ぶ 小学校 算数 4年下 みんなと学ぶ 小学校 算数 5年 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋
理 科 1 1 学 図	3 4 5 6	理科 333 理科 433 理科 533 理科 633	みんなと学ぶ 小学校 理科 3年 みんなと学ぶ 小学校 理科 4年 みんなと学ぶ 小学校 理科 5年 みんなと学ぶ 小学校 理科 6年
生 活 1 1 学 図	1・2	生活 135 生活 136	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
音 楽 2 7 教 芸	1 2 3 4 5 6	音楽 132 音楽 232 音楽 332 音楽 432 音楽 532 音楽 632	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6
図画工作 1 1 6 日 文	1・2 3・4 5・6	図工 133 図工 134 図工 333 図工 334 図工 533 図工 534	ずがこうさく 1・2 上 たのしいなおもしろいな ずがこうさく 1・2 下 たのしいなおもしろいな 図画工作 3・4 上 見つけたよ ためしたよ 図画工作 3・4 下 見つけたよ ためしたよ 図画工作 5・6 上 見つめて 広げて 図画工作 5・6 下 見つめて 広げて
家 庭 9 開隆堂	5・6	家庭 532	小学校 わたしたちの家庭科 5・6
保 健 2 東 書	3・4 5・6	保健 331 保健 531	新編 新しいほけん 3・4 新編 新しい保健 5・6

平成27年7月13日

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子 様

平成28年度使用教科用図書選定委員会

委員長

柴田 秀子



平成28年度使用教科用図書に関する資料について (答申)

このことについて、下記観点からの研究結果に基づき慎重に審議した結果、平成28年度に新潟市の中学校で使用する教科用図書及び特別支援学校・学級で使用する一般図書、高志中等教育学校前期課程で使用する教科用図書を採択する際に参考となる資料について、別紙のとおり、答申いたします。

記

1. 学習指導要領の目標や内容等を十分踏まえたこと。
2. 新潟市における学校教育の課題や重点を各教科の面から明確にとらえたこと。
3. 県提供の資料を参酌し、各教科用図書の特徴が明瞭になるように、内容の選択、扱い方、程度、表現等の観点から比較検討したこと。
4. 特別支援学校・学級用の一般図書については、教科の主たる教材としての内容を具備し、教育上適切であると判断され、障がいの程度を十分踏まえたこと。
5. 高志中等教育学校前期課程で使用する教科用図書については、高志中等教育学校の教育目標及び教育内容に適していること。

部外秘

平成28年度使用教科用図書

専門調査員研究報告書（答申）

中学校部会

特別支援教育部会

高志中等教育学校前期課程部会

議案第 10 号

平成 28 年度使用新潟市立中学校用教科用図書並びに新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について

平成 28 年度使用新潟市立中学校用教科用図書並びに新潟市立特別支援学校・学級用一般図書の採択について，議決を求める。

平成 27 年 7 月 29 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

中学校用教科用図書
(答申)

平成28年度使用教科用図書選定委員会

中学校部会報告

1 専門調査員による研究経過について

(1) 専門調査員の打合せ会

平成27年5月25日（月）午後3時から、新潟市役所白山浦庁舎において、9教科の専門調査員による平成28年度使用教科用図書専門調査員打合せ会が開催された。

全体会では、教科用図書採択に関する基本方針、諮問内容の確認、調査研究業務遂行における基本的な心構え、研究報告書及び作業日程の説明等がなされた。

各教科部会では、調査研究の観点や作業日程等、今後の調査研究の推進について話し合い、確認しあった。

(2) 各教科の調査研究

各教科部会では、一人一人の委員が調査研究の観点を基に調査・研究を進めるとともに、計画に基づいて部会を開き、委員間で積極的に意見を交換し合い、検討結果を調査研究報告書としてまとめた。

2 調査研究の結果について

(1) 各教科の調査研究の結果は、別紙報告書のとおりである。

(2) 調査研究に当たって、重視した考え方や理由等は、概ね次のとおりである。

学習指導要領の目標に照らすとともに、新潟市の中学生の学力や学習への取組の実態を踏まえ、各教科指導における課題や重点等から考えて、教科の本質に関わるものを重視する。また、子どもの一人一人の学ぶ意欲を喚起し、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力を高めようとする工夫が見られるか、次の観点から調査・検討した。

ア 単元・題材構成や配列が、生徒の意識や思考の深まりに配慮されている。

イ 学習過程や学習の連続性を工夫し、学習活動への意欲付け、学習の進め方やまとめ方などに配慮されている。

ウ 各教科の基礎的・基本的事項の習熟への配慮がなされている。

エ 言語活動への充実に向け、配慮されている。

オ 発展的な内容が生徒の実態に即しており、無理なく学習が進められるよう工夫が見られる。

カ ユニバーサルデザイン化に配慮しており、生徒の興味・関心を喚起したり、思考を助けたりできるように、写真やイラスト、図、資料等に工夫が見られる。

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告

国 語

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の5種である。

2 東書 11 学図 15 三省堂 17 教出 38 光村

2 「国語」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「国語」指導における課題・重点等から

新潟市の国語指導においては、4観点それぞれに課題がある。
とりわけ「読むこと」においては、長文や資料の解釈、文章の展開や構成を正確に捉えること、叙述に即して自分の考えや感想をもつことに課題がある。
これらの課題を解決するためには、授業において、次のような学習活動の工夫が必要である。

- ・読むことの目的や、読みたいという気持ちを導入段階で明確にもたせること。
- ・指導事項を明確にしつつ、多様な文（解説書・説明書き・パンフレット・ポスター等）や多くの本を教材として取り上げ、言語活動を充実させること。
- ・生徒を表現者の立場に立たせて筆者の書きぶりを吟味させ、それらの批評文を生徒同士で交流すること。

① 単元の構成

- ・単元のとらえ方の特徴
- ・単元の数や内容的な内訳
- ・単元構成の仕方に見られる特徴 など

② 課題設定への配慮

- ・付けたい力の明瞭さ
- ・課題設定に向けた導入段階で工夫されている点 など

③ 学習活動の組織等の配慮

- ・「話す・聞く」「書く」「読む」関連指導の特徴 など

④ 言語活動への配慮

- ・「単元を貫く言語活動」を意識して工夫している点 など

(2) その他

① ユニバーサルデザイン化への配慮

- ・全体の色調や、単元と色分けとの関連性
- ・挿絵や図表などに見られる特徴
- ・主に古典教材に於ける文字ポイント数やルビ振りの配慮 など

② 記述・表現

(3) 全体的な特徴

- ・以上の観点から見た結果を総合してのそれぞれの教科書の特徴

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
2 — 東書	<p>(1)－① 単元の構成</p> <p>(1)－② 課題設定への配慮</p> <p>(1)－③ 学習活動の 組織等の配慮</p> <p>(1)－④ 言語活動への配慮</p>	<p>○全学年が7つの単元で構成されており、5つめが古典単元となっている。7つの単元の中に「読書への招待」などが5つ挟み込まれている。巻末には、「学びを支える言葉の力」と「文法解説」からなる〈基礎編〉と、〈資料編〉が置かれている。</p> <p>○「目標」を確認することで、「身に付けさせたい力」や学習の流れが見通せるようになっている。</p> <p>○「てびき」は読み取る内容と、話し合い活動などによって考えを深める内容とに分かれて示されているため課題設定に役立つ。</p> <p>○「学びの扉」を設け、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の学習活動で生かす言葉の力を示しており、「基礎編」でさらにくわしく書かれている。</p> <p>○「書くこと」の前に、関連した教材が置かれている。</p> <p>○単元を貫く言語活動がきちんと設定されており、単元の初めにゴールを予告し見通しをもって学習に取り組めるようになっている。また自分の考えを表出したり友達と交流したりするために、「てびき」の課題に「説明してみよう」と指示があったり、「たすけ」が付いていたりする。</p>
書 名 新 し い 国 語	<p>(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮</p> <p>(2)－② 記述・表現</p>	<p>○「読む」「書く」「古典」「話す・聞く」ごとに、それにあったイラストと色で目印が付いている。</p> <p>○カラーの写真・イラストが多く使われており、視覚的に興味を引くようになっている。</p> <p>○物語の展開を示すなどの古典絵巻の折り込み資料が配置されている。原文はやや大きな文字で記載されている。</p>
	(3) 全体的な特徴	○個々の教材において「身に付けたい力」と、学習の流れが明確に定められている。さらに、単元を貫く言語活動もきちんと設定されている。

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
1 1 — 学図	<p>(1)－① 単元の構成</p> <p>(1)－② 課題設定への配慮</p> <p>(1)－③ 学習活動の 組織等の配慮</p> <p>(1)－④ 言語活動への配慮</p>	<p>○全学年が5つの単元+「言語の学習」で構成されており、4つめが古典単元となっている。各単元共通で、はじめに複数の教材文があり、それに続いて「言語活動（話す・聞く、書く）」、漢字、文法等の学習のページが置かれる構成となっている。</p> <p>○「学びの窓」に設定された交流をはじめとする多彩な活動で読み深めることができるとともに、身に付いた力を確かめることができる。</p> <p>○中でも「表現吟味」に力を入れており、課題提示の工夫が見られる。</p> <p>○「発見する読み」を設け、「読むこと」のポイントを示し、それを確かめる教材がある。「活動を考える」を設け、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「話すこと」の学習活動で生かす言葉の力を示している。</p> <p>○「読む前に」を設け、関心をもって文章を読めるようにしている。</p> <p>○同一作者の他作品との読み比べなど多くの単元で言語活動が設定されている。また「発見する読み」の後で言語活動を設定するという流れも可能である。また自分の考えの表出や仲間との交流を促進する意図で、手引き（「学びの窓」）の課題自体も指示も具体的である。</p>
書 名 中 学 校 国 語	<p>(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮</p> <p>(2)－② 記述・表現</p>	<p>○「読む」「書く」「古典」「話す・聞く」ごとに、文字・ページ枠等色分け分類している。</p> <p>○行の下にドットが付いており、5行ごとに数字が入っている。</p> <p>○古典原文が大きく太字で記載されており、現代語訳が青字で左サイドに書かれている。</p>
	(3) 全体的な特徴	○比較読みをさせることで、筆者の意図や表現の違いに気付かせようとする課題が多く見られる。また、どの単元にも話し合い活動を設定している。

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
15 — 三省堂	(1)－① 単元の構成	○導入単元のあと、1・2年生は7つ、3年生は6つの単元があり、3つめと4つめの間に「古典に学ぶ」(古典単元)が置かれている。巻末には、全学年共通で、「読書の広場」・「考える広場」からなる資料編がある。
	(1)－② 課題設定への配慮	○単元(教材)で身に付けたい力が見やすく整理されていて見通しがもてるようになっている。また、各教材の目標に、どんな力をつけるかが明確に示されている。 ○「学びの道しるべ」の「内容を確認しよう」を行うことで課題意識が持てる構成になっている。 ○課題を解決する方法や思考のポイントを図解やモデルなどにより明示されている。
	(1)－③ 学習活動の 組織等の配慮	○「読み方を学ぼう」で、文章の読み取り方が示されている。「内容を整理しよう」「考えを深めよう」でその「読み方を学ぼう」との関連が示されている。「考えるためのことば」で、手掛かりが示されている。 ○「学びを広げよう」で、「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動も紹介されている。
	(1)－④ 言語活動への配慮	○「読むこと」の後に配置された言語活動が、単元を貫く言語活動になり得るよう構成されている。また形式と内容の両方について、自分の考えを表出または仲間と交流させる意図で、手引き(「学びの道しるべ」や「学びをひろげよう」)の課題が具体的である。
書 名 現代 の 国 語	(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮 (2)－② 記述・表現	○漢字語句の学習記号が色・記号の形で区別されている。 ○領域別教材一覧が付いており、学びの目標が確かめられる。 ○古典の物語に関係ある写真を折り込み、現代文と区別している。原文訳文が2段で対応しており、原文はやや大きな文字で記載されている。
	(3) 全体的な特徴	○身に付けたい力がマトリクスで見やすく整理されている。学習者が見通しをもてるように工夫されている。

発行者 の番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 — 教出	(1)－① 単元の構成	○1・2年生は8つ、3年生は7つの単元で構成されており、いずれも5つめが古典単元となっている。巻末に、「言葉と文法 解説編・漢字」・「言葉の自習室」などの資料が置かれている。
	(1)－② 課題設定への配慮	○各教材の学習の進め方や身に付けたい力や重点などを「みちしるべ」にまとめている。 ○各教材で、どのような力をどうやってつけばよいのかといった手順を明確に示している。 ○「確かめよう」では基礎的な課題、「深めよう」では交流して問題解決する課題が示してある。
	(1)－③ 学習活動の 組織等の配慮	○「ここが大事」で読み取り方のポイントを示している。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の例が詳しい。「ことば・表現」で、文書中のことばの使い方や、表現の仕方についても考えさせるようになっている。 ○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動も紹介されている。
	(1)－④ 言語活動への配慮	○「読むこと」と言語活動が連続している。全ての生徒にとって取り組みやすくする意図で、「読むこと」から「書くこと」の練習、「書くこと」と段階的な課題が設定されている。また自分の考えを表出させたり自分の考えを仲間と交流させる意図で、手引き(「みちしるべ」)の課題が具体的である。
書名	(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮	○新出漢字が大きな文字で欄外に提示されている。 ○行の下にドットが付いており、5行ごとに数字が入っている。
中学 国語	(2)－② 記述・表現	○古典の絵巻がふんだんに使われており、古典の世界が視覚的に表現されている。原文はやや大きな文字で記載されている。
	(3) 全体的な特徴	○学習者が自学・自習できるほど、学習課題と学習の進め方が詳細に書かれている。

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
38 — 光村	<p>(1)－① 単元の構成</p> <p>(1)－② 課題設定への配慮</p> <p>(1)－③ 学習活動の 組織等の配慮</p> <p>(1)－④ 言語活動への配慮</p>	<p>○全学年が7つの単元+「文法」・「漢字に親しもう」・「学習を広げる」で構成されており，5つめが古典単元となっている。7つの単元の間「読書生活を豊かに」・「読書に親しむ」の2つの読書単元が配置されている。</p> <p>○学習を通して身に付ける力を教材の冒頭と「学習」の二箇所を示してある。</p> <p>○学ぶ項目を「確認しよう」「読みを深めよう」の二つに焦点化し，課題設定に向けた配慮がなされている。また「自分の考えをもとう」では話し合い課題などを示している。</p> <p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」の活動の前に「練習」を設け，ポイントを示している。「言葉を広げる」文章中のことばの使い方や，表現の仕方についても考えさせるようになっている。</p> <p>○発展としての書くことの活動がところどころにある。</p> <p>○「読むこと」と単元を貫く言語活動になり得る活動が連続している教材が多い。また自分の考えの表出させる課題を設定する際には，構成・表現・ものの見方の三つにきちんと分類している。仲間と交流を意図して，後話や題名の意味を考えさせる課題が設定されている。</p>
書 名 国 語	<p>(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮</p> <p>(2)－② 記述・表現</p>	<p>○全体に色味を抑えている。</p> <p>○欄外の語句が2色で色分けされ，漢字を学ぶのか語句の意味等を学ぶのか大別されている。</p> <p>○扱う古文が精選されており，音読を意識して大きな太字で原文が記載されている。現代語訳が左サイドに緑の文字で付されている。</p>
	(3) 全体的な特徴	<p>・付けたい力が明確で，そのための適切な教材が配置されている。また，単元を貫く言語活動になり得る活動が工夫できるように「読むこと」と連続する教材に工夫が見られる。</p>

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告

書 写

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の5種である。

2 東書 11 学図 15 三省堂 17 教出 38 光村

2 「国語」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「国語」指導における課題・重点等から

新潟市の書写指導においては、次の2点に課題がある。
書写の授業の実態として、手本と同じように書くということに目標が置かれているために、本来の学習指導要領上の目標が希薄になっている。
書写の評価は書かれた結果に重きが置かれ、その過程を軽視する傾向がある。
これらの課題を解決するためには、授業において、次のような学習活動の工夫が必要である。

- ・生徒の生活に即した手紙や、ノート、ポスター等を教材とし、書く必然性のある、書かざるを得ない状況（学習課題）を設定していくこと。
- ・お手本重視ではなく、一字から言葉へ、言葉から文章へという手続きを重視し、評価していくこと。

① 単元の構成

- ・単元のとらえ方の特徴
- ・単元の数や内容的な内訳
- ・単元構成の仕方に見られる特徴 など

② 課題設定への配慮

- ・付けたい力の明瞭さ
- ・課題設定に向けた導入段階で工夫されている点 など

③ 学習活動の組織等の配慮

- ・硬筆指導と毛筆指導との関連付けの特徴
- ・日常的な書く活動との関連付けの特徴 など

④ 言語活動への配慮

- ・「単元を貫く言語活動」を意識して工夫している点 など

(2) その他

① ユニバーサルデザイン化への配慮

- ・全体の色調や、単元と色分けとの関連性 など

② 記述・表現

- ・手本や写真などに見られる特徴 など

(3) 全体的な特徴

- ・以上の観点から見た結果を総合してのそれぞれの教科書の特徴

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
2 — 東書	<p>(1)－① 単元の構成</p> <p>(1)－② 課題設定への配慮</p> <p>(1)－③ 学習活動の 組織等の配慮</p> <p>(1)－④ 言語活動への配慮</p>	<p>○1年生3単元，2年生4単元，3年生3単元で構成されている。</p> <p>○各学年に「生活を豊かにする文字」と題された単元がある。</p> <p>○1年生は楷書・行書，2年生で仮名が加わり，3年生は実生活と関連させる内容となっている。</p> <p>○巻末に資料編がある。</p> <p>○学習の目標や文字を書くときのポイント，課題にあった練習の方法などがイラストなどで明示されている。</p> <p>○1年生から，生活の中のいろいろな場面に活用させ，2年生の終わりころから実用的な場を想定しての学習活動が設けられている。</p> <p>○毛筆は2年まで，3年では生活に活かすと明確に分けてある。</p> <p>○何のために書くかという目的意識をもたせるために，生活に活かす部分を充実させている。</p> <p>○作品を仕上げるまでの流れが明確である。</p>
書 名 新 し い 書 写	<p>(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮</p> <p>(2)－② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○B5版+2.5cmの大きさと欄外が広く，書く時のポイントが詳しく載っている。</p> <p>○基本点画および手本の解説が朱と薄墨で示されており，筆遣いが写真で表現されている。</p> <p>○毛筆は2年までで，3年では生活における具体的な書写場面を設定し，目的意識を醸成した上で書かせるように工夫されている。</p>

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
1 1 — 学 図	(1)－① 単元の構成 (1)－② 課題設定への配慮 (1)－③ 学習活動の 組織等の配慮 (1)－④ 言語活動への配慮	○1年生3単元，2年生3単元，3年生1単元で構成されている。 ○1・2年生は楷書・行書・仮名を，それぞれ段階を追って学び，3年生は実生活に生かすような内容となっている。 ○単元の間にはコラムがはさまれ，巻末には資料編もある。 ○各単元の構成が，毛筆書写→解説→硬筆練習という流れで統一されており，やるべき課題が明示されている。 ○1，2年生は，毛筆，硬筆が中心になっている。 ○3年生は毛筆を「生活に生かす」ことが中心になっている。 ○苦手意識のある学習者への配慮を意図して，字形を整えて書くためのポイントが赤字で入っている。 ○基本的な点画が，画と文字での説明と両方があり，楷書と行書を比較する指示がある。
書 名 中 学 校 書 写	(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮 (2)－② 記述・表現 (3) 全体的な特徴	○半紙、書き初め用紙の実物大手本が折り込んである。 ○筆遣いの解説が始筆と終筆を意識して学べるように示してある。 ○学ぶ項目ごとに色分けされている。 ○全単元が「毛筆書写→解説→硬筆練習」という毛・硬関連指導の流れで書かれていて理解しやすい。また，3年では生活に生かす視点で単元が組まれている。

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
15 — 三省堂	(1)－① 単元の構成 (1)－② 課題設定への配慮 (1)－③ 学習活動の 組織等の配慮 (1)－④ 言語活動への配慮	○1・2年生4単元，3年生2単元で構成されている。 ○各学年半分は「生活に生かそう」と題された単元である。 ○1・2年生で楷書・行書を段階を追って学び，3年生は効果的な表現を学ぶ内容となっている。 ○巻末には資料編もある。 ○基礎・基本，日常への生かし方，コミュニケーションとしての書写の力など書写学習における課題に気づき，考える構成になっている。 ○「考えよう 話し合おう」で課題意識を持たせている。 ○2年生の後半から実用的な場を想定しての学習活動が設けられている。 ○学習者が自学することを意図して，目標や学習内容・作業指示が明確である。 ○ちらしや荷札の書き方など生活に密着した例が示されたりしている。
書 名 現 代 の 書 写	(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮 (2)－② 記述・表現	○目次に学習の流れが記載されている。 ○学習のヒントのキャラクターがあり，ポイントを吹き出しのせりふの形で語らせている。 ○書き初め用紙の実物大手本が折り込んである。
	(3) 全体的な特徴	○学習者にとって身近で，日常生活と密接に結びついた教材が多く見られる。また，それらを基に書くことの意味に気づき，目的意識をもって追究できるような教材構成となっている。

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
1-7 — 教出	<p>(1)－① 単元の構成</p> <p>(1)－② 課題設定への配慮</p> <p>(1)－③ 学習活動の 組織等の配慮</p> <p>(1)－④ 言語活動への配慮</p>	<p>○全学年共通で3単元構成となっている。</p> <p>○2年生に「学習活動や日常生活に生かして書こう」という単元がある。</p> <p>○3年生では効果的表現の単元がある。</p> <p>○単元の間と巻末に資料ページが設けられている。</p> <p>○社会に生きて働く書写の力を意識し、目的に応じた様々な書写表現のあり方を豊富な資料で示している。</p> <p>○「学習を生かして書く」ということで、1年生から学校生活での活用を練習する活動が少し盛り込まれている。</p> <p>○楷書から行書への段階的指導を重視している。</p> <p>○点画の連続や省略を理解させることを意図して、書き順が明記されていたり、筆順の変化なども対照して示されていたりする。</p>
書・名 中 学 書 写	<p>(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮</p> <p>(2)－② 記述・表現</p>	<p>○筆遣いが写真で収録されており、書き方が具体的に示されている。</p> <p>○硬筆を書くポイントの点画が朱色で強調されている。</p> <p>○書き初め用紙の実物大手本が折り込んである。</p>
	<p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○楷書から行書への段階的指導を重視し、点画の連続、省略、筆順の変化、筆遣いなど、ビジュアル資料を用いながら、丁寧に示している。また、書き初め用紙の実物大手本を折り込むなど、教科書をそのまま活用して作品を仕上げられるように工夫されている。生活の中での書写については、資料で具体例を示している。</p>

発行者 の番号 — 略 称	項目・観点等	特 徴
3 8 — 光村	(1)－① 単元の構成 (1)－② 課題設定への配慮 (1)－③ 学習活動の 組織等の配慮 (1)－④ 言語活動への配慮	○1・2年生3単元，3年生2単元で構成されている。 ○1・2年生は楷書・仮名・行書を，それぞれ段階を追って学び，3年生は目的に応じた効果的表現について学ぶ内容となっている。 ○単元の間にはコラムがはさまれ，巻末には資料編もある。 ○「学習の窓」が文字の特徴や書き方を理解する上でのポイントや課題を示す働きをしている。 ○1，2年生は，毛筆，硬筆が中心になっている。 ○3年生は「文字を効果的に使う」ことが中心になっている。 ○小学校と中学校の接続を意識して，小学校の復習から始まっていたり，直接書き込めるページを設定したりしている。 ○学習者に考えさせる課題が設定されている。
書 名	(2)－① ユニバーサル デザイン化への配慮	○筆遣いと点画のつながりを点線で結んで運筆が示されている。 ○学ぶ項目ごとに，ページが色分けされている。 ○書き初め用紙の実物大手本が折り込んである。
書 写	(2)－② 記述・表現 (3) 全体的な特徴	○書き初め用紙の実物大手本が折り込んである。 ○最初の単元は，小学校と中学校の接続を意識した教材となっている。筆脈を重視し，ビジュアルで丁寧にしてある。また，全単元において，学習者に考えさせる課題が設定されている。3年では，生活の中にある書写を取り上げ，目的に応じた効果的表現について考えさせる教材を配置している。

社会（地理的分野）

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の4種である。

2 東書 17教出 46帝国 116日文

2 「社会」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「社会科」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

(1) 「標準的学力検査」結果などの様子から

- ① 社会的事象の意味の追究を図る。
- ② 資料を基に、社会的な見方・考え方の育成を図る。
- ③ 資料を分析・判断したことを自分の言葉で表現する活動（言語活動）の充実を図る。

(2) 各校の社会科学習の課題や学習指導要領の重点から

- ① 生徒の問題意識（関心・態度）を醸成させるための手立ての工夫。
- ② 地理的分野では、地理的技能を身に付けるとともに、身近な地域の調査学習で地域の発展に貢献する態度を養う。

① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）

- ・ 教科書の規格（ページ数、判、紙質、見開き）について
- ・ 単元の構成・配列について
- ・ 各単元の記述の量（重点）について

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・ 学習課題の設定のあり方
- ・ 学習課題の内容と表現は適切であるか
- ・ 学習課題の内容は生徒の興味・関心をかきたてるものであるか

③ その他の特徴・・・発展的内容の設定のあり方

- ・ 適切な言語活動が取り入れられているか
- ・ 難易度が適切であるか
- ・ 多様な学習の活動や方法が取り入れられているか

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ・ 統計資料や写真・挿絵・図などの取扱いについて
- ・ 見出し、文字の大きさ、色彩、欄外の使い方について

② 記述・表現

- ・ 用語や文字表現の読みやすさ、分かりやすさ

(3) 全体的な特徴

以上の観点から総合的に見た全体的な特徴について

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東 書	(1)-① 単元の構成や配列と重点 の置き方 (1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 295 巻頭 4 巻末 3 目次等 3 ○ 巻頭は風景や人々の生活の営み写真、巻末は南極大陸風景。 ○ 学習の初めでは小学校の復習とこれからの展望があわせてコーナーになっている。 ○ 「地形図の読み取り方」の指導箇所が2箇所に分かれている。 ○ 気候帯の学習とは別に、気候区の一部の内容は特集ページに括られている。 ○ 見出しタイトルの右側に課題記述がある。 ○ 学習課題は短くすっきりした文である。 ○ 見開き右側の最下段に共通して、学習課題に対して学習を深めるための「確認」が配置されている。 ○ 全体的に簡潔な記述である。 ○ 「地理にアクセス」のコーナーでは、そのページの関連事項に沿って掘り下げる内容が紹介されている。
書 名 新編 新しい社会	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ グラフや主題図の読み取りなどの技能の向上が図りやすい。 ○ 調査結果の表現の仕方を指導しやすい。 ○ 本文の詳しい解説等で理解を深めることができる。 ○ 各地の文化や課題の理解を深められる。 ○ 章末ごとに「この章の学習を確認しよう」で各州（地方）ごとの確認ができる。 ○ 各ページの資料で学習を使用し理解を深める指示や呼びかけがある。
地 理	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太字で示されている。。 ○ 必要に応じてルビがふられている。。 ○ 各州の概観をとらえるページでは、見開きで大きな写真と地勢図、次のページで降水量、人口密度、雨温図の位置を示している。 ○ 4人の生徒（ゆき・ひであき・あつし・みなこ）と2人の教師（ともき先生・さとみ先生）が本文内に登場して、疑問点や指示を出す形式になっている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真の解説を工夫して説明している。。 ○ 学習課題の設定は、必要に応じて示されている。 ○ 発展的内容「○○州（○○地方）の学習を振り返ろう」ではまとめ方の手法がある。 ○ 使われているフォントやルビは、内容に合わせて工夫してある。 ○ 「スキルアップ」のコーナーでは主題図、グラフの読み取りなどの指導が丁寧である。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
17 教 出	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 279 巻頭 5 巻末 4 ○ 巻頭と巻末にはたくさん写真が配置され、一つ一つの写真が大きく、色鮮やかである。 ○ 本文ページの見方と使い方の解説がある。 ○ アジア州では「朝鮮半島」の内容及び、朝鮮半島の発展と都市化について記述している。 ○ 世界のさまざまな地域の調査では、インドを中心とした南アジアを紹介している。(地誌的な記述)
書 名	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題」と表示されている。 ○ 単元タイトルの下側に記述がある。 ○ 学習課題記述が本時の学習内容を網羅している。 ○ 課題に即して「ふりかえる」のコーナーで確認の問題がある。 ○ 自然災害と復興について記述が本文 4 ページ、特集で 2 ページ割かれている。
中 学 社 会	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 最新の動向を知ることができる。 ○ 上級学校の学習内容が含まれている。 ○ 地図、グラフの読み方を重点的に指導できる。 ○ 「学習のまとめと表現」のあとに、「地域から世界を考えよう」の文章がある。 ○ 節の終わりに「学習のまとめと表現」と確かめ問題あり。 ○ 「見てみよう」で資料内容を解説している。
地 理	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開き 2 ページのはじめに、この時間で学ぶ学ぶ導入資料・中心資料を掲載し、解説文を取り入れている。 ○ 主な資源の写真がある。 ○ 字体が大きく見やすく、太字の部分はさらに大きく目にとまる。 ○ 4 人の生徒（みさき・なおき・あすか・かずや）と 2 人の先生（男女）が本文内に登場して、疑問点や指示を出す形式になっている。 ○ ルビで用語の読み方を示している。
地 域 に 学 ぶ	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用されている写真が大きめで、鮮やかなものが多い。人々の表情などもよく伝わる。 ○ ふりかえりのための設問が本文ページ中に用意されている。 ○ 発展的内容は比較的豊富である。 ○ 仮想の人物を多く登場させ、教科書然とにならないように工夫している。 ○ 本文のフォントが大きくて見やすい。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
46 帝 国	(1) 単元の構成や配列と重点 の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 279 巻頭 4 巻末 3 目次等 3 ○ 巻頭と巻末に多くの写真が配置され、巻頭は「人」の写真が多い。(文化の扱い) ○ 教科書の学習の仕方が解説されている。 ○ 本文中に、最新の内容が記述されている。 ○ 各州、各地方の代表的な風景写真に迫力あり。導入に見開き 2 ページの鮮やかな写真特集がある。
	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題」と表示されている。 ○ タイトルの右側に記述がある。 ○ 学習課題の設定に、その単元独自の具体的な記述がふくまれている。 ○ 学習課題の記述内容が詳しい。 ○ 見開きの右下に課題に対する振り返り「確認しよう」「説明しよう」がある。
書 名 社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識・技能を活用する作業内容である。 ○ 具体例を通じて学習内容を深める内容である。 ○ 地誌学習の節末ごとに「学習をふりかえろう」のコーナーがある。その中の「説明しよう」では、節ごとに多様な表現活動の手法が盛り込まれている。 ○ 知識を深めたいとき利用できるコラムがある。 ○ 「声」のコーナーで現地の人や実際に働く人のインタビュー内容がある。 ○ 各見開き欄外に「確認しよう」「説明しよう」の難易度の違う 2 種類が設定されている。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各ページの側面に色分けされたインデックスを掲載している。 ○ 2 人の生徒(さくら・けんた)が本文内に登場して、疑問点を指摘する形式である。 ○ 気候区分図の塗り分けと各気候区の雨温図のタイトルバックが同じ配色なので、場所と雨温図の両方を関連づけて理解しやすい。 ○ 地形図と空中写真を並べて掲載してある。 ○ ルビで用語の読み方を示している。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地理の基礎的な技能を磨くコラムが豊富。 ○ 各ページに「用語解説」あり。自分で学習しやすい。本文の記述も詳しい。 ○ 各州、各地方の大きく鮮やかな写真は、人々の表情まで汲み取れる写真が多い。 ○ 本文の外側に円グラフや帯グラフが多く、資料集がなくても授業を進めやすい。 ○ 詳しく説明されている部分がある。。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日 文	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 281 巻頭 2 巻末 3 目次等 3 ○ 巻頭は国ごとの人の写真，巻末は日本の世界遺産 ○ 教科書の構成と使い方が解説されている。 ○ 世界の諸地域では，州ごとに「自由研究」の項目が設定され，最新の時事に関する資料が提供されている。 ○ 最新の内容をおさめている。
書 名	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題」と表示されている。 ○ タイトルの左側に記述がある。 ○ 学習課題の設定は概略的，全般的な表現である。 ○ 学習課題の設定に関する表現が工夫されている。 ○ 学習課題に対する「学習の確認と活用」のコーナーがある。
中学社会 地理的分野	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地元地域の声を知るコラムがある。 ○ 章末の「地域からのメッセージ」で，地域の願いを読み取る活動がある。 ○ 章のはじめにある「ナビ」で学習内容が大まかに確認できる。 ○ 地理で必要な技能の修得をめざしている。 ○ 作業の学習を指示する「トライ」の設定がある。 ○ 章末の「学習のまとめ」では，テーマを設定して，知識を整理し，学習内容を活用する活動が組まれている。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 太字は大きく見える。 ○ 漢字の太字にはルビが打たれている。 ○ 世界の州の概観をとらえる単元では，地勢，気候区分，雨温図の位置が固定されている。 ○ 日本の地域の概観をとらえる単元では，1 頁目に地勢図，2 頁目に雨温図が示されている。 ○ 教師男女と生徒複数が本文内に登場して，疑問点を指摘する形式をとっている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 記述内容については，最新のできごとを採用している ○ 災害と防災関連のページが，多く割かれている。 ○ 学習課題に対する，学習の確認と活用の設問が用意されている ○ 太字が大きく見え，漢字には必ずルビが打たれている。 ○ 側面のインデックスが見やすく，章ごとの色分けがはっきりして探しやすい。

社会（歴史的分野）

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の8種である。

2 東書 17教出・35清水 46帝国 116日文 225自由社 227育鵬社・229学び舎

2 「社会」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「社会科」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

(1) 「標準的学力検査」結果などの様子から

- ① 社会的事象の意味の追究を図る。
- ② 資料を基に、社会的な見方・考え方の育成を図る。
- ③ 資料を分析・判断したことを自分の言葉で表現する活動（言語活動）の充実を図る。

(2) 各校の社会科学習の課題や学習指導要領の重点から

- ① 生徒の問題意識（関心・態度）を醸成させるための手立ての工夫。
- ② 歴史的分野では、日本の歴史の大きな流れを理解する際に課題追究的な学習を重視する。

① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）

- ・ 教科書の規格（ページ数、判、紙質、見開き）について
- ・ 単元の構成・配列について
- ・ 各単元の記述の量（重点）について

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・ 学習課題の設定のあり方
- ・ 学習課題の内容と表現は適切であるか
- ・ 学習課題の内容は生徒の興味・関心をかきたてるものであるか

③ その他の特徴・・・発展的内容の設定のあり方

- ・ 適切な言語活動が取り入れられているか
- ・ 難易度が適切であるか
- ・ 多様な学習の活動や方法が取り入れられているか

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ・ 統計資料や写真・挿絵・図などの取扱いについて
- ・ 見出し、文字の大きさ、色彩、欄外の使い方について

② 記述・表現

- ・ 用語や文字表現の読みやすさ、分かりやすさ

(3) 全体的な特徴

以上の観点から総合的に見た全体的な特徴について

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東書	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数285。AB版。 ○ 約半分を近現代史の紙面に割いている。「歴史の流れをとらえよう」から始まり、計7章の構成。 ○ 見開き2Pで小単元を構成している。
	(1)-② 学習課題設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題として、小単元に副題と課題が明示されている。 ○ 全ての小単元に共通して「どのようにして～なのか」、「どのような～なのか」といった文型で学習課題を載せている。
書名	(1)-③ 展展的内容設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章末に発展学習の課題があり、班活動・フィールドワーク・まとめ・発表などが示されている。 ○ 「私たち歴史探検隊」というコラムがあり、現地調査や校外学習の事例が紹介されている。 ○ 章末に「深めよう」、「時代の特色をとらえよう」のコーナーがあり、単元の学習を深めたり大観させたりする内容がある。
	新編 新しい社会歴史	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮
(3) 全体的な特徴		<ul style="list-style-type: none"> ○ 読みやすい文章で、落ち着いた感じがする。「歴史にアクセス」で現代的な問題も扱っている。 ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する様々な写真や絵図が配されており、生徒の関心を高める工夫がある。 ○ 「歴史にアクセス」というコラムが所々に配されており、追究を終えても更に学習内容の理解を深めたり、更なる追究意欲をかき立てたりするような工夫がされている。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
17 教出	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方 (1)-② 学習課題設定の在り方 (1)-③ 発展的内容設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数274。AB版。 ○ 半分弱を近現代史の紙面に割いている。「歴史の移り変わりを考えよう」に始まり、計7章の構成。 ○ 見開き2Pで小単元を構成している。 ○ 小単元の副題に課題が明示され、小單元ごとに「ふりかえる」の項目でまとめがある。ステップ1、ステップ2と難易度があり工夫されている。 ○ 日本の歴史と世界の歴史のリンクを図る課題がある。 ○ 各章末に「学習のまとめと表現」コーナーがあり、話し合い活動、歴史新聞づくりなどが紹介されている ○ 配置された資料を基に、「読み解こう」では考察させる問題が提示されている。 ○ 歴史の変化に注目しようというコラムがあり、時代の転換点に注目させる工夫をしている。
書 名 中学社会歴史 未来をひらく	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に行間が広く読みやすい。本文が多く、欄外は少なめである。 ○ 文中の語句に本文にある番号と資料の番号が一致して分かりやすい。 ○ 見開き左ページ上に年表があり、学んでいる世紀・年代が分かりやすい。 ○ どの小單元も、冒頭に大きな絵図や地図、写真、グラフ等を配置するとともに、キャラクターが「○とは、どういうことなのかな」等と疑問を呈し、追究意欲を高める工夫がある。 ○ 本文の叙述以外に、絵図や写真等の資料がふんだんに入りこんでいる。 ○ 文章のフォントは基本が明朝体であるが、重要語句はゴシック体で強調されている。 ○ 「歴史の窓」で深い解説がある。全体的にカラフルで楽しいイメージがある。本文と欄外は半々ぐらい。 ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する様々な写真や絵図が配されており、生徒の興味・関心を高める工夫がある。 ○ 全ての単元の表題に、例えば義和団事件の学習内容であれば、「眠れる獅子に迫る列強」のように生徒の興味関心をひくような言葉を使用している。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
35 清水	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方 (1)-② 学習課題設定の在り方 (1)-③ 発展的内容設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数285。B5版。 ○ 約半分を近現代史の紙面に割いている。「原始・古代の日本と世界」に始まり、計6章の構成。歴史の学び方の章は起こしていない（トピック的な扱い）。 ○ 見開き2Pで小単元を構成している。 ○ 小単元の左側に「○○だろうか？」と課題が示されている。 ○ ところどころに、「なぜ～?」「～は何だったのか」といった、既習の学習内容の活用を促す学習課題もある。 ○ 小単元ごとに、まとめとふりかえりができるようになっている。 ○ 「深めよう」という発展課題がある。各章末にまとめがある。 ○ 小単元のまとめで、語句を用いた説明を要求している。この部分が発展的内容となっている。
書名 中学歴史 日本の歴史と世界	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 絵や写真などの資料が厳選されていて、欄外がゆったりしている。行間が広く読みやすい。 ○ 「地図で見る世界史」で地図を活用して世界の歴史をわかりやすくしている。 ○ どの小単元も、冒頭に大きな絵図や地図、写真、グラフ等を配置している。 ○ 全ての小単元の冒頭に課題、終末にまとめが配置され、色が黄色に統一されている。 ○ 単元や見出しの色は、章ごとに統一し、時代区分ごとに異なる色を使っている。 ○ 文章のフォントは基本が明朝体であるが、重要語句はゴシック体で強調されている。 ○ 「もっと知りたい歴史」で深い内容を扱っている。生徒の興味関心を引き立てる。 ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する絵図や写真が配されている。 ○ 様々な写真や絵図について、スペースを広くとって配している。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
46 帝国	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方 (1)-② 学習課題設定の在り方 (1)-③ 発展的内容設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 268。A B 版。 ○ 約半分弱を近現代史の紙面に割いている。「歴史のとらえ方と調べ方」に始まり、計 7 部の構成。 ○ 見開き 2 P で小単元を構成している。 ○ 各小単元の冒頭に学習課題が設定され、共通して「どのようにして～なのか」「どのような～なのか」といった文型になっている。 ○ 冒頭で設定された学習課題に関連した「確認しよう」や「説明しよう」というまとめがある。 ○ 学習したことについて、「歴史を探ろう」という、さらに資料をもとに具体例を通じて発展的な課題に取り組む内容があげられている。 ○ 「トライアル歴史」という、生徒同士で意見をまとめたり、話し合ったりして学習内容を深める活動が示されている。 ○ 時代区分ごとに「学習をふりかえろう」という、多様な活動を行うことを通して歴史の流れを把握させる作業活動があげられている。
書名 社会科中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「タイムトラベル」で大きな絵が使われ、イメージがつかみやすくなっている。 ○ 文章量が多く、隙間なく叙述されているイメージがある。 ○ 本文の叙述以外に、写真や絵図等の資料が入っている。 ○ キャラクターを登場させ、吹き出して説明をして学習への関心を引き出そうとしている。 ○ 巻末に、「さくいん(人名, 事項別)」「年表」「歴史の舞台を訪ねよう」「世界と日本を結ぶさきがけとなった人々」を掲載している。 ○ 文章のフォントは明朝体であるが、重要語句はゴシック体で強調されている。 ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する様々な写真や絵図等の資料がスペースいっぱい載っている。 ○ 単元や見出しの色は、章ごとに統一し、時代区分ごとに異なる色を使っている。 ○ 見開きの小単元で、本文・資料のレイアウトが工夫され見やすくなっている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日文	<p>(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方</p> <p>(1)-② 学習課題設定の在り方</p> <p>(1)-③ 発展的内容設定の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数295。AB版。 ○ 約半分弱を近現代史の紙面に割いている。「歴史のとらえ方」に始まり、計6編の構成。 ○ 見開き2Pで小単元を構成している。 ○ 小單元ごとに、「確認しよう」が2つあり書き出すものと説明するものがある。 ○ 冒頭で設定された学習課題に関連した「確認」や「活用」というまとめがある。 ○ 単元の終末に、「歴史を掘り下げる」という、最近の研究成果を反映したトピックが紹介されている。 ○ 大単元の終末に、大きな時代区分（古代や中世）を振り返る活動が示されている。 ○ 「でかけよう！地域調べ」という、史跡見学や歴史博物館見学を通して、見学計画の立案や歴史新聞作成などのスキルを学ぶページが設けられている。
書名	2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料を厳選しており、欄外がゆったりしている。 ○ 行間が広く読みやすい。 ○ 見開き左ページ左端に年表があり、学んでいる時代や世紀が分かりやすい。 ○ どの小單元も、冒頭に大きな絵図や地図、写真、グラフ等を配置している。 ○ キャラクターを登場させ、吹き出しで説明をして学習への関心を引き出そうとしている。 ○ 文章のフォントは基本が明朝体であるが、重要語句はゴシック体で強調されている。
中学社会 歴史的分野	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する様々な写真や絵図が配されており、余分なスペースがほとんどない。 ○ 珍しい写真や新聞記事が資料になっている。 ○ 巻末に教科書に出てくる主なできごと・史跡・関係地があり、地理的分野との関連を図っている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
225 自由社	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 288。B5版。光沢性をおさえた紙質。 ○ 約半分弱を近現代史の紙面に割いている。「歴史のとらえ方」に始まり、計6章の構成。 ○ 全小単元に通し番号あり、見開き2Pで小単元を構成している。
書名	(1)-② 学習課題設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の冒頭に学習課題が設定されており、どの小単元にも共通して「どのようにして～なのか」「どのような～なのか」といった文型になっている。 ○ 冒頭で設定された学習課題に正対または関連した「まとめにチャレンジ」というコーナーがある。
新版 新しい歴史教科書	(1)-③ 発展的内容設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章末のまとめで説明・まとめ・特徴をあげるなどの課題がある。 ○ 各章のまとめで「意見交換会」が設定されている。 ○ 「人物クローズアップ」「もっと知りたい」「外国人の目から見た日本」などのコラムがある。生徒の関心を高めるように配慮されている。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての小単元に、冒頭に大きな絵図や地図、写真、グラフ等を配置している。 ○ 文章量が多く隙間なく叙述されている、欄外に絵図や写真等の資料が入りこむ。 ○ キャラクターを登場させ、コラムのページで解説したり、単元の扉ページで質問したりしている。 ○ 行間が広く読みやすい。欄外の説明文が長いものもある。 ○ 全ての小単元に通し番号を付けている。 ○ 文章のフォントは明朝体であるが、重要語句はゴシック体で強調されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する様々な写真や絵図がスペースいっぱい載っている。 ○ 見開き2ページ1テーマで、人物・文化などをくわしく取り上げ紹介しているコラムが多い。 ○ 大単元末に、100字用語解説があり学習しやすいようになっている。

発行者の 番号	項目・観点等	特 徴
略 称		
227	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数 290。A B 版。 ○ 約半分弱を近現代史の紙面に割いている。序章「年代や時代区分の表し方」に始まり、計 7 章の構成。 ○ 全小単元に通し番号がふられ、見開き 2 P で小単元を構成している。
育鵬社	(1)-② 学習課題設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各小単元の冒頭に学習課題が設定されており、どの小単元にも共通して「どのようにして～なのか」「どのような～なのか」といった文型になっている。 ○ 小単元ごとに、説明するなどの形式によるまとめがある。
書 名	(1)-③ 発展的内容設定の在り方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の「課題学習」で歴史新聞、フィールドワークなど取り入れている。 ○ 単元の終末にトピックがある。 ○ 「人物クローズアップ」「歴史ズームイン」といったコラムがある。
新編 新しい日本の歴史	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各章の 1 ページ目に年表があり、時代の流れを理解しやすくなっている。 ○ 全ての小単元に、冒頭に大きな絵図や地図、写真、グラフ等を配置している。 ○ 行間が広く読みやすい。本文で詳しく説明されている。 ○ 本文の叙述以外に、絵図や写真等の資料が入りこむ。 ○ キャラクターを登場させ、吹き出しで説明をして学習への興味・関心を引き出そうとしている。 ○ 文章のフォントは明朝体であるが、重要語句はゴシック体で強調されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ コラム的なページが多く、歴史の興味が高まる。 ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する様々な写真や絵図が配されており、余分なスペースがほとんどない。 ○ 単元の終末に振り返りをするページがある。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
229 学び舎	<p>(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方</p> <p>(1)-② 学習課題設定の在り方</p> <p>(1)-③ 発展的内容設定の在り方</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数323。A4版。 ○ 約半分弱を近現代史の紙面に割いている。序章「歴史への案内」に始まり、計11章の構成。 ○ 見開き2Pで小単元を構成している。 ○ 第1章のみ、学習課題が設定されている。第2章以降は、自分たちで問いや疑問を出し合い、課題設定するように指示されている。 ○ 各章末にふりかえりや説明したり、まとめたりする課題がある。 ○ 各章末にふりかえりやゲームなどが紹介されている。そのふり返りの内容は新たな追究を促すわけではなく、どちらかといえば時代を大観することがねらいである。 ○ 各小単元ごとに「フォーカス」というコラムがあり発展的な学びを促す工夫がある。 ○ 「歴史を体験する」のコラムで歴史を体験的に実感する提案がなされている。
<p>書名</p> <p>ともに学ぶ人間の歴史 歴史的分野 中学社会</p>	<p>(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料が大きく、また行間が広く読みやすい。 ○ 本文で詳しく紹介するようにしている。 ○ どの小単元も、冒頭に大きな絵図や地図、写真、グラフ等を配置している。 ○ ページの両サイドには、その当時の歴史に関連する様々な写真や絵図が配されている。 ○ 文章のフォントは基本が明朝体で、重要語句はゴシック体で強調されている。 ○ A4版で大きな紙面に、やさしい色づかいがされていて目にやさしい。 ○ 読みもの的な本文で、優しく歴史に誘ってもらうイメージがある。 ○ 織田信長の肖像画など珍しい資料が使われている。 ○ 巻末に「歴史地図」があり、地理分野との関連を図っている。

社会（公民的分野）

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の7種である。

2 東書 17教出 35清水 46帝国 116日文 225自由社 227育鵬社

2 「社会」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「社会科」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

(1) 「標準的学力検査」結果などの様子から

- ① 社会的事象の意味の追究を図る。
- ② 資料を基に、社会的な見方・考え方の育成を図る。
- ③ 資料を分析・判断したことを自分の言葉で表現する活動（言語活動）の充実を図る。

(2) 各校の社会科学習の課題や学習指導要領の重点から

- ① 生徒の問題意識（関心・態度）を醸成させるための手立ての工夫。
- ② 公民的分野では、諸事象の意義の解釈・説明、自分の考えの論述、議論などを通してお互いの考えを深めさせることを重視する。

① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）

- ・ 教科書の規格（ページ数、判、紙質、見開き）について
- ・ 単元の構成・配列について
- ・ 各単元の記述の量（重点）について

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・ 学習課題の設定のあり方
- ・ 学習課題の内容と表現は適切であるか
- ・ 学習課題の内容は生徒の興味・関心をかきたてるものであるか

③ その他の特徴・・・発展的内容の設定のあり方

- ・ 適切な言語活動が取り入れられているか
- ・ 難易度が適切であるか
- ・ 多様な学習の活動や方法が取り入れられているか

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ・ 統計資料や写真・挿絵・図などの取扱いについて
- ・ 見出し、文字の大きさ、色彩、欄外の使い方について

② 記述・表現

- ・ 用語や文字表現の読みやすさ、分かりやすさ

(3) 全体的な特徴

以上の観点から総合的に見た全体的な特徴について

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東書	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数247。A B判。見開き1単位時間。 ○ 全体を5章17節と終章で構成している。 ○ 「現代社会」では、現代社会の変化、日本の伝統と文化を学習し、集団生活におけるきまりについて学校や社会生活で起こりがちなトラブルを事例として取り上げている。 ○ 「政治」では、人権や共生に重点を置いている。地方自治では、住民参加の事例を紹介している。 ○ 「経済」では、よりよい消費活動を営んでいくために必要なことについて、具体的な例を取り上げている。 ○ 「国際社会の諸課題」では、「人間の安全保障」について触れている。持続可能な社会の実現のために日本の果たすべき役割について記述している。 ○ 「まとめ」では、「持続可能な社会の形成」をテーマにレポート作成の活動を紹介している。
書名	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題設定のための資料として具体的な事例が提示されており、学習内容に対する興味・関心を高めている。 ○ 学習課題が疑問形で示されている。
新編 新しい社会 公民	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の終末で、学習内容を活かして考えさせ、記述させる「確認」が全時間で設定されている。 ○ 「公民にチャレンジ」、「ためしてみよう」、「深めよう」などの特設コーナーが多数ある。 ○ 作業や資料の読み取り、話し合い、記述など多様な学習活動や方法が取り入れられている。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と関連する資料に同じ番号がついており、どの資料を見ればよいかかわかるようになっている。 ○ 資料や図が大きく見やすい。挿絵も多く使われていてわかりやすい。 ○ 見出しの文字の大きさは適切である。資料の色彩は鮮やかで見やすくなっている。 ○ 先生や生徒のキャラクターがイラストで示され、考える視点を示している。
	(3) 全体的な特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題の設定」、「かかわり合い」、「まとめ」を入れた授業を構想しやすくバランスのとれた作りとなっている。 ○ 話し合いやグラフ・図表の作成など、多様な学習活動が取り入れられている。 ○ 因果関係がわかりやすく記述され、表現も平易で読みやすい。

発行者の 番 号 略 称	項 目・観 点 等	特 徴
17 教出	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数248。A B判。見開き1単位時間。 ○ 全体を6章16節と終章で構成している。 ○ 「現代社会」では、現代社会の変化、日本の伝統と文化を学習し、集団生活におけるルールづくりの演習を取り入れている。 ○ 「政治」では、平和主義に重点を置いている。国の政治を学習した後で地方自治に目を向けさせ、政治参加の意義と地方自治の課題につなげている。 ○ 「経済」では、身の回りの生活から経済との関わりを考える設定となっている。労働と社会保障に重点を置き、第5章として独立させている。 ○ 「国際社会の諸課題」では、国際社会の在り方と、現在抱える課題について取り上げている。 ○ 「まとめ」では、持続可能な未来を妨げる課題を解決するための「未来の私への約束」をつくる活動が示されている。
書 名	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題設定のための資料として具体的な事例が提示されており、学習内容に対する興味・関心を高めている。 ○ 学習課題が疑問形で示されている。
中学社会 公民 ともに生きる	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「言葉で伝え合おう」「読んで深く考えよう」という特設ページがあり、多様な言語活動が設定されている。 ○ 「ふりかえる」で、学習内容を活かして考えさせ、記述させることができる。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と関連する資料に同じ番号がついており、どの資料を見ればよいか分かるようになっている。 ○ 資料や図が大きく見やすい。欄外は統計資料や図、語句説明がある。 ○ 見出しはわかりやすく、資料は柔らかな色彩で見やすくなっている。 ○ 先生や生徒のキャラクターがイラストで示され、考える視点を示している。
	(3) 全体的な特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題の設定」、「かかわり合い」、「まとめ」を入れた授業を構想しやすく、使いやすいつくりとなっている。 ○ 記述量、資料の量ともにバランスのよいつくりになっている。 ○ キャラクターの問いから学習を展開していく形式で、基礎・基本の定着を大切にする構成となっている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
35 <hr/> 清水	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数223。B5判。見開き1単位時間。 ○ 全体を序章と3編，9章19節で構成している。 ○ 「現代社会」では，「生命の尊重」「人間の尊厳」の理念のもとに学習が展開されるよう配慮されている。 ○ 「政治」では，「自由権」を2単位時間で扱うなど，基本的人権に重点を置いている。 ○ 「経済」では，優れた技術力やアイデアが中小企業の強みになっていることを特設ページで紹介している。 ○ 「国際社会の諸課題」では，各国の歴史や文化を尊重し合うことの大切さや，国や地域の枠を超えた協力・協調のもとに持続可能な未来が築かれることが記されている。 ○ 「まとめ」では，特設ページ「もっと知りたい公民」の最後の「卒業論文を書いてみよう」で，「持続可能な社会」についてレポートにまとめる活動を紹介している。
書名		
中学公民 日本の社会と世界	(1)-② 学習課題の設定のあり方 (1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題設定に関する資料が提示されている。 ○ 学習課題の多くが疑問形で示されている。 ○ 学習内容の理解を深めるために，与えられた視点について考えたり，調べたり，話し合ったりできる。 ○ 学習内容に関連するコラムや特設ページがあり，学習内容をさらに掘り下げて説明している。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 欄外は用語の解説に使われている。余白を多めに取り，ゆったりとしたレイアウトになっている。 ○ 先生や男の子，女の子のキャラクターが説明したり，考える視点を与えたりしている。 ○ 柔らかな色使いで，落ち着いた印象を受ける。
	(3) 全体的な特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章量が比較的多く，理解力のある生徒に合っていると感じる。解説が多く，発展的な学習を構成しやすい作りとなっている。 ○ 各編の最初に，学習内容に関わる人物を必ず取り上げていて生徒の興味関心を高める工夫がされている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
46 帝国	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数232。A B判。見開き1単位時間。 ○ 全体を5部14章で構成している。 ○ 「現代社会」では、現代社会の変化を学習した後、問題の解決策を話し合うロールプレイングの活動がある。 ○ 「政治」では、平等権とともに差別や偏見の問題に重点を置いている。章末は公共の福祉についてのディベートやまちづくりについての話し合いでまとめている。 ○ 「経済」の生産活動では、「経営者になってみよう」というコーナーを設け、企業経営を疑似体験しながら意思決定することができる。 ○ 「国際社会の諸課題」では、地球規模の課題として環境問題を中心に記述している。 ○ 「まとめ」では、「持続可能な社会」の形成についてレポートにまとめる活動を紹介している。
書名	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 冒頭の「クローズアップ」で、学習課題に関わる具体的な事例が紹介され、生徒の興味・関心を高めている。 ○ 学習課題が疑問形で示されている。
社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 章末に「トライアル公民」が設けられ、学習した内容をロールプレイングやディベート、ディスカッションなどの、多様な活動を通してさらに理解を深めることができる。 ○ 各ページに「確認しよう」「説明しよう」があり、学習内容を活かして考えさせ、記述させることができる。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と関連する資料に同じ番号がついており、どの資料を見ればよいか分かるようになっている。 ○ 図表は大きく見やすい。挿絵が多い。 ○ 見出しがわかりやすく、文字の大きさは適切である。資料の色彩は鮮やかで見やすい。 ○ 欄外に「地理・歴史をふりかえる」があり、地理や歴史で学んだこととの関連を意識させやすい。
	(3) 全体的な特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題の設定」、「かかわり合い」、「まとめ」を入れた授業を構想しやすく、使いやすい内容となっている。 ○ 各部のはじめに学習内容に関わる資料が載せてあり、その資料を読み取ることで、興味関心を高め、学習のポイントに気づかせる工夫がある。 ○ 文書量や表現内容、資料の数等、バランスのよい作りとなっている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日文	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数249。A B判。見開き1単位時間。 ○ 全体を5編15節で構成している。 ○ 「現代社会」では、きまりをつくり、評価する活動を設けている。 ○ 「政治」では、人権についての学習の中でネット社会の問題やバリアフリー、15歳の権利とその制限を取り上げている。 ○ 「経済」では、特設ページで「職業」「金利と投資」「年金」について取り上げている。 ○ 「国際社会の諸課題」では、政治と宗教のかかわりについて扱っている。 ○ 「まとめ」では、「持続可能な社会をつくる」というテーマのレポート作成の活動を設けている。
書名	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題に関わる具体的な事例が、提示されている。 ○ 見出しの左に学習課題がほぼすべて疑問形で示されている。
中学社会 公民的分野	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各編(章)末の「チャレンジ公民」で、ディベートやロールプレイを行いながら、学習内容の理解を深めることができる。 ○ 特設ページが多く、発展的な学習が行いやすい。 ○ プレインストーミング、ディベート、ロールプレイなど、多様な学習活動が設定されている。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と関連する資料に同じ番号がついておりどの資料を見ればよいか分かる。 ○ 図表や写真が豊富でサイズも大きい。文章以外からも情報をたくさん読み取れる。 ○ 先生や生徒のキャラクターがイラストで示され、考える視点を与えている。
	(3) 全体的な特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題の設定」、「かかわり合い」、「まとめ」を入れた授業を構想しやすく、使いやすいつくりとなっている。 ○ 生徒が考え、判断し、表現することを大切にしてい、毎時間の終わりに説明させる問いが示されている。問題解決的な学習活動も適宜配置されている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
225 自由社	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数224。B5判。見開き1単位時間。 ○ 全体を序章と5章と終章，15節で構成。 ○ 「現代社会」では，世界と日本の科学，芸術，宗教の特設ページが設けられている。 ○ 「政治」では，世界の立憲的民主政治の歴史に触れ，日本の政治のしくみについて取り上げている。 ○ 「経済」では，特設ページで「株式会社のしくみ」「年金制度」について触れている。 ○ 「国際社会の諸課題」では，特設ページで日本がかかえる今日的な課題を多く取り上げている。 ○ 「まとめ」では，レポートと卒業論文の作成，課題探求としてディベートの活動を設けている。
書名	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題と関わる資料が提示されている。 ○ 学習課題が疑問形で示されている。
中学社会 新しい公民の教科書	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「ミニ知識」；「もっと知りたい」で，学習内容をさらに掘り下げることができる。 ○ 章末の「学習のまとめと発展」で重要語句のチェックと記述問題に取り組み，学習内容の振り返りができる。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文の内容に関連する資料が配置されている。資料を精選し，大きなサイズで掲載している。 ○ 本文横のスペースは，用語の解説や補足説明に使われることが多い。 ○ 見出しは文字の太さと色が本文と変えてある。フォントは大きめで，行間も広く読みやすい。白色を基調としており，太字が目立つようになっている。
	(3) 全体的な特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ○ スペースが大きくとられ，ゆったり感のあるつくりとなっている。資料も精選してあり，集中して見ることができる。 ○ 毎時間の終わりに学習内容のポイントがまとめられていて何を学んだかがわかりやすくなっている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
227 育鵬社	(1)-① 単元の構成や配列と重点の置き方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総ページ数248。A B判。見開き1単位時間。 ○ 全体を5章17節と社会科のまとめで構成。 ○ 「現代社会」では、現代社会の変化について学習した後、対立と合意、効率と公正について事例をもとに考え、話し合う。 ○ 「政治」では、法の必要性を身近な生活と関連付けている。憲法の学習の最後に憲法改正について取り上げている。 ○ 「経済」では、経済のしくみ、政府の経済活動、幸せな経済生活について記述している。 ○ 「国際社会の諸課題」では、国際平和学習の最後に、国際社会での日本の役割、文化と宗教の多様性を学習する。 ○ 「まとめ」では、「持続可能な社会」を築いていくための「国づくり構想」のレポートを作成する活動を設けている。
書名	(1)-② 学習課題の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習課題設定のための資料として具体的な事例が提示されており、学習内容に対する興味・関心を高めている。 ○ 学習課題の設定に「かかわり合い」、「まとめ」を入れた授業を構想しやすいよう工夫されている。
新編 新しいみんなの公民	(1)-③ 発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容を確認したり、説明させたりする課題が示されている。 ○ インタビューや新聞の比較、話し合いなど、多様な学習活動が設定されている。 ○ 学習内容を深める特設コーナーが充実している。
	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文と関連する資料に同じ番号がついており、どの資料を見ればよいか分かる。 ○ 写真、グラフ、イラストがバランスよく配置されている。写真や資料は大きく、色使いも工夫されており読みやすい。 ○ 男の子と女の子のキャラクターが、考える視点を与えている。
	(3) 全体的な特徴について	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学習課題の設定」、「かかわり合い」、「まとめ」を入れた授業を構想しやすいつくりとなっている。 ○ 新聞記事を多く使用しており、生徒に社会の一員であることを自覚させ、自ら進んで考えるよう促す工夫がある。

社会（地図）

1 研究の対象とする検定済みの地図帳は、見本が送付されてきた次の2種である。

2 東書 46帝国

2 「社会」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「社会科」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

(1) 「標準的学力検査」結果などの様子から

- ① 社会的事象の意味の追究を図る。
- ② 資料を基に、社会的な見方・考え方の育成を図る。
- ③ 資料を分析・判断したことを自分の言葉で表現する活動（言語活動）の充実を図る。

(2) 各校の社会科学習の課題や学習指導要領の重点から

- ① 生徒の問題意識（関心・態度）を醸成させるための手立ての工夫。
- ② 地理的分野では、地理的技能を身に付けるとともに、身近な地域の調査学習で地域の発展に貢献する態度を養う。

① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）

- ・ 教科書の規格（ページ数、判、紙質、見開き）について
- ・ 単元の構成・配列について
- ・ 各単元の記述の量（重点）について

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・ 学習課題の設定のあり方
- ・ 学習課題の内容と表現は適切であるか
- ・ 学習課題の内容は生徒の興味・関心をかきたてるものであるか

③ その他の特徴・・・発展的内容の設定のあり方

- ・ 適切な言語活動が取り入れられているか
- ・ 難易度が適切であるか
- ・ 多様な学習の活動や方法が取り入れられているか

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ・ 統計資料や写真・挿絵・図などの取扱いについて
- ・ 見出し、文字の大きさ、色彩、欄外の使い方について

② 記述・表現

- ・ 用語や文字表現の読みやすさ、分かりやすさ

(3) 全体的な特徴

以上の観点から総合的に見た全体的な特徴について

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東 書	(1) ①単元の構成や配列と重点の置き方 ②学習課題の設定のあり方 ③発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳の活用方法、世界全体、世界各州、日本各地方、日本全体、巻末資料の構成となっている。 ○ 地図帳の使い方について、具体例を示して解説している。 ○ 全 184 ページである。世界の様々な地域は 72 ページ、日本の様々な地域は 83 ページであり、日本のページが約 4 % 多い。 ○ 中部地方では、一般図で新潟県と新潟市とその周りを合わせて 1 ページとして取り上げている。 ○ 索引は 13 ページあり、世界の地名・日本の地名・事項別・資料の 4 項目である。 ○ 主題図の中に生徒が問いかける「吹き出し」の形で、学習課題が設定されている。 ○ 主題図の随所に「ジャンプ」のマークがあり、学習課題に関連して参考にする資料の場所が明確になっている。 ○ 主題図の内容資料が大変に豊富であることから、様々な発展的課題に対応できるものとなっている。
書名		
中学校社会科 地図	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般図以外に、資料として「基本資料」と「テーマ資料」を掲載している。基本資料は世界の各州、日本の各地方での大まかな内容を読み取ること、テーマ資料は追究テーマに沿って示されている。 ○ 世界地理では、アジア州、ヨーロッパ州、北アメリカ州の資料が、他の州に比較して多い。 ○ 「全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザイン」と記述されているように、落ち着いた色調を採用している。又、紙面が光らないような用紙を採用している。 ○ 世界、日本、統計、索引で、インデックスを大きく色分けしている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 陸の高さや水深などの色、写真や地図、国旗などの色調は全体的に落ち着いたものになっている。 ○ 世界各州、日本各地方の主題図（資料）が多くあり、様々な学習や発展的学習にも対応できる情報量がある。 ○ 歴史や公民、又、東京・京都・奈良などの修学旅行等で活用できる地図がある。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
4 6 帝 国	(1) ①単元の構成や配列と重点の置き方 ②学習課題の設定のあり方 ③発展的内容の設定のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図帳の使い方、世界全体、世界各州、日本各地方、日本全体、巻末資料の構成となっている。 ○ 地図帳の使い方について、具体例を示して解説している。 ○ 全 176 ページである。世界の様々な地域は 74 ページ、日本の様々な地域は 81 ページであり、日本のページが約 2 % 多い。 ○ 中部地方では、一般図で新潟県を 1 P 取り上げ、資料図で越後平野の稲作を取り上げている。 ○ 索引は 9 ページあり、世界の地名・日本の地名の 2 項目である。 ○ 地図や主題図の中に、「地図をみる目」というタイトルで学習課題が設定され、読図の指標となっている。 ○ 学習課題に関連して、「やってみよう」というタイトルで確認させたり説明させたりする内容が含まれている。 ○ 主題図の内容資料が豊富であることから、様々な発展的課題に対応できるものとなっている。
書 名	(2) 資料の扱い方やユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一般図以外に、資料図は世界の各州と日本の各地域において、農業・工業・人口など特定のテーマで示されている。 世界各州では「環境」「日本との結びつき」を強調している。 ○ 同緯度、同縮尺の日本地図が各州で描画されていることから、面積の比較や位置関係について理解しやすい。 ○ 日本の土地利用図など、鮮やかな色を使用して色の違いを判別しやすくしており、読み取りやすい。 ○ 世界、日本、資料図、統計、索引で、インデックスを色分けしている。
中学校社会科 地図	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 陸の高さや水深などの色、写真や紙面の塗り分けの色が鮮やかである。 ○ 各地図の縮尺をそろえて比較したり、地図を見る際に着目する点を示すなどしているため、理解を助けるものとなっている。 ○ 歴史や公民、又、東京・京都・奈良などの修学旅行等で活用できる地図があり、縮尺についてもそろえるなどの工夫がされている。

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告書

数 学

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の7種である。

2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出
61 啓林館	104 数 研	116 日 文	

2 「数学」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「数学」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力の育成、学ぶ意欲の喚起を図る指導の工夫
- 意欲的・主体的な学びを形成する指導の工夫
- ねらいに即した言語活動を意図的・計画的に位置付けた指導の工夫

- ① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）
 - ・子どもの思考に沿い思考力を高める教科書全体の構成及び単元の構成
- ② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）
 - ・主体的に学ぶための課題設定への配慮
 - ・かかわりを重視した学習活動の組織等の配慮
 - ・ねらいに合わせた学習のための、言語活動への配慮

(2) その他

- ① 教科書のユニバーサルデザイン化への配慮
- ② 教科書全体の記述・表現

(3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東 書	(1)－① 単元の構成 (1)－② 課題設定への配慮 (1)－② 学習活動の組織等の配慮 (1)－② 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○各章の導入問題に生徒の身近な題材を取り上げ、生徒自身が興味・関心をもち意欲的に取り組める構成になっている。 ○単元のまとめりごとに学習課題が示されており、既習事項との関連を意識させ、学習に見通しがもてる構成になっている。 ○内容のまとめりごとに「学習課題」を示し、生徒が学習に見通しをもち主体的に取り組めるようにしている。 ○実生活や他教科の学習に、問題を通して数学の有用性を実感できる内容になっている。 ○生徒が考え表現することを通して、数や図形の性質を見いだしたり、問題を解決したりする活動を大切にしている。 ○多様な考えが出やすいような学習課題が取り上げられており、式や図などを使って考えを説明し、伝え合う言語活動ができるように工夫されている。 ○問題解決型の学習を通して、式や図、表などを用いて説明し伝え合う言語活動を充実し、数学的な思考力や表現力が高まるようにしている。
書 名 新新新 しいしい 数学数学 3 2 1	(2)－① ユニバーサルデザイン化 への配慮 (2)－② 記述・表現 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○「ねらい」と「問い」は青色、「確かめ」は橙色で統一されている。 ○例題やまとめを枠で囲み、読みやすくする工夫がある。 ○解答がノート形式になっており、ノートづくりへの配慮がされている。 ○「調べてみよう」や「考えてみよう」で、学習課題が示され、1時間を見通し、問題解決的型授業を意識している。 ○例が多く、段階を踏んだ構成になっている。 ○基本的な課題が多いが、難易度の高い課題も適度に取り上げている。 ○章末問題をA Bに分け、個人差に対応している。また、つまづいたときにもどるべきページや、既習内容一覧が示されている。 ○「活用の問題」が適宜取り入れられている。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
4 大日本	<p>(1)－① 単元の構成</p> <p>(1)－② 課題設定への配慮</p> <p>(1)－② 学習活動の組織等の配慮</p> <p>(1)－② 言語活動への配慮</p>	<p>○豊富な写真や題材によって、数学を学ぶこと のよさや有用性を感じさせるよう工夫されて いる。</p> <p>○生徒一人一人が教科書を活用して主体的に学 習に取り組めるよう、教科書に自分で取り組 むページを設けている。</p> <p>○様々な題材を通して数学を学ぶことのよさ や、数学の有用性について知り、数学を活用 しようとする意欲や態度が育つよう配慮して いる。</p> <p>○問題を解決する見通しをもち、計画を立てて 実行し、結果を考察・判断する体験を積み重 ねられるように工夫されている。</p> <p>○学習活動に取り組むことによって、結果を予 想したり、調べたり、振り返ったり、数学的 な表現を用いて説明したりするなど、日常的 に数学的活動が行われるように配慮してい る。</p> <p>○説明し合う活動や互いの考えを紹介し合う活 動が行える学習課題が取り上げられており、 数学における言語活動の充実が図られてい る。</p> <p>○自らの学習を振り返ったり、話し合いをしたり するなど、評価活動につながる場面を設けて いる。</p>
書 名	(2)－① ユニバーサルデザイン化 への配慮	<p>○例題やまとめなどの枠囲みなど読みやすい工 夫をしている。</p> <p>○解法の理解を助けるための矢印や色の強調が なされている。</p>
新 新 新 版 版 版 数 数 数 学 学 学 の の の 世 世 世 界 界 界 3 2 1	<p>(2)－② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○レイアウトが見やすく、色使いがシンプルで ある。</p> <p>○「見いだそう」など数学的活動を明示してい る。</p> <p>○基本的な課題が多く、難易度の高い課題も適 度に取り上げている。</p> <p>○生徒の思考を支援する表現や生徒自身による 書き込み箇所を多く設けている。</p> <p>○数学を活用する職業人の文章を「社会にリン ク」のコーナーに記載するなど数学の社会で の必要性を強調している。</p> <p>○章末問題後の「いろいろな問題」や「挑戦し よう」は課題学習的な内容になっている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
11 学 図	(1)－① 単元の構成 (1)－② 課題設定への配慮 (1)－② 学習活動の組織等の配慮 (1)－② 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問いが学習のつながりを生むことを意識することで、主体的に学習に取り組む態度を養うような構成になっている。 ○ 領域ごとに振り返りの場を設定し、既習事項を確認してから新たな学習に入ることができるようにしている。 ○ 必要な箇所に振り返りのための問題を入れ、既習事項の確認ができるようにしている。 ○ 身に付けた知識・技能や数学的な見方・考え方を、活用する身近な環境問題を取り上げるなどしており、数学の有用性を実感できるようにしている。 ○ 巻頭と巻末でレポート学習について取り上げ、様々な場面で、友達に自分の考えを伝えたり、友達の意見に耳を傾けたりするような協同学習ができるようにしている。 ○ 話し合いや説明する活動を重視する問題を取り上げ、言語活動を意識して学習を進められるようにしている。 ○ 数学的な表現を用いた説明のしかたを例示したり、調べたことを説明し伝え合う場面を設けたりすることにより、言語に関する能力が育成できるようにしている。
書 名	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題は橙色，例は緑など色が統一されている。 ○ 色使いがシンプルである。
中学校 中学校 中学校 数学 数学 3.2.1	(2)－② 記述・表現 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 例題やまとめを枠で囲み，読みやすくする工夫がある。 ○ 小單元ごとの目標が明確に示されている。 ○ ねらい→課題→解決→例など学習過程の表記が一貫している。 ○ 問題解決型の形式になっているため，教科書の流れに沿って授業を展開できるようになっている。基本的な課題が多い。 ○ 章末問題を基本・応用・活用に分け個人差に対応している。巻末問題に「基礎・基本」の表記がある。 ○ 数学的な考え方を3つに分類して示している。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 教 出	(1)-① 単元の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○数学の基礎・基本の確実な習得を図るとともに、学習したことを活用しながら数学的な思考力や表現力を育て、数学を学習する意義や楽しさが感じられるように意図された構成になっている。 ○全学年を通して、各領域の発展系統、各領域間の関連、生徒の発達段階などを統合した構成を組み立てている。
	(1)-② 課題設定への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的に学習できるページを多く設けてあり、個人の能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養えるような工夫がされている。 ○数学的活動の楽しさやよさを味わいながら、問題解決的な学習が進められるようにしている。 ○各学年4～7箇所、数学的活動の具体的な授業展開を例示した、[みんなで数学]というページを設けている。
	(1)-② 学習活動の組織等の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○学習過程で、新しい法則を発見したり、学んだことを日常生活に活用したり、自分の考えを伝え合ったりすることの大切さが示されている。
	(1)-② 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○事象を数理的に考察し表現する能力を高めるため、学習したことを活用する課題や、多様な考え方ができる課題、自分の考え方を説明したり解決のしかたをみんなで話し合ったりする課題が取り上げられている。
書 名	(2)-① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○例題は緑、問は青など色が統一されている。 ○ねらい→例題→考え方など学習過程の表記が一貫している。
中学 中学 数学 数学 3 2 1	(2)-② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○レイアウトが見やすい。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○章の導入段階で、関連する既習事項のページが設けられている。 ○基本的な確認問題が多い。 ○章の最初に既習事項、そして課題の設定、その後、課題を踏まえた学習となり、問題解決型授業を意識した構成になっている。 ○章末問題の前に穴埋め形式の章のまとめがある。 ○数学的活動の具体的な授業展開が例示されている。

発行者の 番 号 略 称	項 目 ・ 観 点 等	特 徴
6 1 啓林館	(1) - ① 単元の構成 (1) - ② 課題設定への配慮 (1) - ② 学習活動の組織等の配慮 (1) - ② 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○学習のつながりが意識できるように、単元ごとに関連する学習課題が示されている。 ○本冊と別冊によって先生の指導を支え、生徒一人ひとりの学びをサポートしている。 ○数学を活用して身のまわりの問題を解決する課題を適切に位置づけ、数学を学ぶ意義と有用性を感じるような学習課題を取り上げている。 ○問題解決や問題設定に必要な思考、判断を支援するため、「同じように考える」「逆向きにみる」など、数学的な見方・考え方につながるキーワードが示されている。 ○数学的な見方や考え方を重視し、これらが学習の中で効果的に働くような学習課題が具体的に提示されている。 ○根拠を明らかにし、筋道を立てて説明する力を身につけることができるように、言語活動の場面が用意されている。 ○知識・技能・考え方を活用する場面や根拠や手順等を説明する場面を設定し、思考力・判断力・表現力等をくり返し育めるようにしている。
書 名	(2) - ① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○例題は緑色、問題は青色など色を統一している。 ○例題やまとめを枠で囲み、読みやすくする工夫がある。
未未来へひろがる数学 3 2 1	(2) - ② 記述・表現 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○「思考を促す問題」→「学習内容の解説」など学習過程が一貫している。 ○「自分の考えをまとめよう」や「みんなで話しあってみよう」などアクティブ・ラーニングを意識している。 ○「見方・考え方」の記述など、数学的な見方や考え方を重視している。 ○別冊には既習事項、「千思万考」や「力をつけよう」などでは難易度を高くし、個人差に対応している。 ○別冊に章末問題等の解答を示し、生徒自身で確認できるようにしている。 ○別冊では活用能力を評価できるようになっている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
104 数 研	(1)－① 単元の構成 (1)－② 課題設定への配慮 (1)－② 学習活動の組織等の配慮 (1)－② 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○数学的活動として、習得、活用、探究の各場面を設定し、数学的知識や技能が幅広く身につくように工夫されている。 ○数学の体系的な流れがはっきり見えるようにしている。流れをとらえやすいシンプルなつくりになっている。 ○学習する際に、容易に理解できるよう、例・例題とその解説や解が丁寧に示している。 ○学んだ知識や技能を用いて身のまわりの問題を解決する課題を豊富に取り入れている。数学を利用して身のまわりの問題を解決できるようにしている。 ○身近な話題を通して生徒の興味・関心を喚起させ、数学的な見方・考え方のよさが示されている。 ○話し合ったり、異なる視点の意見に触れたりすることで、理解が深まると考え、学習形態に適した課題が各所に設けられている。 ○議論や作業を通して、新しいことがらを見いだしたり、身のまわりの問題を解決したりするための題材が示されている。
書 名 改訂版 改訂版 改訂版 中学校 中学校 中学校 数学 数学 数学 3 2 1	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮 (2)－② 記述・表現 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○例題は緑色、問題は橙色など色が統一されている。 ○色使いがシンプルである。 ○学習過程の記載が一貫している。 ○例題の解説では、計算過程の理解を助けるために言葉での補足説明がある。 ○チャレンジ編など難易度の高い問題を多く掲載し、章末問題をA Bに分け、特に個人差に対応している。また、確かめ問題にはその問題の関連ページが明記されている。 ○例題の解答の脇に図式や吹き出しがある。 ○数学的な関心をひく定理や例題などを紹介している。 ○高校数学への繋ぎを意識している。 ○まとめの部分が簡潔である。例題等の解法は汎用性のある解法が示されている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日 文	(1)－① 単元の構成 (1)－② 課題設定への配慮 (1)－② 学習活動の組織等の配慮 (1)－② 言語活動への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○既習事項を学び直す機会を適宜設けてあり、それをもとに新しい内容を理解できるよう配慮された構成になっている。 ○学習内容をまとまりのある単元に構成し、相互の関連や生徒の発達段階を勘案している。 ○思考力・判断力・表現力などの育成を図る課題学習を充実させている。 ○章末〈とりくんでみよう〉では、方法や理由などを数学的な表現を用いて説明する記述式の問題として出され、工夫されている。 ○具体的な操作活動や思考活動、自分の考えや解決の方法を説明し、伝え合う言語活動を多く取り入れている。 ○巻頭の〈数学の学習で大切なこと〉では、数学的活動や言語活動に取り組むために大切なことを、生徒にわかりやすく伝える工夫がされている。 ○「話す」「聞く」「かく」「読む」といった言語活動を通して、基礎的・基本的な内容の理解を深め、数学的な思考力・表現力を育成することができるようにしている。
書 名	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ねらいは★、例題は赤、問題は青色など色が統一されている。 ○ルビが多い。
中学 数 学	(2)－② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○チャレンジ問題の解答が次のページに記載されており、自分で学習が進められるように配慮されている。 ○学習過程の記載が一貫している。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○主体的・発見的な学習の場を多く設け、自ら考えたり考えたことなどを説明し合ったりする学習に取り組めるようにしている。 ○基本的な課題が多い。 ○問題解決的な手順を踏んだ記載になっている。 ○繰り返し練習問題などでは、どの例題やどの問を振り返ればよいか明記されている。 ○巻末に全学年の問題やA問題、B問題があり、学力の定着や活用の力を高める配慮がなされている。

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告書

理 科

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の5種である。

2 東書 4 大日本 11 学図 17 教出 61 啓林館

2 「理科」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「理科」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

見通しをもって観察・実験を行い、その結果をもとに考察し、問題を解決する力を育てる。

問題意識を持続し、他とかかわりながら自ら追究する力を育てる。

基礎的・基本的な学習内容を確実に定着させる。

① 全体構成上の特徴(単元の構成、配列など)

・ 題材や単元内の配列が、生徒の思考体系に合っており考えを深めるのに適しているか。

② 学習を成立させるための配慮(教科の目標を実現するための配慮など)

・ 課題と正対したまとめが明示しており、アクティブ・ラーニングを展開しやすい工夫があるか。

・ 観察・実験への配慮がなされているとともに、観察・実験を補強する資料が充実しているか。

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

② 基礎・基本の定着のための工夫

(3) 全体的な特徴

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東 書	<p>(1) 新潟市中学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 題材や単元内の配列が、生徒の思考体系に合っているか</p> <p>② 課題と正対したまとめが明記しており、アクティブ・ラーニングを展開しやすい工夫があるか</p> <p>③ 観察・実験への配慮がなされているとともに、観察・実験を補強する資料が充実しているか</p>	<p>○各単元内の配列は、ほぼ学習指導要領どおりとなっているが、『電流』単元では、最初に静電気を扱うことで、早い段階で電流の正体が電子の流れであることにふれている。</p> <p>○学習課題は、「？」の符号がつき疑問形で示されている。また、まとめは「！まとめ」の見出しがつき端的に書かれている。</p> <p>○「調べよう」、「レッツトライ!」、「学びを活かして考えよう」など、課題追究の手順や方法、活用・深化など、学び合いの場面が設けられている。</p> <p>○実験のページに「目的」、「方法」、「結果」、「考察」、「まとめ」の表示があり、学習の流れが視覚的に示されている。また、「まとめ」に至るまでに重要語句や実験結果の解説・解釈、写真や表が効果的に示されていて、生徒の思考に則している。</p> <p>○挿入されている写真・図は、学習内容を反映させた興味深いものが多い。</p>
書 名	(2) その他	<p>○UDフォントが使用されていて分かりやすいように配慮している。1年生の教科書に大きめの字を用いている。</p> <p>○単元末に見開きで「確かめ・応用問題」が掲載され、その後のページに「活用問題」、「自由研究の例」が掲載されている。</p> <p>○公式・計算式を学ぶ際に、例題や練習問題が大きく取り上げられている。</p>
新編 新しい 科学	<p>① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>② 基礎・基本の定着のための工夫</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○1時間の授業を想定した課題とまとめが明示しており、授業の構想が立てやすい。</p> <p>○巻頭の「探究の流れの例とこの教科書の使い方」が、丁寧に分かりやすく記述されている。</p> <p>○各巻末に、学習内容に沿った星座早見盤（ペーパークラフト）などの付録がついている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
4 大日本	(1) 新潟市中学校の「理科」指導における課題・重点等から ① 題材や単元内の配列が、生徒の思考体系に合っているか ② 課題と正対したまとめが明記しており、アクティブ・ラーニングを展開しやすい工夫があるか ③ 観察・実験への配慮がなされているとともに、観察・実験を補強する資料が充実しているか	○『大地の変化』単元で、終章の前にプレートの概念を学習する章を設定するなど、単元全体にかかわる概念的な事項を終わりの段階に配列して、全体の理解を図るような単元がいくつも見られる。また、各単元の冒頭で、「これまで学習したこと」と「これから学習すること」が整理されている。 ○学習課題は、「？」の符号がつき、疑問形で示されている。また、まとめは「結果から分かったこと」に書かれている。 ○実験のページに「方法」、「結果」、「考察」が明記されている。 ○「やってみよう」、「もっと」など、補助的な観察・実験が多く紹介されている。 ○「くらしの中の理科」「科学史」など、観察実験や分かりにくい点を補強するための読み物が充実し、随所に掲載がある。また、「プロフェッショナル」では、学習内容に関わる職業の話題を取り上げるなど、授業ではふれないところを補っている。
書名	(2) その他	○UDフォントが使用されている。カラーユニバーサルデザイン（CUD）に配慮されている。
新版 理科	① ユニバーサルデザイン化への配慮 ② 基礎・基本の定着のための工夫	○「単元末問題」が見開きで掲載され、その後のページに「読解力問題」が掲載されている。単元末に終章として、知識の活用を促す工夫がされている。 ○公式・計算式を学ぶ際に、算数の四則計算の方法など、既習事項の振り返りがその都度記載されている。
科 の 世 界	(3) 全体的な特徴	○各単元に終章「学んだことを活かそう」が位置づけられている。各単元で学んだ内容を基に、発展的な課題で考えを深めたり、身近な自然現象を見直したりするのに適している。 ○観察・実験のまとめが「結果から分かったこと」に記載されている。 ○単元ごとに基調とする色を変えている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
11 学 図	<p>(1) 新潟市中学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 題材や単元内の配列が、生徒の思考体系に合っているか</p> <p>② 課題と正対したまとめが明記しており、アクティブ・ラーニングを展開しやすい工夫があるか</p> <p>③ 観察・実験への配慮がなされているとともに、観察・実験を補強する資料が充実しているか</p>	<p>○学習指導要領の配列と順序を入れ替え、単元全体にかかわる概念的な事項を早い段階で学習するような配列の単元が多い。</p> <p>○学習課題は、「課題??」というロゴが使われており、どこに課題が書かれているかが一目で分かるように工夫されている。</p> <p>○「問い（活用・表現）」や「話し合ってみよう」など、協働的な学習のきっかけや活動が明確化されている。</p> <p>○実験のページに「方法」、「結果」、「考察」、「まとめ」の表示があり、学習の流れが視覚的に示されてある。また、「まとめ」に至るまでに重要語句や実験結果の解説・解釈、更に写真や表が効果的に示されていて、生徒の思考に則している。</p> <p>○単元の終わりに「科学を仕事に活かす」や「インタビュー」などの読み物を設け、学習内容とキャリア教育をつなぐ視点を取り入れている。</p>
書 名	(2) その他	<p>○カラーユニバーサルデザイン（CUD）に配慮されている。</p> <p>○「単元末問題」が見開きで掲載され、その後のページに「読解力問題」が掲載されている。単元末に終章として、知識の活用を促す工夫がされている。</p> <p>○つまずきやすい計算問題については、公式→例題→解き方→問いの流れで説明されている。巻末に小数のかけ算、割り算の方法が示されている。</p>
中 学 校 科 学	<p>① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>② 基礎・基本の定着のための工夫</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○随所に「話し合ってみよう」というステップがあり、協働的な学習活動を通して課題を解決するための工夫がある。</p> <p>○巻末のまとめ問題や単元末の活用問題が良問であり、知識の定着や思考力の向上に適している。また、巻末に学年の学習内容をまとめる総合問題がある。</p> <p>○新潟県内の写真を数多く掲載している。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 教 出	<p>(1) 新潟市中学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 題材や単元内の配列が、生徒の思考体系に合っているか</p> <p>② 課題と正対したまとめが明記しており、アクティブ・ラーニングを展開しやすい工夫があるか</p> <p>③ 観察・実験への配慮がなされているとともに、観察・実験を補強する資料が充実しているか</p>	<p>○ 単元配列が全学年とも、化学（粒子）→物理（エネルギー）→生物（生命）→地学（地球）となっている。『電流』単元では、最初に静電気を扱うことで、早い段階で電流の正体が電子の流れであることにふれている。</p> <p>○ 学習課題は、「？」の符号がつき、疑問形で示されている。</p> <p>○ 「調べよう」、「考えよう」、「話し合おう」、「活用しよう」など、協働的な学習のきっかけや活動が明確化されている。</p> <p>○ 実験のページには「方法」、「結果」、「考察」の表示があり、「まとめ」に相当する記述がある。また、「私のレポート」のページを設け、実験レポートの書き方を紹介している。</p> <p>○ 挿入されている画像はきれいで、分かりやすいものが多い。</p>
書 名	(2) その他	<p>○ UDフォントが使用されている。カラーユニバーサルデザイン（CUD）に配慮され、カラーユニバーサルデザイン機構の認証を受けている。</p> <p>○ 単元末に見開きで「基礎・基本問題」、その後の見開きで「活用問題」、巻末に、「学年末総合問題」が掲載されている。</p> <p>○ 巻末に「理科で使う算数・数学」として、四則計算の復習と、公式が対応した資料が掲載されている。</p>
自然の探求 中学校理科	<p>① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>② 基礎・基本の定着のための工夫</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○ 巻末に学年末総合問題があり、知識の定着のための工夫がある。</p> <p>○ 各巻末に学習内容に沿った、ピンホールカメラなどの付録がついている。</p> <p>○ 「ハローサイエンス」では、カテゴリー分けをして、学習した内容にかかわる科学の話題を紹介している。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
61 啓林館	<p>(1) 新潟市中学校の「理科」指導における課題・重点等から</p> <p>① 題材や単元内の配列が、生徒の思考体系に合っているか</p> <p>② 課題と正対したまとめが明記しており、アクティブ・ラーニングを展開しやすい工夫があるか</p> <p>③ 観察・実験への配慮がなされているとともに、観察・実験を補強する資料が充実しているか</p>	<p>○単元配列が全学年とも、生物（生命）→地学（地球）→化学（物質）→物理（エネルギー）となっている。</p> <p>○各単元内の配列は、ほぼ学習指導要領どおりとなっているが、『地球と宇宙』単元では、まず始めに宇宙全体のイメージをもたせてから身近な天体を学習するというスムーズな流れになっている。</p> <p>○学習課題は、「？」の符号がつき、疑問形で示されている。</p> <p>○「考えてみよう」、「予想してみよう」、「話し合ってみよう」、「活用してみよう」など、協働的な学習や話し合い活動などのきっかけが明確化されている。</p> <p>○実験のページには「目的」、「方法」、「結果」、「考察」の表示がある。特に「方法」や「結果」については、手順の確認や見いだした実験結果の確認ができるよう「ステップ」が設けられている。</p>
書名 未来へひろがるサイエンス	<p>(2) その他</p> <p>① ユニバーサルデザイン化への配慮</p> <p>② 基礎・基本の定着のための工夫</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○カラーユニバーサルデザイン（CUD）に配慮されている。</p> <p>○別冊のマイノート内で、「基本のチェック」、「用語の確認」、「観察・実験の確認」、「要点の確認」があり、基礎・基本の定着や活用問題が充実している。</p> <p>○巻末に「理科でよく使う算数・数学」として、つまずきやすい計算の仕方や、算数や数学の考え方を紹介している。</p> <p>○別冊の「マイノート」には、観察・実験の結果を記入する欄や、基本の確認から応用力を身に付けるための問題がある。</p> <p>○用語暗記のために使う青色シートがついている。</p> <p>○巻末の「サイエンストラベラー」で、日本全国各地の動植物、自然環境について紹介している。</p>

音 楽（音楽一般）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた2種である。

17 教出

27 教芸

- 2 「音楽一般」，「器楽」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の音楽科指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

- [共通事項]の位置付けを明確にした題材構成の工夫をする。
- 表現と鑑賞とを関連させた題材構成の工夫をする。
- 「学習課題」と「まとめ」を明確にした授業を構成する。
- 他と関わりながら思考・判断したことを表す活動を行い、言語活動の充実を図る。

① 全体構成上の特徴（単元の構成，配列など）

- ・教材の配列は適切であるか。
- ・系統的・発展的に題材が構成できるように教材は組織されているか。

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・生徒が既習の学習内容や興味・関心を生かして，自主的な学習活動ができるようにするために，どのような工夫がなされているか。
- ・生徒の個性や音楽性の違いに対応するとともに，基礎的・基本的な内容が定着できるようにするために，どのような配慮や工夫がなされているか。

③ その他の特徴

- ・[共通事項]は，他の内容と関連づけられ，適切に扱われているか。
- ・合唱などの表現活動や鑑賞において，多様な活動の可能性のある教材を取り入れているか。

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ・教科書のユニバーサルデザイン化の視点から，どのような特徴や工夫が見られるか。

② 記述・表現

- ・資料性の高い写真や楽譜，楽曲のイメージを効果的に広げる図や文章など，表現や記述にはどのような工夫が見られるか。

(3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して，それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 教出	(1) - ① 全体構成上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○「音楽の要素」「さまざまな音楽文化」「歌い合わせ聴き深める喜び」という3つのカテゴリーに各教材を分類し、表現、鑑賞、創作などの教材を関連付けながら学習できるように工夫されている。 ○教材をジャンル別に歌唱曲、鑑賞曲、音楽文化や創作、合唱教材と順に配置することで、全体の見通しをもちやすくする工夫がされている。
	(1) - ② 学習を成立させるための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○曲名の左下に、学習指導要領に基づく学習内容と共通事項が明記され、具体的な学習のめあてを捉えて学習できるように工夫されている。 ○新たに出てくる記号や用語などを、楽譜の右上に取り出して配置し、巻末の楽典のページを調べながら学習できるように工夫されている。
	(1) - ③ その他の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材（共通教材）の歌詞がもっている詩情を想像しやすい写真や図が豊富に配置され、楽曲の理解が深まるように工夫されている。 ○知識・理解に関する情報が厳選され、整理されたレイアウトによって要点が捉えやすいように、配慮されている。
書名 中学 中学 音楽 音楽	(2) - ① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○文字や図、タイトルやアイコンの配色、大きさなどが配慮され、3つのカテゴリーや学習の要点が視覚的に捉えやすい紙面構成になっている。 ○教科書の両サイドを縦に活用し、左に目標系列に関すること、右に資料や年表に関することを常に配置する工夫をしている。
音楽の おくりもの 2 2 1 ・ 3 3 下上	(2) - ② 記述・表現について	<ul style="list-style-type: none"> ○歌唱教材で縦書きの歌詞と楽譜のページを明確に分けることで、歌詞の理解やイメージを広げたり、楽譜でしっかりと表現を工夫したりできるように配慮されている。 ○鑑賞や創作では、直接教科書に文や楽譜などを書き込んで学習できるように工夫されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○教材曲ごとに学習の目標を明確に示し、知識・理解に関する情報を整理・厳選することで、学習内容を捉えやすくなるような構成になっている。 ○共通教材では、写真や作詞、作曲者の思いを4ページを使って詳しく掲載するなど、楽曲を理解しやすくする配慮がされている。 ○製本が「平綴じ」のためしっかりした作りで、背表紙の文字も明確である。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
27 教芸	(1)－① 全体構成上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○「音楽学習MAP」によって、歌唱や鑑賞、創作の各領域の教材を関連付け、授業者が題材構成しやすくなっている。歌唱教材と鑑賞教材等の間に創作や知識・理解の内容を配置し、それぞれを関連付けて学習できるように工夫されている。 ○創作の内容は3年間を見通し、系統的な学習ができるように構成されている。
	(1)－② 学習を成立させるための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○曲名の上に目標が明示され、「音楽学習MAP」と連動した「学習の窓口」のアイコンによって学習の見通しがもてるように工夫されている。 ○鑑賞教材では、豊富な資料が提示されている。日本の歴史や音楽文化も示されるなど、様々な発展的な学習が行えるような構成になっている。
	(1)－③ その他の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○共通教材では、見開きを使い、歌詞に関する写真や作曲者等の言葉、記号の説明など、全体を把握しやすいように工夫されている。 ○歌唱教材の後に、共通事項の内容を教材曲と結びつけて説明している。歌唱表現と知識・理解に関する事項を関連させて捉えることができるように配慮されている。
書 名 中学生の音楽2・3下 中学生の音楽2・3上 中学生の音楽1	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○「音楽学習MAP」と「学習の窓口」のアイコンを各教材のページに連動させ、領域ごとにレイアウトを揃えるなど、学習内容による関連が視覚的に捉えやすい配置になっている。 ○図や写真、タイトルや説明の文字など、豊富な情報が整理され、UDLへの配慮が見られる。
	(2)－② 記述・表現について	<ul style="list-style-type: none"> ○共通事項の学習や創作・鑑賞のページでは、直接書き込む部分が設けられ、学習内容を確実に習得できるように工夫されている。 ○発展的な学習に繋がる資料が多く掲載されるなど、授業者が多様な授業を展開できるように構成されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○「音楽学習MAP」によって題材構成のイメージが捉えやすく、各教材の目標系列が2段階になっていることで、見通しをもって学習できるように紙面構成されている。 ○鑑賞教材では、多様な学習活動が展開できるように提示資料が工夫されている。 ○製本が「中綴じ」のため全体に軽量であり、各ページの細部まで見やすい紙面になっている。

音 楽 (器 楽)

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の2種である。

17 教出 27 教芸

- 2 「音楽一般」，「器楽」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

- (1) 新潟市中学校の音楽科指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

- [共通事項] の位置付けを明確にした題材構成の工夫をする。
- 表現と鑑賞とを関連させた題材構成の工夫をする。
- 「学習課題」と「まとめ」を明確にした授業を構成する。
- 他と関わりながら思考・判断したことを表す活動を行い、言語活動の充実を図る。

- ① 全体構成上の特徴 (単元の構成, 配列など)
 - ・教材の配列は適切であるか。
 - ・系統的・発展的に題材が構成できるように教材は組織されているか。
- ② 学習を成立させるための配慮 (教科の目標を実現するための配慮など)
 - ・生徒が既習の学習内容や興味・関心を生かして、自主的な学習活動ができるようにするために、どのような工夫がなされているか。
 - ・生徒の個性や音楽性の違いに対応するとともに、基礎的・基本的な内容が定着できるようにするために、どのような配慮や工夫がされているか。
- ③ その他の特徴
 - ・[共通事項] は、他の内容と関連づけられ、適切に扱われているか。
 - ・合唱などの表現活動や鑑賞において、多様な活動の可能性のある教材を取り入れているか。

- (2) その他

- ① 教科書のユニバーサルデザイン化
 - ・教科書のユニバーサルデザイン化の観点から、どのような特徴や工夫が見られるか。
- ② 記述・表現
 - ・資料性の高い写真や楽譜、楽曲のイメージを効果的に広げる図や文章など、表現や記述にはどのような工夫が見られるか。

- (3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 教出	(1)－① 全体構成上の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の音楽・楽器に重点を置いた構成になっている。例えば打楽器では、扱う楽器を日本の太鼓に絞り重点的に取り上げている。 ○ギターの学習では、単音やアルペジオなどの奏法を取り上げ、楽譜もタブ譜を紹介するなど、三味線や箏との関連を図る工夫が見られる。
	(1)－② 学習を成立させるための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○教材曲の楽譜の上に、技能習得の目標だけでなく、共通事項にある音楽の要素やその関連について学習できるように構成されている。 ○リコーダーの学習では、教材曲の運指をページ脇に図を並べて掲載し、学習者が主体的に技能獲得できるように配慮されている。 ○親しみやすい旋律を教材に取り上げ、コードネームを付けることで、発展的に鍵盤楽器やギター等と合わせて演奏できるように作られている。
	(1)－③ その他の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の音楽や楽器について詳細に説明や手作りの横笛づくりを紹介するなど、発展的な学習へ結びつけられる構成になっている。 ○日本の楽器の学習では、その楽器の鑑賞曲を取り上げ、鑑賞と関連づけながら学習できるように工夫されている。
書名	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ユニバーサルデザインを意識した配色、豊富な写真や挿絵、説明によって、わかりやすく学習できるように配慮されている。
中学 器楽 の お く り の 音 楽	(2)－② 記述・表現について	<ul style="list-style-type: none"> ○教材曲の演奏技能を主体的に身につけるために、音楽の要素をもとに、目標や説明、楽器の運指図、記号など、学習する内容がわかりやすく配置されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の音楽に重点を置くとともに、それぞれの楽器の技能習得だけでなく、教材曲の演奏を通して共通事項の内容や、鑑賞などの他領域の内容との関連が図れるように構成されている。 ○リコーダー教材でのコードネーム掲載、音楽の歴史に関する資料提示、楽器づくりのページなど、発展的な学習ができるよう、工夫されている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
27 教芸	(1)-① 全体構成上の特徴	<p>○日本の音楽・楽器と西洋や世界の音楽・楽器をバランスよく取り上げている。例えば打楽器では、日本の太鼓とオーケストラや世界の打楽器など多様な打楽器を紹介している。</p> <p>○平易な楽曲に取り組みながら、無理なく演奏の基礎的技能が習得できるように教材配置が工夫されている。</p>
	(1)-② 学習を成立させるための配慮	<p>○リコーダーの学習では曲の音域が示され、学習の見通しを持たせている。基礎的な技能でもアンサンブルの楽しさを感じられるような、平易で親ししやすい二重奏曲を中心に構成されている。</p> <p>○高音と低音で運指やサミングを関連づけて、技能習得が効率的にできるように工夫している。</p> <p>○ギターのページでは、よく知られた歌唱曲にコードで伴奏できるストローク奏法を先に紹介し、導入の学習を親しみやすくしている。</p>
	(1)-③ その他の特徴	<p>○日本の楽器「箏」の教材曲は、縦譜と五線譜が対応して読み取れるように、同じ段落数・小節数にして、見やすく配置してある。</p> <p>○発展的な二重奏などは、西洋の楽曲と一緒に後半に取り上げ、アンサンブル曲として関連づけて演奏できるようにしてある。</p>
書名	(2)-① ユニバーサルデザイン化への配慮	<p>○落ち着いた色調で、見やすい紙面になっている。また、余白を効果的に使い、楽譜や説明写真が視覚的に捉えやすいレイアウトである。</p>
中学生の 器楽	(2)-② 記述・表現について	<p>○楽器の技能習得に必要な情報が厳選され、整理されて掲載されていることで、一目で技能習得のポイントを把握できるように配慮されている。また、説明する内容に合わせて、写真と挿絵を効果的に使い分ける工夫が見られる。</p>
	(3) 全体的な特徴	<p>○西洋の音楽、世界の音楽、日本の音楽、それぞれの楽器習得を通して、様々な音楽と楽器の関連性が感じられるように工夫されている。</p> <p>○基礎的な技能で、楽器演奏の楽しさが味わえるように、扱う楽曲が工夫されている。掲載情報を厳選し、楽譜が見やすい紙面構成になっている。</p>

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告書

美 術

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の3種である。

9 開隆堂

38 光村

116 日本文

2 「美術」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「美術」指導における課題・重点等から

〈課題・重点等〉

○ 豊かな感性を養い、主体的に創造活動を楽しむ生徒の育成

① 全体構成上の特徴（題材の構成、配列など）

ア 目次の項目数・総ページ数

イ 領域別の割合について

ウ 表現題材の取り上げ方について

エ 鑑賞題材の取り上げ方について

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

ア 造形活動の魅力や楽しさを児童に感じさせる配慮

イ 共通事項の取り扱いについて

ウ 言語活動との関連について

エ 他教科・領域との関連について

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

② 記述・表現

ア 作品例や写真の数や特徴

イ 説明図、説明文の特徴

(3) 全体的な特徴

ア 教科書名、副題

イ 表紙・装丁等について

ウ 用具・技法について

エ その他

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
9 開隆堂	<p>(1) -① 全体構成上の特 徴</p> <p>(1) -② 学習を成立させ るための配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次項目数は、1年 58ページ、2・3年 108ページ、合計 166ページである。 ○ 構成は、1年では、絵画作品を多く掲載している。また、生徒作品が多く、生徒が主体的に創造活動を行う際の参考資料となる。2、3年では、鑑賞用の作品が多く、学習指導要領のB鑑賞の内容に対応している。 ○ 2・3上下が合本されている。 ○ 制作物が生活場面で展示されたり、使われたりしている写真の掲載が多い。 ○ 見開きで大判の図版が掲載されている。 ○ 比較的抽象性の強い作品や現代アートなどを多く掲載している。 ○ モナリザの顔のクローズアップ写真や見開き図版など原寸大ギャラリーをいくつか設け、特に技術的な側面から鑑賞を促している。 ○ 美術とキャリア教育との関連を意図し、美術で学んだ力を生かして社会で働いている方々の話が紹介されている。 ○ 共通事項の学習課題やねらいは、主文の中に関わった表記があり、振り返り場面が独立して記載されている。 ○ 共通事項の巻末資料の中は、いくつかの技法とともに掲載されている。 美術1 6ページ分 美術2・3 8ページ分 ○ 鑑賞題材の中で何カ所か○囲みで鑑賞を呼びかける表記がある。 ○ 作品図版の下に作家や生徒の言葉を30字程度でまとめ、「」でくくり紹介している。 美術1 作家作品 3か所 生徒作品 30か所 美術2・3 作家作品 7か所 生徒作品 36か所 ○ 道徳との関連を意図した題材が重複ページも含め、29か所ある。 ○ 大震災と関連した作家の作品を取り上げている。
書名 美術1 美術2・3	<p>(2) -① 教科書のユニバ ーサルデザイン 化</p> <p>(2) -② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ カラーユニバーサル機構 (NPO 法人) による校閲である。 ○ 紙面の全体の配色、イラストの配色や配置など、色覚に多様性のある生徒への配慮がある。 ○ 目次の文字が大きく記載され、UDLの配慮がなされている。 ○ 目次は、表紙次の折りページ裏P. 4に記載されている。青は「絵や彫刻など」赤は「デザインや工芸など」を示し、題材ごとに識別しやすい工夫がされている。 ○ 1題材を数ページに渡り、続けて紹介している。 ○ 作品数や写真は、1題材につき9～2.6程度(1年)、10～4.4程度(2・3年)である。 ○ 1題材のページの中に表現を支える技法資料と鑑賞資料があわせて紹介されている。 ○ 鑑賞のきっかけとなる水玉枠が共通で表記され、発想のヒントが吹き出して表記されている。 ○ 教科書名は、「美術」。「美術1」は、右上の赤い円形の中に、「美術2・3」は黄色い円形の中に文字が記載されている。 ○ 大きさは、縦A4版である。 ○ 裏表紙には、表紙や裏表紙の作品の説明が記載されている。「美術1」は「地域とつながる美術」「美術2」は岡本太郎の「平和と美術」を象徴する作品が紹介されている。 ○ 巻末には、学習を支える資料が掲載されている。 ○ 表紙裏に「保護者の皆様へ」と題して、美術の学習のねらいが記載されている。 ○ 環境に配慮した用紙やインキが使用されていることが記載されている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
38 光村	(1) -① 全体構成上の特 徴 (1) -② 学習を成立させ るための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次項目数は1年 68ページ, 2・3年 106ページ, 合計 174ページである。 ○ 構成は, 1年では絵画作品と工芸作品を多く取り扱っている。また, 写真資料が多く, 生徒が主体的に創造活動を行う際の参考資料となる。2, 3年ではそれぞれの分野の作品が平均的に掲載されており, 学習指導要領のA表現, B鑑賞のどちらにも対応している。 ○ 2・3上下が合本となり, 第2学年と第3学年の題材が一体化して示されている。 ○ 和菓子や風呂敷等, 実物の写真を使用し, 暮らしの中の美術が紹介されている。 ○ 見開きで大判の図版が掲載されている。また, 生徒の鑑賞レポートが多く紹介されている。 ○ 日本文化の紹介に迫力のある見開き図版(美術1 風神雷神)や実物大の火炎土器・螺鈿のアップ写真を設け, 日本文化への理解を通して言語活動を誘う鑑賞への工夫がある。 ○ 作家の言葉や詩などを用いて, 言語活動を促している。 ○ 美術に親しみを持たせる工夫をしている。 ○ 共通事項は, 各題材の始めに目標が示されている。また, 意識化を図るために, 特に「Q」の見出しで, 形・色・材料・光などに関する問い掛けをしている。 ○ 共通事項は, 巻末資料の中でいくつかの技法とともに紹介している。 美術1 6ページ分 美術2・3 8ページ分 ○ 題材の目標の中で, 話し合いを促す表記がある。 ○ 作品図版の近くに作家や生徒の感想を「作者の言葉」として枠で囲み, 50～100字程度でいくつか紹介している。 美術1 作家作品 5か所 生徒作品 4か所 美術2・3 作家作品 6か所 生徒作品 9か所 ○ 道徳との関連を意図した題材が17あり, 欄外に気付かせたい道徳的価値がハートマークで示されている。 ○ 震災後の街作りに関する作品が複数取り上げられている。
書名	(2) -① 教科書のユニバ ーサルデザイン 化	<ul style="list-style-type: none"> ○ カラーユニバーサル機構(NPO法人)による校閲である。 ○ 複数の参考写真を並べて掲載する場合, 同サイズで配置されている。 ○ 目次にあるマークが大きく示され, UDLへの配慮がされている。 ○ 目次は, 折りページオモテ(P. 4)に記載されている。赤帯は「絵や彫刻など」青帯は「デザインや工芸など」緑帯は「学習を支える資料」とし, ●は表現, ◆は鑑賞, ★は学習を支える資料を示し, 題材ごとに識別しやすい工夫がされている。
美術1 美術2・3	(2) -② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1題材が見開きの2ページに掲載され, 同パターンで編集されている。 ○ 作品数や写真は, 1題材につき4～31程度(1年), 2～36程度(2・3年) ○ 学習と関連する技法や使い方が掲載されているページを ⇨ で示している。 ○ 国宝に指定されている作品には◎が表記されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書名は「美術」。「美術1」は赤い文字で, 「美術2・3」は青い文字で右上に記載されている。 ○ 大きさは, 縦A4版である。 ○ 裏表紙には, 表紙の作品の説明と作者の写真が掲載されている。 ○ 巻末には, 「学習を支える資料」が掲載されており, 特に, 色や光の特徴が系統的に取り上げられている。 ○ 裏表紙右上のバーコードデザインと教科書内の作品例の関連を問いかけ, デザインへの興味関心を引く工夫がされている。 ○ 環境に配慮した用紙, 植物油インキを使用したことを証明するマークが記載されている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
116 日文	<p>(1) -① 全体構成上 の特徴</p> <p>(1) -② 学習を成立させる ための配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次項目数は、1年 60ページ、2・3上 58ページ、2・3下 58ページ、合計 176ページである。 ○ 構成は、1年では、絵画作品と鑑賞作品を多く取り扱っている。また、生徒作品が多く、生徒が主体的に創造活動を行う際の参考資料となる。2、3年では、作家作品や鑑賞用の作品が多く、学習指導要領のB鑑賞の内容に対応している。 ○ 1年生で「出会いと広がり」、2・3年上で「学びの深まり」、2・3年下で「美の探求」と3つのステップで構成されている。 ○ 作家作品や生徒の制作物、伝統工芸品など、生活と美術のかかわりを紹介している写真の掲載が多い。 ○ 見開きの大判図版の他、和紙による印刷のページがある。 ○ 小・中・高の連続した学びを強く意識して構成されており、紹介作品は時代性・地域性にバランスよく配慮がされている。 ○ 見開きで和紙に原寸大で印刷された北斎の浮世絵版画作品があり、素材感が伝わりやすい工夫がされている。また、三十三間堂「千体千手観音像」の迫力ある大きな写真が掲載され、日本文化の紹介に工夫が見られる。 ○ 美術に親しみを持たせるための工夫をしている。 ○ 共通事項は、タイトルや主文、「学びのねらい」（題材の目標）、「POINT」の文言を通して繰り返し意識化を図っている。 ○ 共通事項は、巻末資料の中でいくつかの技法とともに紹介している。 ○ 美術1 8ページ分 美術2・3上、5ページ分 美術2・3下 2ページ分 ○ 題材のねらいの中で話し合いを促す表記をしている。 ○ 作品図版の下に「作者の言葉」として見出しを設け、作家や生徒の意図を50～100字程度で紹介している。 <li style="padding-left: 20px;">美術1 作家作品 3か所 生徒作品 24か所 <li style="padding-left: 20px;">美術2・3上 作家作品 3か所 生徒作品 20か所 <li style="padding-left: 20px;">美術2・3下 作家作品 4か所 生徒作品 20か所 ○ 道徳との関連を意図した題材が16あり、欄外に気付かせたい道徳的価値がクローバマークで示されている。 ○ 防災・安全教育と関連して、情報を分かりやすく伝える題材を取り上げている。
書名 美術1 美術2・3上 美術2・3下	<p>(2) -① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2) -② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ カラーユニバーサルデザインに関する校閲がされている。 ○ 大きなサイズの参考資料や写真が掲載されている。 ○ サイズの小さい文字については、行間を広くとっている。 ○ 目次は、折りページオモテ(P. 5)に記載されている。朱枠は「オリエンテーション」青枠は「絵や彫刻など」赤枠は「デザインや工芸など」黄枠は「学習に役立つ資料」とし●は表現、◆は鑑賞、■オリエンテーションと学習に役立つ資料を示し、題材ごとに識別しやすい工夫がされている。 ○ 1題材が見開きの2ページに掲載されている。 ○ 作品数や写真は、1題材につき3～48程度(1年)、2～38程度(2・3年) ○ 学習と関連する内容が参照マークで掲載されている。 ○ 学習内容のポイントが枠囲みの「POINT」として示されている。 ○ 教科書名は「美術」。「美術1」は副題が「出会いと広がり」、「美術2・3上」は、副題が「学びの深まり」、「美術2・3下」副題が「美の探求」と左上に記載され、各分冊のテーマを伝えている。 ○ 大きさは、縦A4版+横2cmであり、写真や資料が大きい。 ○ 裏表紙には、表紙や裏表紙の作品の説明が記載されている。 ○ 2・3下の巻末には、中学校から上級学校へとつながる学びの連続性を意識した「あなたへ～中学校美術からの巣立ち～」が掲載されている。 ○ 安全・防災教育に関する校閲を受けており、自らが安全・防災に対するデザインに取り組む題材が、設定されている。 ○ 環境に配慮した用紙や植物油インキを使用したことが記載されている。

保 健 体 育

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の4種である。

2 東京書籍 4 大日本図書 50 大修館書店 224 学研教育みらい

2 「保健体育」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「保健体育」指導における課題・重点等から

ア 学習指導要領保健体育科の目標より

心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに健康の保持増進のための実践力の育成と体力の向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。

イ 新潟市教育ビジョン第3期実施計画より

体力・健康づくり推進の視点から、生徒の体力・運動能力や運動習慣の実態を踏まえ、自校の重点や各学年で身に付けさせたい力を明確にし、それらを確実に習得・活用させる授業を展開する。

ウ 新潟市学校教育実践上の努力点および新潟市中教研保健体育部の課題より

基礎的・基本的な知識および技能の習得、思考力・判断力・表現力等を向上させるとともに、アクティブ・ラーニングの視点から学ぶ意欲を喚起し、「わかってできる」授業づくりを工夫して、確かな学力の向上を図る。

① 単元の構成と配列

- ・単元の配列や構成上の特徴は何か。
- ・体育分野と保健分野の内容の選択と扱い、バランスはどうであるか。

② 学習過程への配慮

- ・課題解決的な学習が進められるようになっているか。
- ・日常生活で、自ら実践しようとする意欲を促す工夫がなされているか。

③ 表現・イラスト等の紙面構成

- ・用語や文章表現の読みやすさ、わかりやすさへの配慮はなされているか。
- ・教科書のユニバーサルデザイン化（文字、カラー）への配慮はどうか。
- ・統計資料、写真やイラスト、グラフや図などの取り扱いの配慮はどうか。

(2) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうであるか。

発行者の 番号 略称	項目・観点 等	特 徴
2 東書	(1)－① 構成と配列 (1)－② 学習過程へ の配慮 (1)－③ 表現・イラ スト等の紙 面構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「今日の学習」⇒ 課題「やってみよう」⇒ 「考えよう」⇒ 資料が続き、レイアウトに沿いながら課題を解決する学習過程である。 ○ 学年別の構成で、各学年の学習内容が明確になっている。「生かそう」など、発展につながる内容も適宜示している。 ○ 175ページ、口絵12ページの教科書である。1行27文字を基本とし、資料のカット割りによって文字数を調整し、見やすくしている。 ○ 再生紙・植物油インキを使い、色覚特性に適したデザインである。見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを採用している。 ○ 写真・イラスト資料が大きめで、多数掲載してある。興味や関心がもてるよう、生徒がよく知っている人物を多く取り上げている。 ○ 生徒の科学的な理解を促すため、鮮明なイラストが豊富に掲載されている。
書名		
新編 新しい 保健体育	(2) 全体的な特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書のサイズは、A B版で横幅が大きい。 ○ 学習指導要領改訂の趣旨に示された学習内容の体系化に対応し、各章扉で、小・中・高校それぞれの学習を系統的に明示してある。 ○ 単元ごとにある「やってみよう（課題提示）」は、身近な題材が多く、生徒が課題解決的に学習を進められるようになっている。 ○ 巻頭口絵で、スポーツに関わる人々の話を掲載し、本文ページでも随所に働く人の姿を紹介して、キャリア教育への対応を図っている。 ○ 各章「章末資料」を掲載し、章中の語句や説明とリンクしている。

発行者の 番号 略称	項目・観点 等	特 徴
4 大日本	(1)-① 構成と配列 (1)-② 学習過程へ の配慮 (1)-③ 表現・イラ スト等の紙 面構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発問「今日の学習課題」⇒「考えよう」⇒資料（写真やグラフ）やイラストを活用して、課題を解決する学習過程である。 ○ 各項ごとに学習を進めつつ、章末における「学習のまとめ」で重要語句や学習の要点をまとめて振り返る。 ○ 151ページ、口絵12ページの教科書である。1行28字が基本で、本文脇やページ下部に図・表などの資料を配置している。 ○ 再生紙、植物油インクが使用されており、見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを採用している。 ○ 色覚の個人差を問わず、必要な情報が伝わる色遣いに配慮している。
書名		<ul style="list-style-type: none"> ○ 統計資料やグラフ、写真やイラストが豊富であり、一つの資料に数枚使用している箇所もある。
新版 中学校 保健体育	(2) 全体的な特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書のサイズは、AB版で横幅が大きい。 ○ 各章別、項別にページをめくりやすいように目印がついてある。 ○ 資料が豊富でトピックやミニ知識などで学習内容を補完している。グラフなどは、比較的新しいデータを用いている。 ○ 写真資料では、生徒が興味や関心をもてるよう、知名度の高い選手を多く紹介している。 ○ 「リンク」によって他の章や項との関連性を図っている。

発行者の 番号 略称	項目・観点 等	特 徴
50 大修館	(1)-① 構成と配列 (1)-② 学習過程へ の配慮 (1)-③ 表現・イラ スト等の紙 面構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入発問「クエスチョン」⇒写真やグラフ、イラストを活用して知識・理解を深め、項末課題「Try」で振り返る学習過程である。 ○ 章末の「学習のまとめ」で復習・応用・発展の問題を提示し、答えられなければ戻るページが示され、学びの振り返りが図られている。 ○ 159ページ、口絵11ページの教科書である。1行29字が基本で本文脇に補足説明、本文下に図表を原則として配置している。 ○ 再生紙・植物油インクを使用し、印刷が鮮明であり、ユニバーサルデザインに配慮している。 ○ 本文背面に薄黄の地色を敷いて図表等と区別している。 ○ 図や表の資料は豊富であり、ページいっぱいに図やイラストを掲載している箇所もある。
書名		
保健体育	(2) 全体的な特 徴、	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料が豊富でトピックやミニ知識などで学習内容を補完している。グラフなどは比較的新しいデータを用いている。 ○ 余白部分が多めにとっており、注釈で本文の説明を補足している。 ○ 「活用」「実習」「発展」と段階に応じた発問や課題が用意されている。 ○ 「Try」で自分の学びを確かめている。 ○ URLを表記して、インターネットで活用しやすいようにしている。

発行者の 番号 略称	項目・観点 等	特 徴
224 学研	(1)-① 構成と配列 (1)-② 学習過程へ の配慮 (1)-③ 表現・イラ スト等の紙 面構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の目標 ⇒ 発問「ウォームアップ」⇒「エクササイズ」⇒ 資料やイラストを活用し、課題を解決する学習過程である。 ○ 章末における「学習の確認」では、用語の確認、知識の活用として学んだことをセルフチェックできる記入欄が設けられている。 ○ 184ページ、口絵等9ページの教科書である。1行27字が基本で、本文右脇やページ下部に、図・表などの資料を配置している。 ○ 視覚的に捉えやすいカラーユニバーサルデザインに配慮している。 ○ 再生紙・植物油インクが使用され、読みやすいように行間が広く、見やすく読み間違えにくいユニバーサルフォントを採用している。
書名		<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真・イラスト・資料とも多く用いられており、本文中にマークで学習内容や活動内容を示している。
新 中学保健体育	(2) 全体的な特 徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次では、体育編において「スポーツ」を全面に押し出している。 ○ 本文はページの左側、右側に資料や用語説明や関連するページ等をまとめて掲載してある。 ○ イラスト、グラフ、写真は、シンプルでバランスがよい。 ○ 「実習」として方法や技術を理解・習得する学習内容が示されている。 ○ 章末や項末に「コラム」を多く用いて発展的な理解を促すように配慮されている。

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告書

技術・家庭（技術分野）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の3種である。

2 東書

6 教図

9 開隆堂

- 2 「技術・家庭」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

- (1) 新潟市中学校の「技術・家庭」指導における課題・重点等から

技術・家庭科の学習を通して、「生活に関わる技術を適切に評価する力」を育むことを重点としている。その習得のために必要な、
・学習課題について ・教材構成について ・実験及び実習についてのそれぞれが適切に配置され、分かりやすく明示されているかを観点とする。

- ① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）
- ・実践的・体験的な学習活動に対する工夫や配慮はどうか。
 - ・基礎的・基本的事項が確実に定着するように丁寧に示されているか。
 - ・生活の自立につながる教材の構成になっているか。
- ② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）
- ・生活と結び付いた問題解決的な学習展開になっているか。
 - ・題材のめあてを明確に示し、学習終了時に振り返りを促し、学習の定着を図る工夫がなされているか。
 - ・互いの考えを伝え合い、表現力を高める言語活動の場や「技術・家庭」特有の言語に対する配慮があるか。
 - ・持続可能な社会、環境への配慮等についての記述があるか。

- (2) その他

- ① 教科書のユニバーサルデザイン化
- ・男女共同参画の視点から配慮されているか。
 - ・用語や文章表現の読みやすさ、図表や写真等の見やすさへの配慮があるか。
- ② 記述・表現
- ・デザイン・色使い・レイアウト・装丁を工夫し、学習意欲を高めるようにしているか。

- (3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
2 東書	<p>(1)－① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）</p> <p>(1)－② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）</p>	<p>○A～Dの各内容の初めに小学校や他教科との関連がまとめられている。</p> <p>○各内容とも、1章で知識理解、2章で製作、3章が評価・活用の内容になっている。</p> <p>○基礎技能がまとめて掲載されている。</p> <p>○各編の最後に「評価・活用してみよう」1P、「学習のまとめ」2Pがある。</p> <p>○まとめの中に「生活に生かそう」の項目を設定している。</p> <p>○実習例が複数掲載されている (A内容9例, B内容4例, C内容11例, D内容7例)</p> <p>○発展的な学習内容をマークで示している。</p> <p>○安全面への配慮や注意事項を「安全マーク」で統一して示している。</p> <p>○実習例では「問題の発見」の項目を設け、配慮する事を示している。</p> <p>○図は、JISに基づいて説明されている。</p> <p>○「技術の匠」として、実際にその技術を社会で活用している人のコラムがある。</p>
書 名 新編 新しい技術・家庭 技術分野	<p>(2)－① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2)－② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○A～Dの内容の初めに「この編で学ぶこと」として章の構成が示されている。</p> <p>○項目のアイコンはその内容にかかわるようデザインされている。</p> <p>○全ページとも編と章がインデックスで示されている。</p> <p>○紙面幅が広く、図・表が大きくなっている。</p> <p>○A～Dの各内容でインデックスの色が変えられている。</p> <p>○見開きの下にパラパラ写真を設けている。</p> <p>○サイズがA B判、見開き横流れの紙面構成で統一されている。</p> <p>○図・写真が多く用いられている。</p> <p>○実際に社会で、関係ある仕事に携わっているプロの方の声が多く掲載されている。</p> <p>○作品例に新潟県及び新潟市生徒の作品が写真で複数紹介されている。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
6 教図	<p>(1)－① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）</p> <p>(1)－② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）</p>	<p>○各内容の最終章が「章末問題」1P、「まとめ」1Pになっている。</p> <p>○実習例が複数掲載されている（A内容5例、B内容4例、C内容6例、D内容5例）</p> <p>○安全面への配慮事項を「注意」という項目で全編統一して、示している。</p> <p>○「やってみよう」「考えよう」「調べよう」の3段階で学習活動を示している。</p> <p>○基礎的な技能や知識に関することを「基礎技能・知識」の見出しでまとめている。</p> <p>○取り上げる技術が徐々に高度になるように配置されている。</p> <p>○環境への配慮について、巻末にまとめて記述してある。</p> <p>○図は、JISに基づいて説明されている。</p> <p>○実際に製作している場面の手元を写真で示し、解説している</p>
書名 新・技術家庭 技術分野	<p>(2)－① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2)－② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○実習例では作業の進行段階や内容がわかるアイコンが用いられている。</p> <p>○A～Dの各内容でインデックスの色が変えられている。</p> <p>○イラスト、写真、図を用いて、例示、解説をしている。</p> <p>○実習のページでは、上段に実習の流れが示されている。</p> <p>○発展題材や資料的内容に関する図や写真が多い。</p> <p>○サイズはB5版で従前の教科書と同一である。</p> <p>○左右のページで独立した紙面で構成されている。</p> <p>○解説の文章が短くまとめられており、余白が多めである。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
<p style="text-align: center;">9</p> <p style="text-align: center;">開隆堂</p>	<p>(1)-① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）</p> <p>(1)-② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）</p>	<p>○各章の終わりに内容のまとめをする項目が設けられている。</p> <p>○まとめの中に「生活に生かそう」が設定されている。</p> <p>○教科書の最終部分に技術内容のまとめとなる項目が設けられている。</p> <p>○学習のまとめりに「ふり返し」がある。</p> <p>○ガイダンスの初めに小学校の学習内容との関連の一覧表があり、他教科や他内容との関連が示されている。</p> <p>○安全面への配慮事項を「安全マーク」で示している。</p> <p>○実習例が複数掲載されている (A内容8例、B内容5例、C内容10例、D内容6例)</p> <p>○学習項目ごとに「学習の目標」と「振り返りと評価」が記載されている。</p> <p>○「参考」として技術(technology)に関わる情報が掲載されている。</p> <p>○各内容に「社会・環境とのかかわり」項目が設定されている。また、環境マークで関係箇所を強調している。</p> <p>○図については、JISに基づいて説明されている。</p>
<p style="text-align: center;">書 名</p> <p style="text-align: center;">技術・家庭 技術分野</p>	<p>(2)-① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2)-② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○その内容に関係するデザインで目次のアイコンを表示している。</p> <p>○イラスト、写真、図を用いて、例示、解説をしている。</p> <p>○ガイダンス、A～Dの各内容毎にページ上部の色を変えている。</p> <p>○爪見出しで開きやすくしている。</p> <p>○サイズはB5版で従前の教科書と同一である。</p> <p>○左右のページで独立した紙面で構成されている。</p> <p>○図・写真が多く用いられている。</p> <p>○作業手順の解説は、順を追ってイラストや写真と文章を使って示している。</p>

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告書

技術・家庭（家庭分野）

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の3種である。

2 東書

6 教図

9 開隆堂

2 「技術・家庭」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「技術・家庭」指導における課題・重点等から

技術・家庭科の学習を通して、「生活に関わる技術を適切に評価する力」を育むことを重点としている。その習得のために必要な、
・学習課題について ・教材構成について ・実験及び実習についてのそれぞれが適切に配置され、分かりやすく明示されているかを観点とする。

① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）

- ・実践的・体験的な学習活動に対する工夫や配慮はどうか。
- ・基礎的・基本的事項が確実に定着するように丁寧に示されているか。
- ・生活の自立につながる教材の構成になっているか。

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・生活と結び付いた問題解決的な学習展開になっているか。
- ・題材のめあてを明確に示し、学習終了時に振り返りを促し、学習の定着を図る工夫がなされているか。
- ・互いの考えを伝え合い、表現力を高める言語活動の場や「技術・家庭」特有の言語に対する配慮があるか。
- ・持続可能な社会、環境への配慮等についての記述があるか。

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

- ・男女共同参画の視点から配慮されているか。
- ・用語や文章表現の読みやすさ、図表や写真等の見やすさへの配慮があるか。

② 記述・表現

- ・デザイン・色使い・レイアウト・装丁を工夫し、学習意欲を高めるようにしているか。

(3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
2 東書	<p>1) - ① 全体構成上の特徴 (単元の構成, 配列など)</p> <p>(1) - ② 学習を成立させるための配慮 (教科の目標を実現するための配慮など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ガイダンス、B, C, A, D、生活の課題と実践、学習を終えての配列である。 ○調理実習は、食材 (肉、魚等) 別の実習例を示している。 ○幼児の触れ合い体験に12ページを充てている。 ○新しい統一規格による衣服の取り扱い絵表示が5例、示されている。 ○見開きごとに「目標」「まとめよう」が明記されている。 ○内容の終わりに「学習のまとめ」があり、「振り返ろう」「確かめよう」「生活に生かそう」の項目が設定されている。 ○「考えてみよう」「やってみよう」「調べてみよう」「生活に生かそう」が示されている。 ○全ページの下に「ひとくちQ」「ひとくちA」が示され、教科特有の言葉について記述されている。 ○全体を通して、小学校や他教科との関連について示している。
書名 新編 新しい技術・家庭分野	<p>(2) - ① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2) - ② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○イラスト、写真、図を用いて、例示、解説をしている。 ○編と章のインデックスが色分け示されている。 ○左利き、右利きに対応した作業方法が示されている。 ○主な食品や幼児の靴・箸などが原寸大の写真で示されている。また、食品写真ページの下には、定規 (目盛り) 示されている。 ○サイズがA B判、見開き横流れの紙面構成で統一されている。 ○図・写真が多く用いられている。 ○実際に社会で携わっている人の声が多く掲載されている。 ○食生活内容の所で、新潟市の農産物直売所が紹介されている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
6 教図	<p>1) - ① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）</p> <p>(1) - ② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）</p>	<p>○小学校家庭科の振り返りと中学校家庭分野の学習、A、B、C、Dの配列である。各内容の終わりに生活の課題と実践がある。</p> <p>○調理実習では献立の主食、主菜、副菜等の分類で実習例を示している。</p> <p>○幼児の触れ合い体験に6ページを充てている。</p> <p>○新しい統一規格による衣服の取り扱い絵表示が15例示されている。</p> <p>○内容ごとのはじめに「自立度チェック」、クイズ、「考えよう」など問題を提起する記述がある。</p> <p>○内容の終わりに「学習のふり返り」があり、見開き記述式の問題がある。</p> <p>○「考えよう」「話し合おう」が示されている。</p> <p>○内容ごとに重要語句に関する「キーワードチェック」がある。</p> <p>○「年中行事と暮らし」を巻頭に示し、伝統的な内容についての記述がある。</p>
書名 新・技術家庭 家庭分野	<p>(2) - ① 教科書のユニバーサルデザイン化</p> <p>(2) - ② 記述・表現</p> <p>(3) 全体的な特徴</p>	<p>○内容ごとにインデックスが色分けされている。</p> <p>○スナップボタン付けは段階ごとの絵、完成写真を示している。</p> <p>○生徒が直接書き込む方式の空欄や表を設けている。</p> <p>○各章の初めに、「自立度チェック」の項目を設けている。</p> <p>○サイズはB5版で従前の教科書と同一である。</p> <p>○左右のページで独立した紙面で構成されている。</p> <p>○図・写真が多く用いられている。</p> <p>○解説の文章が短くまとめられており、余白が多めである。</p>

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
9 開隆堂	1) - ① 全体構成上の特徴 (単元 の構成, 配列など) (1) - ② 学習を成立させるための 配慮 (教科の目標を実現 するための配慮など)	<ul style="list-style-type: none"> ○学習をはじめよう (ガイダンス)、A、B、C、D、生活の課題と実践、未来へ、の配列である。 ○調理実習は、食材 (肉、魚等) 別の実習例を示している。 ○幼児の触れ合い体験に 8 ページを充てている。 ○新しい統一規格による衣服の取り扱い絵表示が 13 例示されている。 ○各編のはじめに「参考」があり、著名人のコメントや資料が提示されている。 ○内容ごとに「目標」「学習のまとめ」があり、「振り返ろう」「生活に生かそう」が設定されている。 ○「話し合ってみよう」「振り返ってみよう」「考えてみよう」が示されている。 ○全ページの下に「豆知識」があり、補充発展的な内容が記述されている。 ○全体を通して「持続可能な社会」にかかわるページや記述がある。
書名 技術・家庭分野	(2) - ① 教科書のユニバーサルデザイン化 (2) - ② 記述・表現 (3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○イラスト、写真、図を用いて、例示、解説をしている。 ○編ごとにイメージカラーが設定され、ページの背景色が統一色で示されている。 ○主な食品や幼児の手形・足形が原寸大の写真で示されている。 ○スナップボタン付けは、段階ごとに写真・絵を用いて大きく示している。 ○サイズは B 5 版で従前の教科書と同一である。 ○左右のページで独立した紙面で構成されている。 ○図・写真が多く用いられている。 ○作業手順の解説は、順を追ってイラストや写真と文章を使って示している。

平成28年度使用中学校教科用図書研究報告書

英 語

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の6種である。

2 東書 9 開隆堂 11 学図 15 三省堂 17 教出 38 光村

2 「英語」の教科書の調査研究の項目及び観点は、次のとおりとする。

(1) 新潟市中学校の「英語」指導における課題・重点等から

(課題・重点等)

新潟市の重要課題としている「基礎的・基本的な内容の確実な定着」は、「外国語」指導においてもすべての学校において重要な課題であることは明らかである。「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」それぞれの技能をバランスよく取り上げながら、生徒の関心・意欲を引き出し、コミュニケーション能力の基礎を養うことが求められている。

また、主体的・協働的な学習者を育成するという観点から、見通しをもって学習に取り組む力を身に付けさせることも大切である。単元を通して、1年間を通して、3年間を通して、どのような力を身に付けるのか、どのような姿を目指すのかを、すべての生徒が見通しをもてるように、すべての教師が見通しをもって指導を展開することが必要である。生徒が「何を学んでいるのか」「どのように学んでいるのか」「何がわかり、できるようになったのか」を自覚できる授業を展開することができるような題材や学習活動の工夫が不可欠である。

① 全体構成上の特徴（単元の構成、配列など）

- ・単元の構成
- ・題材の内容、構成

② 学習を成立させるための配慮（教科の目標を実現するための配慮など）

- ・4技能（聞くこと、話すこと、読むこと、書くこと）のバランス
- ・4技能の特徴的な取扱い

③ その他の特徴

- ・学習の見通しをもたせる配慮

(2) その他

① 教科書のユニバーサルデザイン化

② 記述・表現

(3) 全体的な特徴

以上の観点から見た結果を総合して、それぞれの教科書の特徴はどうか。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
2 東 書	(1)－① 単元の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年11単元, 読み物1, 2年7単元, 読み物3, 3年6単元, 読み物3で構成されている。各単元3パートで構成されている。 ○ 単元のまとめの統合的活動(Presentation)が各学年3回ある。 ○ パートの基本本文数は1文で, 本文から抜き出している。 ○ 応用活動にはTool Box等で補充語彙が示されている。
	(1)－① 題材の内容, 構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本文化」「異文化理解」「福祉」「自然環境」「戦争・平和」「仕事」「国際理解」「震災」を取り上げている。 ○ 同世代の人々の夢, 発展途上の国々の人々が直面する問題を取り上げている。
	(1)－② 4技能のバランス	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unitで4技能の基礎・基本を習得し, Daily Sceneで活用, 各学年3回のPresentationで世界へと発信する構成となっており, アクティブラーニングを意識した言語活動を配置している。
	(1)－② 4技能の特徴的な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ Presentationでは, Writingにおける構成に着目し, まとまりのある英文作成ができるよう構成されている。
	(1)－③ 学習の見通しをもたせる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年冒頭と単元ごとに単元の目標をコミュニケーション活動の形で示している。
書 名	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左ページに本文と新出語句, 右ページに基本本文, 基本練習, 技能別練習問題となっている。 ○ 4技能が大きなアイコンで色分けして表示されている。「書くこと」の練習問題には書き込み欄が設けられている。(1年は4線)
New Horizon English Course	(2)－② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音声や映像などのデジタルコンテンツやインターネット等と連動している。(アイコン) ○ 和文にはユニバーサルデザイン書体が使用されている。1年は手書き文字に近いブロック体アルファベットが使用されている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3年間の中で, 同じ国やテーマが別の側面からスパイラルに取り扱われている。 ○ 小学校「Hi, friends!」に関連づけた「Hi, English!」(聞く, 話す)と「Unit0」(読む, 書く)の二層型入門期で小学校との円滑な接続を意図している。 ○ 各学年「学び方コーナー」で, 英語を学び続けるためのコツが取り扱われている。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
9 開隆堂	(1)－① 単元の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年11単元, 読み物3, 2年12単元, 読み物3, 3年9単元, 読み物3で構成されている。各単元3パートで構成されている。 ○ 単元のまとめの統合的活動(My Project)が各学年3回ある。 ○ 基本文は対話文で導入する。各学年1単元に複数の文法事項が配列されていることが多い。
	(1)－① 題材の内容, 構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材は「日本文化」「異文化理解」「福祉」「自然環境」「戦争・平和」「日本と世界各国とのつながり」「世界各国における同年代のこどもの考え」を取り上げている。
	(1)－② 4技能のバランス	<ul style="list-style-type: none"> ○ Programで4技能の基礎・基本を習得し各学年3回のMy Projectでそれらの表現を用いた統合的活動が設定されている。4技能を個別集中的に育成するPower-Up Seriesも設定されている。My ProjectとPower-Upを通して4技能を統合的に活用する構成になっている。
	(1)－② 4技能の特徴的な	<ul style="list-style-type: none"> ○ My Projectでは, ゆったりとした紙面構成で, 「構成・内容・言語」に基づき, スモールステップのタスクを通してまとまりのある英文を作成するよう構成されている。新出語句が多い。
書 名	(1)－③ 学習の見通しをもたせる 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の冒頭に目標がCan-Doの形で示されている。
	(2)－① ユニバーサルデザイン化 への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左ページに色分けされた対話形式の基本文と技能別練習問題, 右ページに本文と「書くこと」の練習問題となっている。 ○ 4技能が色分けされた大きなアイコンで表示されている。
Sunshine English Course	(2)－② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活字は太めで大きめの書体が使用されている。1年のMy Project 2までは手書き文字に近いブロック体が使用されている。 ○ 随所にミニキャラクターが描かれている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒が自分の立場で考えられる題材を提示している。 ○ 全学年の巻末に「英語で『できるようになったこと』リスト」を付け, 定期的に学習状況とその成果をふり返り・チェックができるようにしている。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
11 学図	(1)－① 単元の構成 (1)－① 題材の内容, 構成 (1)－② 4技能のバランス (1)－② 4技能の特徴的な取扱い (1)－③ 学習の見通しをもたせる 配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年9単元, 読み物3, 2年8単元読み物3, 3年7単元, 読み物3で構成されている。各単元は3～4パートで構成されている。 ○ 各学年とも複数の単元で4つの章(Chapter)を構成し, 章末のまとめに総合的活動が4回ある。 ○ 1年は一般動詞から導入されている。 ○ 「日本文化」「異文化理解」「自然環境」「戦争・平和」「考え方・しきたりの違い」を取り上げている。 ○ 機内放送や入国審査, 海外での買い物など, 場面を設定した対話を取り上げている。 ○ Lessonで4技能の基礎・基本を習得し, 学年4回のChapter Projectで複数の技能を統合的に学ぶ言語活動が設定されている。各学年末のBook Projectでは1年間学んだことを総合的な言語活動を通して復習できるように構成されている。 ○ Projectでは, スモールステップのタスクを通しまとまりのある英文作成ができるよう構成されている。 ○ LessonのReviewで, 本文の要約でない未読の英文(未習語は扱わない)を掲載し, 「初見」の英文読解力を育てるよう意図されている。 ○ 数個の単元で構成されたChapterの扉で学習目標をCan-Doの形で記載している。
書 名	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左ページに本文, 右ページに基本本文と技能別練習問題, 音読練習となっている。 ○ 4技能が小さな単色のアイコンで表示されている。
Total English	(2)－② 記述・表現 (3)全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年はすべて手書き文字に近いブロック体で使用されている。 ○ 1年Lesson 3までは, 本文が発話者の吹き出し内に掲載されている。 ○ 文法説明ページに濃色が多用されている。 ○ 小学校で慣れ親しんだ「聞く」「話す」活動から始め, 文字を導入した後で, 音とつづりの関係を取りあげ, 円滑な接続が意図されている。 ○ Chapterで学習した内容を章末のCheck It Outで振り返って学習できるようにしている。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
15 三省堂	(1) - ① 単元の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年9単元, 読み物1, 2年8単元, 読み物2, 3年7単元, 読み物2で構成されている。各単元3~4パートで構成されている。 ○ 1つのパートに複数の基本文が導入されている。随所に基本文以外の文法事項が提示されている。 ○ 疑問詞・接続詞・助動詞が分散して小単元で取り扱われている。
	(1) - ① 題材の内容, 構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「日本文化」「異文化理解」「福祉」「自然環境」「戦争・平和」「人権・差別」「目標をもつことの大切さ」を取り上げている。 ○ アメリカの人種差別の歴史とスピーチ, プレゼンテーションを取り上げている。
	(1) - ② 4技能のバランス	<ul style="list-style-type: none"> ○ LessonのGETで4技能の基礎・基本を習得し, USEで読む・話す・書く力を, Let's Listen等で, 話す・聞く力を育成する構成になっている。
	(1) - ② 4技能の特徴的な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ Projectでは, 各学年3回の統合的活動が設定され, アクティブラーニングを意識した言語活動が設定されている。 ○ Projectでは, 「構成・内容・言語」に基づき, 構成では「Opening, Body, Closing」に着目し, パラグラフも意識させた英文作成ができるよう構成されている。新出語句は無く, Idea Boxに参考表現が示されている。
書 名	(2) - ① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左ページに本文, 右ページに基本文と技能別練習問題, 音読に焦点化した練習となっている。
	(2) - ② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4技能が小さな単色のアイコンで表示されている。 ○ 全学年のGetのページで手書き文字に近いオリジナルフォントが使われている。
New Crown English Series	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻末に, 当該学年でできるようになってほしいことのリストを示し, 生徒が自分の学びをセルフチェックできるようになっている。 ○ 辞書の引き方・活用の仕方, 英語の学習法など, 自学自習のヒントを提供し, 自立的な学習者の育成を図っている。

発行者の 番号 略称	項目・観点等	特 徴
17 教出	(1)－① 単元の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年9単元, 読み物1, 2年8単元, 読み物2, 3年6単元, 読み物3, 構成で構成されている。単元は3ステップの3～4パートで構成されている。 ○ 単元のまとめの統合的活動(Project)が1・2年は3回, 3年は2回ある。 ○ 各パートの基本文数は1文程度である。 ○ 1年末にbe動詞の過去形を取り扱う。
	(1)－① 題材の内容, 構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材は「日本文化」「異文化理解」「福祉」「自然環境」「戦争・平和」「幸せに関すること」「震災復興」「英語学習の必要性」である。 ○ 「英語学習の必要性」で東京オリンピックを取り上げている。
	(1)－② 4技能のバランス	<ul style="list-style-type: none"> ○ LessonのHop, Step, Jumpで4技能の基礎・基本を習得し, Jumpでは複数の技能を統合的に扱うTaskやProjectが設定されている。 ○ Tipsでは, 個別に各技能を扱うよう構成されている。
	(1)－② 4技能の特徴的な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ Projectでは, 複数の技能を統合した言語活動が設定され, 自己表現できるよう構成されている。新出語句はない。Writingで, 構成は意識されていない。
	(1)－③ 学習の見通しをもたせる配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ Part, Tips活動, Project活動, Reading Lessonごとに目標が掲載されている。
書名	(2)－① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左ページに本文と基本文, 右ページに語彙の補充・技能別練習問題となっている。 ○ 4技能が色分けされた大きなアイコンで表示されている。
One World English Course	(2)－② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年のProject 2までは手書き文字に近いブロック体が使われている。和文はユニバーサルデザイン・フォントが使われている。
	(3) 全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年の巻頭には「Springboard」として, 小学校の外国語活動をふり返り, 中学校の学習への導入部が設けてある。また, 1年全巻を通して, 小学校外国語活動の経験を知識として身に付けられるよう構成されている。 ○ 基本文や語句の定着を図るための別冊のテキストが付属している。

発行者の 番 号 略 称	項目・観点等	特 徴
38 光村	(1)-① 単元の構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年11単元, 読み物2, 2年9単元, 読み物3, 3年7単元, 読み物4で構成されている。各単元3~4パートで構成されている。 ○ 単元のまとめの統合的活動(Project)が各学年3回。 ○ 各学年, 1単元に複数の文法事項が配列されていることが多い。
	(1)-① 題材の内容, 構成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校内で交わされる友達との会話, メールや手紙のやりとりを題材として取り上げている。 ○ 学校行事の紹介, 私の町紹介, 修学旅行新聞, 職場体験後の私の夢など, 英文を書く活動が取り上げられている。
	(1)-② 4技能のバランス	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unitで4技能の基礎・基本を習得し, 各学年3回のGo for it!で複数の技能を統合的に扱う言語活動に取り組むよう構成されている。
	(1)-② 4技能の特徴的な取扱い	<ul style="list-style-type: none"> ○ Go for it!では, マッピングを使ったり, 構成に着目したりしてまとまりのある英文を作成できるよう構成されている。わずかに新出語句が扱われている。
書 名 Columbus English Course	(2)-① ユニバーサルデザイン化への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ○ 左ページに本文, 右ページに基本文と技能別練習問題となっている。 ○ 4技能が単色のアイコンで表示されている。 ○ 余白の多いゆとりある紙面構成がされている。
	(2)-② 記述・表現	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年時はすべて手書き文字に近いブロック体使われている。
	(3)全体的な特徴	<ul style="list-style-type: none"> ○ グローバル時代の新しい学びCLILで, 技術家庭, 社会, 理科, 保健体育など教科の内容の一部を英語で学習することができる。 ○ 文字を書く導入ページには, 4線上に書き込んで学べるような紙面構成がされている。 ○ 小学校外国語活動で慣れ親しんだあいさつやクラスルームイングリッシュなどを再確認しながら英語学習を始める構成になっている。

新潟市の子どもたちに適するものとして推薦する教科用図書

種目（教科名）	国 語	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3	
1 5 三省堂	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3	
3 8 光村	国語 1 国語 2 国語 3	

種目（教科名）	書 写	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい書写 一・二・三年	
1 1 学図	中学校 書写	
3 8 光村	中学書写 一・二・三年	

種目（教科名）	社 会（地理的分野）	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい社会 地理	
17 教出	中学社会 地理 地域にまなぶ	
46 帝国	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土	

種目（教科名）	社 会（歴史的分野）	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい社会 歴史	
17 教出	中学社会 歴史 未来をひらく	
46 帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き	

種目（教科名）	社 会（公民的分野）	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい社会 公民	
17 教出	中学社会 公民 ともに生きる	
46 帝国	社会科 中学生の公民 より良い社会をめざして	

種目（教科名）	地 図	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい社会 地図	
46 帝国	中学校社会科地図	

種目（教科名）	数 学	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい数学 1 新編 新しい数学 2 新編 新しい数学 3	
6 1 啓林館	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 3	
1 1 6 日文	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3	

種目（教科名）	理 科	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	新編 新しい科学 1 新編 新しい科学 2 新編 新しい科学 3	
1 1 学図	中学校科学 1 中学校科学 2 中学校科学 3	
1 7 教出	自然の探求 中学校理科 1 自然の探求 中学校理科 2 自然の探求 中学校理科 3	

種目（教科名）	音 楽（一 般）	
発行者番号・略称	書 名	備 考
17 教出	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3下 音楽のおくりもの	
27 教芸	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3上 中学生の音楽 2・3下	

種目（教科名）	音 楽（器楽合奏）	
発行者番号・略称	書 名	備 考
17 教出	中学器楽 音楽のおくりもの	
27 教芸	中学生の器楽	

種目（教科名）	美 術	
発行者番号・略称	書 名	備 考
9 開隆堂	美術 1 美術 2・3	
38 光村	美術 1 美術 2・3	
116 日文	美術 1 出会いと広がり 美術 2・3 学びの深まり 美術 2・3 美の探求	

種目（教科名）	保健体育	
発行者番号・略称	書名	備考
2 東書	新編 新しい保健体育	
4 大日本	新版 中学校保健体育	
50 大修館	保健体育	

種目（教科名）	技術・家庭（技術分野）	
発行者番号・略称	書名	備考
2 東書	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology	
6 教図	新技術・家庭 技術分野	
9 開隆堂	技術・家庭（技術分野）	

種目（教科名）	技術・家庭（家庭分野）	
発行者番号・略称	書名	備考
2 東書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して	
6 教図	新技術・家庭 家庭分野	
9 開隆堂	技術・家庭（家庭分野）	

種目 (教科名)	英 語	
発行者番号・略称	書 名	備 考
2 東書	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3	
9 開隆堂	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1 SUNSHINE ENGLISH COURSE 2 SUNSHINE ENGLISH COURSE 3	
1 5 三省堂	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3	

特別支援学校・学級用一般図書
(答申)

平成28年度使用教科用図書選定委員会

特別支援学校・特別支援学級部会報告

1 専門調査員の調査経過について

(1) 専門調査員の打ち合わせ会

平成27年5月21日、新潟市立総合教育センターにおいて、専門調査員により、平成28年度使用学校教育法附則第9条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）の調査研究及び会議を行い、一般図書（特別支援学校・学級用）の選定基準及び選定の観点について共通理解を図った。

(2) 調査研究

小学校特別支援学級部、中学校特別支援学級部、特別支援学校小学部、特別支援学校中学部の4部会で会議を持ち、適正な選択か否かについて協議し、特別支援学校小学部と中学部との関連と整合性を確認するとともに、小学校特別支援学級と中学校特別支援学級との整合性について検討し、選定図書として適正かどうか協議した。

2 調査研究の結果について

(1) 部会の調査研究の結果は、別紙報告書のとおりである。

(2) 調査研究に当たって、重視した考えや理由等は、概ね次のとおりである。

「平成28年度用 一般図書一覧（文部科学省 平成27年3月）」、「学校教育法附則第9条の規定による一般図書（特別支援学校・学級用）研究資料（県教育委員会 平成27年）」、「現行の学習指導要領になってから調査研究し、採択してきた図書」をもとに、以下の観点から研究した（各校種共通）。

【観 点】

- ① 可能な限り系統的に編集されており、教科の目標に沿う内容をもつものであること。
- ② 児童生徒の障がいの種類・程度、能力・特性、心身の発達段階を十分踏まえたものであること。

なお、児童生徒の一般図書に対する理解度の目安はおおむね次によることとする。

- A 話し言葉はもたないが、物事への興味や関心が出始め、簡単な弁別が可能な段階
- B 話し言葉をもち、文字の読み書きに興味を持ちはじめ、物事の簡単な因果関係が分かる段階
- C 簡単な読み書きは可能であるが、文部科学省検定教科書及び文部科学省著作教科書（通称☆印教科書）では学習が困難な段階

- ③ 上学年で使用することとなる教科用図書との関連性を十分考慮したものであること。
- ④ 教科用図書として使用する上で適切な体裁のものであること。
- ⑤ 原則として価格が1200円程度のものであること。
- ⑥ 分冊本でないこと。

(3) その他

一般図書の調査研究に当たっては、前年度に引き続き小・中学校特別支援学級及び特別支援学校小学部・中学部の保護者から専門調査員として参加いただいた。保護者としての考えや要望を聞くことができ、調査研究が深まった。

平成28年度使用一般図書(特別支援学校・学級用)についての調査研究報告

校種 教科名・段階		小学校		中学校		特別支援学校		特別支援学校	
		特別支援学級		特別支援学級		小学部		中学部	
教科名	段階	小計	冊数	小計	冊数	小計	冊数	小計	冊数
国語	A	7	2	5	2	11	4	9	2
	B		2		1		3		4
	C		3		2		4		3
生活(社会)	A	6	2	5	2	11	3	9	3
	B		1		2		4		3
	C		3		1		4		3
算数/数学	A	7	2	6	2	11	3	10	2
	B		2		2		4		4
	C		3		2		4		4
生活(理科)	A	8	3	6	2	12	4	7	2
	B		2		2		4		3
	C		3		2		4		2
図工/美術	A	7	2	5	2	10	3	7	2
	B		3		1		3		2
	C		2		2		4		3
生活(家庭)	A	7	2	5	1	11	4	8	2
	B		2		2		4		3
	C		3		2		3		3
リスト合計			42		32		66		50

A: 話し言葉をもたず、物事への興味や関心が見られ、簡単な弁別が可能な段階である。

B: 話し言葉を持ち、文字の読み書きに興味をもちはじめ、物事の因果関係がある程度分かる段階である。

C: 簡単な読み書きが可能であるが、文部科学省検定教科書及び文部科学省著作教科書(通称☆印教科書)では学習が困難な段階である。

平成28年度使用一般図書(特別支援学級用) 小学校用 推薦図書

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	推薦理由等
国語	A	しかけ絵本の本棚 コロちゃんはどこ?	エリック=ヒル	評論社	1,200	子犬を母犬が探す展開。見開きで一つずつ仕掛けがあり、それを開くと、いろいろな動物が隠れている。「…のなかかな」「…のしたかな」などシンプルな文で統一され、文字も大きくて見やすい。
	A	あっちゃんあがつくた べものあいうえお	さいとうしのぶ	リーブル	1,800	こどもの好きな食べものの挿絵が大きく描かれている。リズムカルな言葉が添えてあり、思わず声にしたくなるような擬音語・擬態語が多く、言葉への関心を高めることができる。
	B	ことばえほん	土田 義晴	グラン ま社	1,700	日常生活で使ういろいろな言葉が、絵と単語で説明されている。場面に応じた様々な言葉が集められており、言葉への関心を高めることができる。
	B	もじ・ことば1 はじめてのひらがな 1集	志村 直人	くもん 出版	660	ひらがなに興味をもちはじめた子どもたち(2, 3, 4歳)に、鉛筆で線を引く練習や書きやすいひらがな10文字を選んで練習することができる。「できたシール」や「がんばったね賞状」付きで意欲を高めることができる。
	C	あかね書房の学習え ほん あそぼうあそ ぼうあいうえお	村上 勉	あかね 書房	1,600	様々なものの名前について、文章を読みながら絵を楽しむことができる。ひらがな文字への関心を高めることができる。
	C	五味太郎・言葉図鑑 (10)なまえのことば	五味 太郎	借成社	1,400	様々なものの名前について、絵と文章による説明が付いており、文章を読みながら絵を楽しむことができる。漢字も使われていて知的好奇心をくすぐる。
	C	もじ・ことば11 はじめてのかん字	志村直人	くもん 出版	660	はじめて漢字を学習する子どもたち(4, 5, 6歳)に、1年生から習う配当漢字から身近でわかりやすい30文字を練習することができる。
生活 (社会)	A	知育えほん マーク のずかん	高瀬めぐみ	鈴木出 版	1,600	日常生活におけるいろいろな標識が、分かりやすく紹介されていて色もきれい。マークは子どもの関心を引きやすく、実際の生活にも役に立つ。
	A	かぼくん・くらしのえ ほん2 かぼくんのおかいも の	ひろかわさえ こ	あかね 書房	1,000	かぼくんとおかあさんがいろいろなお店へ買い物に行くという設定でいろいろな品物が出てくる。買い物というストーリーを楽しみながら「にんじんは?」「おさしみは?」と指さしを促すことができる。
	B	新版ふしぎ・びっく り!?こども図鑑き せつ	佐藤 幹夫	学研 マーケ ティング	1,900	子どもたちに身近な行事やくらしが絵や写真で楽しく紹介されている。季節ごとに生き物や植物、料理の紹介もある。クイズもあって楽しみながら学ぶことができる。
	C	新版 はじめましてに ほんちず	高木 実、高 木 幸子	平凡社	1,600	地域ごとの特徴が、はっきりした色でぬり分けられている。子どもの興味を引きやすいものを楽ししいイラストで紹介している。

生活 (社会)	C	子どものマナー図鑑 (1) ふだんの生活 のマナー	峰村 良子	借成社	1,500	言葉遣い・電話・手紙に関する事項や、掃除・洗濯・買い物などの日常生活場面が、テーマごとに見開きで構成されている。生活の基本からお手伝いなど、いろいろな活動に関連させることができる。
	C	はじめてちずかんシリーズ2 ドラえもんにほんちず	坂田 俊文	小学館	1,260	日本の形や各地方の特徴を詳しく調べることができる。日本の鉄道、お祭り、動物や昔から伝わるおばけなどのコーナーがあり、ドラえもんやその仲間と一緒に楽しく学ぶことができる。
	A	あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんのまる・さんかく・しかく	わらべ きみか	金の星社	780	身近にあるものを形にたとえているので、丸、三角、四角の形をとらえやすい。1ページに絵が一種類のため、理解しやすい。
	A	おけいこはじめてのおけいこ	志村直人	くもん出版	660	はじめて鉛筆をもつ子どもたち(2, 3, 4歳用)に、基本の運筆力(鉛筆の持ち方、使い方など)を付けることができる。
	B	ミーミとクークのえほん ミーミとクークの1・2・3	わらべ きみか	ひさかたチャイルド	800	1から10までの数が、動物などのシンプルな絵で表現されている。数字の読み方、例えば「2」「2(ふた)つ」のように、二通りの数え方で表記してある。
	B	スキップ絵本5 かずのえほん	わらべ きみか	ひさかたチャイルド	1,600	見開きごとに、一つの数字と数が展開する。シンプルで分かりやすく、色もきれい。数字や絵が大きいので、指でなぞったり数えたりすることができる。
	C	あかね書房の学習えほん おかあさんだいき1, 2, 3	村上 勉	あかね書房	1,600	10までの数の集まりや順番などを絵と文でとらえることができる。指でなぞって数字の書き方も学ぶことができる。
	C	21世紀幼稚園百科6 かずあそび1・2・3	野田 一郎	小学館	970	10までの数を具体的なものの集まりや順序などの視点からとらえることができる。文字や写真を用い、視覚的效果を引き出している。大きな数もあり、発展的な扱いができる。
	C	音の出る知育絵本16 とけいがよめるようになる!! とけいくん	奥村 傳	ポプラ社	1,800	とけいあわせゲームで、遊びながらとけいがよめるようになる。音声や音楽が流れるので、どんどんとけいがすきになり、けいとけいをよむ力を付けることができる。
生活 (理科)	A	幼児絵本シリーズ やさいのおなか	きうち かつ	福音館書店	1,000	身近な野菜の断面が「これなあに」のクイズで表現されている。断面が白黒とカラーの二種類でシンプルにデザインされていて、色もきれい。野菜に関心をもち、切ってみたくなる。
	A	幼児絵本シリーズ くだもの	平山 和子	福音館書店	800	身近な食べ物が載っている。絵がリアルで、子どもが関心をもちやすい。文字が少なく、「さあ、どうぞ」という言葉で食べたくなり、次のページをめくりたくなる。

生活
(理科)

A	幼児絵本シリーズ やさしい	平山 和子	福音館 書店	800	子どもが食べたり育てたりしている「やさしい」の絵が、リアルに描かれている。思わず食べたくなるような「さつまいも」のやさしいも出てきたりして、野菜のことをすきになることができる。	
B	やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの？	せべ まさゆき	金の星社	1,200	体の仕組みが分かりやすく、子どもが興味をもつ絵になっている。心臓や腸などが絵で簡単に説明してあり、分かりやすい。	
B	かがくのとも絵本 みんなうんち	五味 太郎	福音館 書店	900	様々な動物や人の「うんち」の様子が、ユーモラスに描かれている。楽しみながら排泄への関心をもたせ、体の仕組みに興味をもつことができる。	
C	かがくのとも絵本 たべられるしよくぶつ	森谷憲(文), 寺島龍一(絵)	福音館 書店	900	じゃがいもやさつまいもなど、学級園で自分たちが栽培する身近な野菜の成長過程に、興味をもちやすい。種から実への関連や、土の中の様子も表現されていて分かりやすい。図鑑としても使える。	
C	福音館の科学シリーズ 昆虫ちいさななかまたち	得田 之久	福音館 書店	1,500	昆虫たちは、それぞれすむにふさわしい場所をもっている。身近な昆虫を中心に彼らがどんな場所にすんでいるのか、美しい絵で紹介している。	
C	ふしぎびっくり!? こども図鑑のちきゅう	猪郷 久義	学研	1,900	地球や宇宙のこと、地球の天気のことなどを取り上げ細かく解説している。地球にまつわるおもしろいことやクイズなどで、親子で楽しく学ぶこともできる。	
図画 工作	A	クーとマーのおぼえるえほん1 ぼくのいろなあに	はたこうしろう	ポプラ社	880	物語が展開するにつれて、次々と洋服の色が変わっていく。身近なものと関連させて色を意識付けている。絵がかわいくて、色がきれいなので、色への関心が高まる。
	A	あそびのおうさまBOOK どんどんぬるぼん	川田 夏子	学研	950	おえかきは、きっかけがあるとすぐにかけるようになる。かきはじめると、どんどんかきたくなるページがたくさんある。何をかいても、どんな道具でも、どんなぬりかたでも、どこからぬりはじめてもすべてOK。できたらみんなに見せて、ほめてもらいましょう。
	B	あそびのおうさまBOOK はじめてきるぼん	真当哲博, 遠田 潔	学研 マーケ ティング	850	自由にページを切ったり破いたりして、絵本を完成させる構成になっている。カラーでかわいらしいデザインは、子どもの興味を引きやすく、ちぎることから、はさみやのり、テープの使い方を学習できる。
	B	あそびの絵本 クレヨンあそび	長島 克夫	岩崎書店	1,300	直線や曲線がカラフルに描かれてあり、見ているだけで思わず描きたくなるような見本の絵となっている。
	B	あそびのひろば4 はりえあそび	寺門 保夫	ポプラ社	1,200	折り紙やストローなどを切って、台紙に貼っていくことで、飾りとなる立体や平面の作品ができる。製作過程が分かりやすく掲載されている。

図画 工作	C	あそびのひろば2 やさしいてづくりのプ レゼント	徳田 徳志芸	ポプラ 社	1,200	子どもたちが扱いやすい紙、粘土、木、石などの材料を使ってプレゼントを作ることができる。例が豊富で分かりやすい。楽しみながら作ってみたくなる。
	C	ペーパーランド8 おりがみえあそび	寺門 保夫	ポプラ 社	1,200	1枚の折り紙が、5行程程度の折り方で身近な動物や食べものなどの作品になる。見立てにより、どんどんと想像を膨らませることができる。
生活 (家庭)	A	生活図鑑カード た べものカード	高橋 敦子	くもん 出版	900	子どもに身近な料理が、実物に近い鮮やかな絵で1枚のカードに一品ずつ描かれていて、見やすい。浦には、文字で名前が書いてあり、調理法の解説もある。
	A	生活図鑑カード くだものやさしいカード 1集	高橋 敦子	くもん 出版	900	子どもの身近にあるくだものやさしいが、実物に近い鮮やかな絵で、一枚のカードに一品ずつ描かれている。見やすく、裏には詳しい説明も書かれている。
	B	202シリーズ たべもの 202	秋吉 文夫	ひかり のくに	1,200	子どもの好きな食べ物が、分かりやすい写真でたくさん載っている。食べ物の種類も豊富で、子どもの興味を引きやすい。
	B	こどものずかん Mio10 たべもの	なし	ひかり のくに	762	たくさんの食べ物の写真が紹介されている。食べものの名称を学習するだけでなく、楽しみながら食への理解を促すことができる。
	C	子どもの生きる力を 育てるせいかつの絵 じてん	内野 美恵	ナツメ 社	1,800	食べる、着る、暮らす、楽しむなど、子どもの生きる力を育てるために必要な生活の基本や知恵が絵で分かりやすく確認できる内容になっている。子どもの自立をサポートし、身の周りのことが自分でできるようになる。
	C	ひとりのできるもん！ 6 だいすきおやつ作り	平本 ふく子	金の星 社	1,960	難しい材料を使わずに、身近なおやつを作って楽しむことができる。調理の手順が絵や写真で説明されていて、分かりやすい。写真がきれいで興味を引く。
	C	新・こどもクッキング	高橋 敦子 あおきひさえ	女子栄 養大学 出版部	1,600	料理の作り方の絵が分かりやすく描かれている。内容もご飯のおかずにお菓子、パーティーメニューと多岐にわたっていて興味をもちやすい。料理の意欲も喚起しやすい。

平成28年度使用一般図書(特別支援学級用)

中学校用 推薦図書

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	推薦理由等
国語	A	よみかた絵本	とだこうしろう	戸田デザイン研究室	1,800	見開き1ページに、絵と一つのひらがな(カタカナ)が組み合わせられている。文字も大きく、分かりやすく文字を覚えることができる。
	A	あっちゃんあがつく たべものあいうえお	さいとう しのぶ	リーブル	1,800	おいしそうなお食べ物の絵と楽しくリズムカルな言葉が見開き1ページになっている。好きな食べ物のページの言葉は覚えやすく、ドーナツのド、プリンのおなどの濁音・半濁音も出てくる。
	B	あいうえおうさま	寺村 輝夫	理論社	1,000	ユーモアあふれる王様の絵と一つの音が繰り返され、リズム感のある文。自分で読んで、内容を理解することができる。
	C	もじのえほん かんじ (1)	ふなざきよしひこ	あかね書房	1,500	漢字の成り立ちを、絵と象形文字と漢字とを並べることで、分かりやすく学ぶことができる。いくつもの漢字を、物語形式で関連付けることで、生徒の関心を引く。
	C	もじのえほん かんじ (2)	ふなざきよしひこ	あかね書房	1,500	平易な漢字が含まれた文。漢字は、同じページ内に書き順も示してある。音読練習、作文の手本としても適している。
生活 (社会)	A	みぢかなかがくシリーズ 町たんけん はたらくみつけた	秋山とも子	福音館書店	1,200	身近な地域の生活の様子を、楽しいイラストを見ながら、自分の実体験と関連付けて興味をもって学習することができる。
	A	新版はじめましてにほんちず	高木 実, 高木幸子	平凡社	1,600	各地方の特産物・名所・動植物などが親しみやすいイラストで描かれているため、興味・関心をもって学習することができる。
	B	はじめてちずかんシリーズ6 ドラえもん のせかいりょこう	正井 泰夫	小学館	1,260	世界各国の写真から、それぞれの国の衣装、食事などの特徴が分かる。よく知っているキャラクターが紹介しているので、自分もそこに行った気分になることができる。
	B	はじめてちずかんシリーズ7 ドラえもん のせかいちず	金窪 敏和	小学館	1,260	世界の国々の都市の名称や位置とその国の特色について、イラストや写真で分かりやすく描かれている。ドラえもんの絵を使うことで、生徒の興味・関心をより一層引き出すことができる。
	C	福音館の科学シリーズ ただいまお仕事中 おおきくなったらどんな仕事をしてみたい?	おち よしひこ	福音館書店	1,500	子どもの疑問に答える形式で、28種類の仕事を紹介されている。主な仕事の内容について、イラストを用いて解説している。

数学	A	21世紀幼稚園百科6 かずあそび1・2・3	野田 一郎	小学館	970	カラフルで身近なものの数を数えながら、1から10までの数の意味を理解できる。さらに、数の大小、序列などを興味深く学ぶことができる。
	A	あかね書房の学習えほん おかあさんだ いすき1. 2. 3	村上 勉	あかね書房	1,600	色彩豊かで親しみやすい絵を用い、動物のおかあさんと一緒に子どもの数を数えながら、数の認識ができる。1から10の数字は大きな文字で示され、書き順も学ぶことができる。
	B	認識絵本5 いくつか な	嘉村 苑子, 多田ヒロシ	ひかりのくに	1,200	かぞえうた、形や色などで遊びながら数を認識できる。長さ・高さ・時間なども身近なイラストで楽しみながら学習できる。
	B	21世紀幼稚園百科2 とけいとじかん	栗岩 英雄	小学館	970	1日の生活が時計とともに楽しく描かれている。時計を読む練習が、自分の生活とも関連付けができる。「はりのないとけい」(デジタル時計)など多様な時計の学習もできる。
	C	かずのほん3 0から 10までのたしざんひ きざん	森 孝一, 田 畑精一	童心社	1,300	たし算とひき算の意味を具体物の絵を通して数えることができ、数学の立式と関連付けて学ぶことができる。また、半具体物のタイルを用いて一般化にも努めている。
C	安野光雄の絵本 は じめてであう数学の 絵本1	安野 光雄	福音館書店	1,600	なかまはずれ、じゅんぼん、せいくらべなど、数学の基礎的な事柄を学ぶことができる。また、親しみやすい絵で描かれているため、生徒が意欲的に学習に取りかかることができる。	
生活 (理科)	A	かがくのとも傑作集 (どきどき・しぜん)た べられるしょくぶつ	森谷憲(文)、 寺島龍一(絵)	福音館書店	900	ふだん口にする野菜の生長が、種から順にわかりやすい絵になっている。野菜は植物のどの部分を食べているのか、また、植物はどう生長するのか具体的に知ることができる。
	A	フレーベル館の図鑑 ナチュラ はるなつあ きふゆ	無藤 隆	フレーベル館	1,900	四季それぞれの特徴を、身のまわりの自然(植物・生き物)とくらし(年中行事・食べ物・遊び)について、自分の生活と関連づけながら、楽しく知識を増やしていくことができる。
	B	改訂新版 体験を広 げるこどものずかん4 はなとやさしいくだ もの	山田 朋重	ひかりのくに	1,000	写真や実物に近い絵などで、理解が一層深められる。植物が季節ごとにまとめられており、調べ学習や栽培活動に活用できる。
	B	ふしぎをためすかがく 図鑑 しぜんあそび	水野 丈夫	フレーベル館	2,000	自然の中の植物を利用した遊びや工作から、植物の観察・実験につなげることができる。
C	ふしぎをためすかがく 図鑑 かがくあそび	水野 丈夫	フレーベル館	2,000	日常生活の不思議が、あそびや簡単な実験で確かめられる。実験をしてみたいという気持ちからうまれ、科学への興味を広げることができる。	

	C	みぢかなかがくシリーズ 町の水族館・町の植物園 一さかなやさんとやおやさんー	小林 亜里	福音館書店	1,300	魚や野菜が生き生きと描写されている。買い物や調理を通して、身近なものとして捉えられるように工夫されている。
美術	A	あそびのひろば4 はりえあそび	寺門 保夫	ポプラ社	1,200	色紙、毛糸、ボタンなど、身近なものをちぎったり貼ったりして、形や大きさにとらわれることなく自由に創作することができ、絵や工作への興味を広げることができる。
	A	あそびの絵本 えのぐあそび	長島 克夫	岩崎書店	1,300	絵の具を混ぜ、その変化を楽しむことで、興味を広げながら色の学習をすることができる。絵の具の様々なぬり方があることを知ることができる。
	B	あそびの絵本 えかきあそび	長島 克夫	岩崎書店	1,300	形や大きさの違いを意識させ、同じ形でも塗る色や枠の組み合わせによって違うものに見えることで、好奇心を刺激し、描くことの楽しさを味わうことができる。
	C	ひとりでできる手作りBOX しぜんで作しよう	塩浦信太郎	岩崎書店	1,500	自然に親しみながら、季節の素材を用いて、簡単な工作ができる。完成までの過程が写真や図で示されており、興味深く作業を進めることができる。
	C	福音館の科学シリーズ あそびのレシピ つくるたのしみ	鈴木 洋子	福音館書店	1,600	興味深い作品が、分かりやすい絵や写真で示されている。自然素材の他、家庭内の不要物を利用しているので、気軽に「つくってみよう!」と思わせる内容である。
生活 (家庭)	A	新装版KIDS2112 たべものひゃっか	シェイプ広告事務所、大原英樹	ひかりのくに	850	料理が、その素材と関連付けて紹介されている。料理と素材とのつながりや、素材と栄養とのつながりを学習することができる。
	B	坂本廣子のひとりでクッキング1 朝ごはんつくろう!	坂本 廣子	借成社	1,400	簡単に作ることができる朝ごはんメニューが紹介され、実際の調理に活用できる。また、調理のコツやバリエーションなどの説明もあり、生徒の調理への興味を広げることができる。
	B	子どもの生活3 マナーをきちんとおぼえよう!	浜田 恭子	借成社	1,000	日常生活の基本マナーを見やすい絵で紹介している。正しい方法についても図入りで説明しており、生徒が理解しやすい。
	C	新・こどもクッキング	高橋 敦子	女子栄養大学出版部	1,600	作り方の絵が分かりやすい。手順が簡単で、自分で基本的な食事を作ることができる。巻末の用語集、栄養価一覧など資料も豊富で、発展的な学習にも使うことができる。
	C	子どものマナー図鑑(3)でかけるときのマナー	峯村良子	借成社	1,500	日常生活の中で、外出する際のマナーを学ぶことができる。「病院」や「ともだちの家」などの具体例があるため、生徒が理解しやすい。

平成28年度使用一般図書(特別支援学校用) 小学部 推薦図書

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	推薦理由等
国語	A	ピーマン村の絵本たち さつまのおいも	中川ひろたか(文), 村上康成(絵)	童心社	1,300	榎の中で暮らしているおいもが, ご飯を食べたり, 歯を磨いたり, お風呂に入ったりする。子どもが身近に感じられる場面が, 色鮮やかな絵で描かれている。
	A	しかけ絵本の本棚 コロちゃんはどこ?	エリック=ヒル	評論社	1,200	母犬が, 子犬を探す展開。見開きで1ページずつ仕掛けがあり, 開いていくといろいろな動物が隠れている。「..のなかかな」「..のしたかな」などのシンプルな文で統一され, 文字も大きくて見やすい。
	A	うたってかいてけせる えほん1 音のでるえかきうた	株式会社みつとめるへん社 企画編集	ポプラ社	1,880	ボタンを押すと8種類の絵かき歌が流れ, 付属のペンで線書きができるようになっている。見る, 聞く, 書くなどして楽しむことができる。
	A	ことばあそびの絵本 ぶたためききつねねこ	馬場のぼる	こぐま社	1,000	しりとりになっている言葉が次々と出てくる言葉遊びの絵本。音をつなげるおもしろさと, 意外なものが出てくる楽しさが, 次への期待を高め, 聞いても読んでも見ても楽しい。
	B	あっちゃんあがつくたべものあいうえお	さいとうしのぶ	リーブル	1,800	「あっちゃん, あがつくアイスクリーム」「いっちゃん, いがつくいちごじゃむ」などと, 歌ってうれくなるようなはやし歌と, おいしそうで, においまでしてきそうな絵を見て楽しむことができる。
	B	ひらがなカード	くもん出版社	くもん出版	1,200	大きな文字で見やすく, 楽しみながらひらがなを学ぶことができる。
	B	あいうえおえほん	とだこうしろう・ひろし	戸田デザイン研究所	1,700	見開きで平仮名の文字と絵が一つずつ載っており, シンプルで, 文字と音が結びつきやすい。筆順も示されており, 子どもの発達段階に応じて使用することができる。
	C	書きかたカード「ひらがな」	くもん出版社	くもん出版	1,300	はっきりとした色で見やすい。筆順が示しており, 線に沿ってなぞる学習にも活用できる。カード形式のため, 児童に応じて必要なカードを選択して使用することができる。ペン付き。
	C	ともだちだいすき2 おべんとうなあに?	山脇 恭	借成社	1,000	子どもにとって, 親しみのある動物たちのお弁当をめぐる話。かわいい絵で, お弁当のふたを開けるような仕組みが楽しい。文章は短く, 文字も大きめになっているため, 読みやすい。
C	おしゃべりあいうえお はじめてのひらがな	永岡書店	永岡書店	1,700	B5版で, かわいいイラストで物とことばを載せた絵本と, 声の出るICボードが一緒になった絵本。50音と濁点, 半濁点, 音引きの文字で構成。文字を目と耳から覚えることができる。	

	C	よみかた絵本	とだこうしろう	戸田デザイン研究所	1,800	見開きで一文字を取り上げ、五十音順に平仮名、片仮名、その文字を使った言葉とリズムカルに読める文章が掲載されている。絵も明るく分かりやすい。
生活 (社会)	A	けんちゃんとおそぼう 3 まねっこまねっこ	くろいけん	あかね書房	1,000	主人公が動物の鳴き声を真似ると、その動物が出てくる話。物語を読み進めることで、鳴き声遊びやまねっこ遊びに発展させることができる。
	A	お手本のうた付き！ どうようたのえほん 2	今井 亜美	永岡書店	1,600	絵のボタンを押すことで、季節が感じられる童謡など16曲を聞いたり一緒に歌ったりして楽しむことができる。(うたとカラオケバージョンが有り)
	A	けんちゃんとおそぼう 1 のってのって	くろいけん	あかね書房	1,000	服装や擬音語で、主人公が次に乗る物を想像させてから乗り物の絵が出てくる構成となっており、ページをめくる楽しみがある。繰り返し言葉も多く、親しみやすい文章となっている。
	B	生活図鑑カード 生活 道具カード	公文	くもん出版	900	生活に身近な道具について、実物に近い鮮やかな絵で描かれている。カードの裏には、大きな文字で道具名が書かれているため、子供に応じて必要なカードを選択し、文字の読み書きや道具名の理解など、様々な学習に活用できる。
	B	ロングセラー絵本 でんしゃでいこう で んしゃでかえろう	間瀬なおたか	ひさかたチャイルド	1,000	「デデン・ドドン」というリズムカルな言葉とともに、線路がトンネルの穴で次ページにつながっていく。また、最後まで読み進めると、最後のページから最初のページへと逆に戻ることができ、電車に対する児童の興味を引く。ページごとに季節や風景が移り変わる様子にも目を向けることができる。
	B	ぼくとわたしのせい か つえほん	つちだよしはる	グランママ	1,500	家族、花、食べ物、動物、乗り物、身の回りの物まで188の絵が掲載されている。絵本と実物を見比べたり、生活の中から探したりするきっかけ作りができる。
	B	かばくん・くらしのえ ほん2 かばくんのお かいもの	ひろかわさえこ	あかね書房	1,000	おかあさんと一緒に花屋や肉屋などに行き、それぞれの店先に並ぶ品物を見ていく内容になっている。日常生活に近い内容になっており、自分の生活と重ね合わせながら読むことができる。
	C	生活図鑑カード お 店カード	公文	くもん出版	900	B6版カード32枚で、図書館、郵便局、銀行、交番、消防署、病院、薬屋、靴屋、クリーニング店、おもちゃ屋、八百屋、肉屋、パン屋、コンビニ、スーパーなど、児童の日常生活に身近な物や事からの名前や意味を覚えることで、生活知識が広がる。
	C	はっけんずかん の りもの	小賀野実	学研マーケティング	1,880	はたらく車、電車、飛行機、船など、乗り物の写真と絵が豊富に掲載されている。乗り物の内部をのぞくことができる仕掛けも、子どもの興味を引き付ける。
	C	知育えほん マーク のずかん	高瀬めぐみ	鈴木出版	1,600	日常生活におけるいろいろな標識が、分かりやすく紹介されていて、色もきれい。マークは、子どもの関心を引きやすく、実際の生活にも役立つ。

	C	新版 ふしぎ・びっくり!? こども図鑑 きせつ	志村 隆	学研 マーケ ティング	1,900	四季の季節行事が、身近な動植物とともに、写真とイラストで紹介されている。家庭生活から学校・地域での活動まで幅広く取り上げられ、様々な段階の子どもが楽しむことができる。
算数	A	あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんのまる・さんかく・しかく	わらべきみか	金の星社	780	身近な動物や道具などを、丸、三角、四角の3つの形に当てはめ、絵とともに、形を印象づけるリズムカルな文で表現されている。明るい色彩のはっきりした絵で、3つの形について、興味・関心を高めることができる。
	A	ミーミとクークのえほん ミーミとクークの1・2・3	わらべきみか	ひさかたチャイルド	800	1から10までの数が、動物などのシンプルな絵で表現されている。数字の読み方について、2を「に」「ふたつ」と数えるなど、二通りの数え方があることが分かるようにできている。
	A	単行本 さわってあそぼうふわふわあひる	M・ヴァン・フリート	あかね書房	1,300	擬音とともに、ふわふわ、でこぼこなどの様々な感触を楽しむことができる仕掛け絵本。素材の枠組みが丸、三角、四角と基本的な図形になっており、形への興味をもたせることができる。
	B	スキンシップ絵本5 かずのえほん	わらべきみか	ひさかたチャイルド	1,600	見開きごとに、一つの数字について展開する構成。シンプルで分かりやすく、色もきれい。数字や絵が大きく描かれており、指でなぞったり数えたりすることができる。
	B	絵本・いつでもいっしょ2 どうぶつなんびき?	はたこうしろう	ポプラ社	1,100	0から10までの数が、かわいい動物の絵で表現されている。森に動物が集まっていく内容になっており、増えていく数を繰り返し復唱しながら、楽しく覚えることができる。
	B	こぐまちゃん絵本別冊 さよならさんかく	わかやまけん	こぐま社	800	「さよならさんかくまたきてしかく…」おなじみの言葉遊びで身近な食べ物や動物などを題材にし、形や色、長さなどをリズムカルに展開していく。四角のページでは四角い形の物がたくさん描かれるなど、概念形成によい。色合いがはっきりしていて見やすい。
	B	くまたんのはじめてシリーズ2 おいしいおいしい1・2・3	長野 博一	小峰書店	1,000	数に対応した食べ物の絵で構成されている。本を開くと、左側に数字、右側には数字に対応した絵が描かれている。
	C	音の出る知育絵本1,6 とけいがよめるようになる!! とけいくん	柏原晃夫 関口雅美	ポプラ社	1,800	自分で時計の針を〇時〇分に合わせ(5分単位)、音声で確認できる。指示された時刻に合わせるゲームもあり、楽しんで学習できる。
	C	ゆっくり学ぶ子のためのさんすう2	江口・村上編	同成社	1,100	1~5までの数を扱う。1対1対応で数える、物の集まりの大きさとしての数の意味、5までのたし算などを学習する。ワークブックとして、書き込みながら学習を進めることができる。
C	とけいカード	くもん出版社	くもん出版社	1,200	〇時、〇時半などの時刻が、時計の絵と文字で見やすく掲載されている。カード式で使いやすく、自分の生活と照らし合わせながら、時計への関心を高めることができる。	

	C	1から100までのえほん	たむらたいへい	戸田デザイン研究所	1,600	たくさんの動物が登場し、視覚的に大きな数をとらえたり、指で数えたりすることができる構成になっている。
生活 (理科)	A	かがくのとも絵本 みんなうんち	五味太郎	福音館書店	900	いろいろな動物とそのうちの絵がたくさん載っている。へびのおしりの場所は？など想像力をふくらませる仕組みもある。人間についても、成長に応じてうんちの仕方が変わること、後始末の方法やうんちをする理由を絵で説明しており、楽しみながら排泄への関心をもたせ、体の仕組みに興味をもつことができる。
	A	幼児絵本シリーズ くだもの	平山和子	福音館書店	800	10種類のおいしそうな果物が、見開き1ページに1種類ずつそのままの絵とカットして食べられる形になった絵で描かれている。リアルな絵と「さあ、どうぞ」という言葉で食べたくなり、子どもが関心をもちやすい。
	A	リズムにあわせてうたいながらたたこう！たいこでドン！ドン！スペシャル	永岡書店	永岡書店	1,560	絵のボタンを押すことで、子どもの好きな動物の歌など10曲を聞くことができる。
	A	メロディえほん ICピアノえほん 四季のどうよう 12か月	株式会社みつとめるへん社 企画編集	大日本絵画	2,000	色がついたピアノ鍵盤のボタンを押すと、動物や自然をテーマにした童謡12曲の音を鳴らして楽しむことができる。カラオケに切り替えるスイッチがあり、学習場面に応じて使い分けることができる。
	B	絵本図鑑シリーズ8 やさいのずかん	小宮山洋夫	岩崎書店	1,400	柔らかい色合いで、身近な野菜が描かれている。発芽から収穫までの期間について、季節折々の様子が紹介されている。
	B	生活図鑑カード くだものやさいカード1集	飯塚宗夫	くもん出版社	900	31種類の果物や野菜が、実物に近い色鮮やかな絵と、見やすい文字で掲載されている。丈夫なカード式となっており、扱いやすく繰り返して学習に取り組むことができる。
	B	幼児絵本シリーズ やさい	平山和子	福音館書店	800	写実的で優しいタッチの絵で、野菜と畑での様子が描かれている。食べ物である野菜について、植物としても興味を喚起される。
	B	ほんとおおきさ動物園	小宮輝之	学研マーケティング	1,500	臓物の顔を実物大の写真で見せる、迫力ある図鑑。毛のはえ方や筋肉の付き方など、動物の体の質感まで感じることができ、まるで動物が目の前にいるような感覚を味わうことができる。
	C	やさしいからだのえほん1 からだのなかはどうなっているの？	せべまさゆき	金の星社	1,200	体のつくりや働きが、イラストと平易な言葉で分かりやすく説明されている。イラストの表情や動作は、ユーモラスで子どもの興味を引く。
	C	写真でわかるなぜなに1 どうぶつ	今泉忠明	世界文化社	1,165	23種類の動物について、疑問に答える形で生態を紹介している。分かりやすい写真を豊富に使い、動物の特徴や生態が説明されており、動物について学習を深めることができる。

図画
工作

C	かがくのとも絵本 たべられるしよくぶつ	森谷憲 寺島龍一	福音館書店	900	すいか、にんじん、なす、さつまいも、えんどうまめ、ねぎなど、身近な野菜の成長過程を実物のように描いている。わたしたちが野菜の葉、茎、実、たね、根など、いろいろな部分を食べているのだということを興味深く教えてくれる。学級園での栽培活動にも生かせる。
C	福音館の科学シリーズ 昆虫ちいさななかまたち	得田之久	福音館書店	1,500	美しくリアルな絵でたくさんの昆虫が描かれている。昆虫の生態を知ることができる図鑑。季節・住む環境(草・林・水)・食べるもので昆虫を分けているので分かりやすく、虫に対して親近感ももてる。
A	クーとマーのおぼえるえほん1 ぼくのいろいろなあに	はたこうしろう	ポプラ社	880	物語が展開するにつれて、次々と洋服の色が変わっていく。身近な物と関連させて色を意識付けている。かわいい絵で、色もきれいなため、色への関心を高めることができる。
A	ミーミとクークのえほん あか・あお・きいろ	わらべきみか	ひさかたチャイルド	800	基本的な12色が、イラストともに表現されている。はつきりとしたかわいいイラストで、色への興味を高めることができる。
A	みるみる絵本 もこもこもこ	たにかわしゆんたろう	文研出版	1,300	「もこもこ」「つん」などの擬音、シンプルで色鮮やかな絵がページいっぱい描かれている。ぬたくりやなぐり描きなど、ダイナミックな造形活動の導入としても楽しむことができる。
B	あそびのおうさまBOOK はじめてぬるほん	真当 哲博	学研マーケティング	850	カラーの絵の上に自由に描いたり塗ったりして、絵本を完成させる構成になっている。約80ページに様々な絵が描いてあり、児童の創作意欲を高め、創造力を育むことができる。
B	あそびのおうさまBOOK はじめてきるほん	LaZOO	学研マーケティング	850	自由にページを切ったり破いたりして、絵本を完成させる構成になっている。カラーのかわいいデザインは児童の興味を引きやすく、ちぎることから、はさみ、のり、テープの使い方まで学習することができる。
B	あそびのひろば8 らくがきあそび	長島 克夫	ポプラ社	1,200	1本のクレヨンの線からイメージを広げながら、次々と描かれていく絵が楽しく、描くことへの興味を高めることができる。
C	ペーパーランド8 おりがみえあそび	寺門 保夫	ポプラ社	1,200	身近な動物や昆虫などについて、基本的な折り方で作る方法が紹介されている。折り紙を絵の上にはったり、折り紙の上に絵をかいたりして、自由に表現を広げていくことができる。
C	かがくのとも傑作集(わいわい・あそび) しんぶんしでつくろう	よしだきみまる	福音館書店	900	新聞紙を使ったダイナミックな遊びが、絵と文で紹介されている。新聞紙という身近な素材を生かし、造形遊びを発展させることができる。
C	ぬったりかいたりらくがきBOOK	五味 太郎	チャイルド本社	1,500	約200ページにわたり、色をぬったり線をかき込んだりできるようになっている。一部が欠けた絵を完成させるページもあり、児童の興味を引く。

	C	あそびのひろば1 は んがあそび	椎野利一	ポプラ社	1,200	木の葉1枚に絵の具を塗って刷るだけで版画ができる。大きさや種類の違う木の葉を組み合わせれば、魚や鳥に見える。ピーマンやハス、ネギなど身近な野菜を使って面白い版画ができあがる。身近な素材から発想を膨らませ、造形遊びを手助けしてくれる題材がたくさん紹介されている。
生活 (家庭)	A	五味太郎の絵本 わ にさんどきっはいしゃ さんどきっ	五味 太郎	借成社	1,000	ワニ(患者)と歯医者(人間)とのユーモラスなやりとりが楽しい。繰り返しの言葉遊びで楽しく読みながら、歯磨きの大切さについて関心を高めることができる。
	A	ノタンあそぼうよ8 ノタンあわぶくぶく ぶぶぶ	キヨノサチコ	借成社	600	動物たちが入浴する様子を、かわいらしい絵とリズムカルな文で表現している。お風呂で体や頭を洗うことは楽しいことと感ずることができ、清潔にすることへの意識付けも図ることができる。
	A	あかちゃんのおそび えほん(1)ごあいさ つあそび	きむらゆうい ち	借成社	680	動物たちが次々に訪ねてきて、遊びながら「こんにちば」を元気よく言えるようになる楽しい仕掛け絵本。絵が大きくて見やすい。
	A	ともだちだいすき2 おべんとうなあに?	山脇 恭	借成社	1,000	ページをめくると、次々とおいしそうなお弁当があらわれる仕掛け絵本。話の展開が分かりやすく、登場する動物の絵もかわいらしくて、児童の心を引き付ける。
	B	からだのえほん4 か らだにもしもし	七尾純(作), 福田岩緒(絵)	あかね 書房	1,300	健康診断の様子やその大切さについて、「からだにもしもし」という表現とほのぼのした絵で分かりやすく説明している。健康診断の事前指導の際に、不安を取り除いたり、体の働きについて、学んだりすることができる。
	B	かばくん・くらしのえ ほん1 かばくんのい ちにち	ひろかわさえ こ	あかね 書房	1,000	身近な日常生活動作が取り上げられていて、自分の生活と重ね合わせながら、規則正しい生活への意識付けを図ることができる。絵は、かばくんがユーモラスに描かれており、児童の心を引き付ける。
	B	生活図鑑カード た べものカード	高橋 敦子	くもん出 版社	900	31品の身近な料理が、実物に近い色鮮やかな絵で描かれている。裏面には、料理名が記されている。丈夫なカードで、繰り返して学習に活用することができる。
	B	202シリーズ たべ もの202	秋吉 文夫	ひかり のくに	1,200	202品の食べ物の写真が掲載されている。五十音にまとめられていて、料理名や食品名について学習することもできる。
	C	こどものずかん Mio 10 たべもの	加藤 典康	ひかり のくに	762	調理過程や材料との関連なども含め、たくさんの食べ物の写真が紹介されている。写真を見て楽しんだり、食べ物の名称を学習したりするだけではなく、食に関する多様な学習に活用することができる。
	C	子どもの生活(3)マ ナーをきちんとおぼ えよう!	浜田 恭子	借成社	1,000	日常生活の基本的マナーについて、見やすい絵で紹介している。悪い例の記載もあり、生徒が理解しやすくなっている。

	C	安全のしつけ絵本 (1) きをつけようね	てらおかくに お てらおかきくこ	借成社	1,200	横断歩道、踏切、車の下、坂道など、身の回りにある場所での危険な行動について取り上げている。見開き1ページ目に「〇〇して大丈夫かな？」と問い掛け、ページをめくると「〇〇してはいけないよ」と教えてくれる構成で、児童が自分で考えたり想像したりして安全に意識を向けられるようになっている。かわいい動物の挿絵で、児童が関心をもちやすい。
--	---	----------------------------	------------------------	-----	-------	---

平成28年度使用一般図書(特別支援学校用) 中学部用 推薦図書

教科	段階	図書名	著者名	発行所	本体価格	推薦理由等
国語	A	五味太郎のことばと かずの絵本 ことば のあいうえお	五味 太郎	岩崎書 店	1,200	大きな文字と絵で見やすい。「あっ!」「いた い!」「うまいうまい」など、普段の日常生活で発 せられる話し言葉がたくさん載っている。
	A	あいうえおえほん	とだこうしろう・ひろし	戸田デ ザイン 研究室	1,700	絵がはっきりとしており、文字も大きくて見やす い。筆順も示されており、生徒に応じて使用する ことができる。
	B	書きかたカード「ひら がな」	公文公	くもん出 版	1,300	はっきりとした色で見やすい。筆順が示してあ り、線に沿ってなぞる学習にも活用できる。カー ド形式のため、生徒に応じて必要なカードを選 択して使用することができる。
	B	もじのえほん かたかなアイウエオ	やまもともりひ さ	あかね 書房	1,500	かたかなが大きな文字と色で書かれており、一 文字ずつ見やすい。またリズムカルな文は、繰り 返し声に出して読みやすい。
	B	かいてけしてまたか ける あいうえお	うだがわさち こ	ジュラ 出版局	1,360	付属のホワイトボードマーカーを使って、絵本に 直接線を書く、文字をなぞる、文字を入れるな ど、段階を追って学習に取り組める。かわいい イラストやはっきりした色で興味をもちやすい。 何度も繰り返して使うことができる。
	B	おしゃべりあいうえお はじめてのひらがな	竹内いつみ (イラスト)	永岡書 店	1,700	かわいいイラストで物とことばが掲載されている 絵本と、声の出るボードが一緒になっている。文 字を目と耳から覚えることができる。ボタンの操 作や録音機能など、興味・関心をもちやすい。5 0音と濁点・半濁点が載っている。拗音・促音は 無し。
	C	五味太郎のことばと かずの絵本 漢字の 絵本	五味 太郎	岩崎書 店	1,200	文字が大きくて見やすい。漢数字のほかにも、 朝、昼、大きい、小さいなど、生活に身近な漢字 が大きな絵で示されている。
	C	もじのえほん あいう えお	やまもともりひ さ	あかね 書房	1,500	文字が大きくて見やすい。楽しい絵とリズムカル な文がたくさん載っており、生徒の興味を引きや すい。
	C	ABCえほん	とだこうしろう	戸田デ ザイン 研究室	1,700	絵がはっきりしており、文字も大きくて見やす い。大文字、小文字も示されている。英単語に 興味をもつ生徒が、楽しみながら学習すること ができる。
A	生活図鑑カード 生 活道具カード	公文	くもん出 版	900	生活に身近な道具について、実物に近い鮮や かな絵で描かれている。カードの裏には、大き な文字で道具名が書かれているため、生徒に 応じて必要なカードを選択し、文字の読み書き や道具名の理解など、様々な学習に活用でき る。	

生活
(社会)

A	はっけんずかんのりもの	小賀野実	学研マーケティング	1,880	きれいな写真と絵で、生徒が大好きな乗り物を掲載している。車の中の様子や用途について、楽しい仕掛けを使って紹介しており、生徒の興味を引く。
A	知育のえほん マークのずかん	山岡小麦	鈴木出版	1,600	道路標識や案内表示など、身の回りの大切なマークが載っている。テーマ別に分類されており、ひらがなで表記されているため生徒に分かりやすい。
B	フレーベル館の図鑑 ナチュラ はるなつあきふゆ	無藤 隆	フレーベル館	1,900	季節ごとに自然や行事、遊びなどを写真や絵で紹介。四季の移り変わりや各々の季節の特徴を感じられる。
B	生活図鑑カード お店カードー町のお店と公共施設ー	公文	くもん出版	900	実生活でも行く機会のあるコンビニエンスストアをはじめとするお店や病院などの公共施設が、実際に利用している様子が分かりやすいように描かれている。地域生活を振り返ったり、考えたりするときに適している。
B	ぼくとわたしのせいかつえほん	つちだよしはる	グランま	1,500	家族や食べ物から乗り物まで、身の回りの物が188の絵で掲載されている。絵本と実物を見比べたり、生活の中から探したりするきっかけを作ることができる。
C	福音館の科学シリーズ ただいまお仕事 中大きくなったらどんな仕事をしてみたい？	おち とよこ	福音館書店	1,500	約30種の職業を紹介している。挿絵も分かりやすく、将来働くことを生徒が意識するために適している。
C	はじめてちずかんシリーズ6 ドラえもんのにほんちず	藤子・F・不二雄	小学館	1,260	親しみのあるキャラクターが、都道府県や地域の特色について写真と漫画で平易に紹介しているため、生徒の興味を引きやすい。
C	新版 はじめましてにほんちず	高木実、高木幸子	平凡社	1,600	各地方や都道府県が、はっきりした色でぬり分けられており、それぞれの特徴を掲載している。生徒の興味を引きやすい物について、楽しいイラストで紹介している。
A	ブルーナーのアイディアブック ミッフィーの1から10まで	ディック・ブルーナー	講談社	750	数に関する内容を、生徒の興味・関心を引く絵や色遣いで表現している。ページがインデックス形式になっており、生徒がめくりやすい。また、丈夫なつくりになっている。
A	あかちゃんとおかあさんの絵本 ハティちゃんのいちにさん	わらべきみか	金の星社	780	対象が明確で、数えやすい。身近にあるものを中心に、はっきりした色や線で表現されており、見て楽しむことができる。
B	認識絵本5 いくつか	多田ヒロシ	ひかりのくに	1,200	物の数、順番、量、長さなど、数量に関する幅広い学習ができる。絵も見やすく、生徒の興味を引きやすい。

数学	B	認識絵本10 おおき いちいさい	嘉村苑子, 原 田治(絵)	ひかり のくに	1,300	「大きい・小さい」などの対になる言葉・意味につ いて、絵や文字を見ながら学習することができる。 絵も分かりやすく、簡単な問題も掲載されて おり、生徒に応じた使い方ができる。
	B	くもん かずカード	公文 公	くもん出 版	1,000	1～50までの数字が、カード一面に大きく印刷され ていて見やすい。裏面には同じ数の赤いドットが印 刷されており、指でドットを押さえながら数唱するこ とができる。「数字を数える」「数と量の関係」「数字の 順番」などといった数の基礎を身に付けることができ る。
	B	あかねえほんシリー ズ かたちのえほん まる・さんかく・しかく さん	やまもともりひ さ	あかね 書房	1,300	いろいろなタイプの丸、三角、四角がキャラク ターとなり、はっきりした色で示されている。絵本 をめくりながら、基本的な図形の学習をすることが できる。
	C	ゆっくり学ぶ子のた めの「さんすう」3	江口季好, 村 上直樹	同成社	1,100	6～9の足し算、引き算、位取りの学習ができ る。ワークブックとして、書き込みながら学習を 進めることができる。1ページに掲載する問題が 少なく、見やすくできている。
	C	プータンいまなんじ?	わたよしおみ	ジュラ 出版局	1,360	一日の生活の絵を見ながら、本に組み込まれて いる時計の針を動かし、自由に時刻を示すこと ができる。自分の生活に照らし合わせて学習す ることができる。
	C	とけいのえほん	とだこうしろう	戸田デ ザイン 研究室	1,500	一日のうちの時刻に応じて、朝昼晩の生活のイ ラストとともに時計が示されている。自分の生活 と照らし合わせながら、時計の学習をすることが できる。
	C	はとのクルックのとけ いえほん	たちのけいこ	くもん出 版	1,400	かわいい動物たちが出てきて、お話にそって時 計の針を動かしながら、何時何分の学習をす ることができる。文字盤には、分が1～59までつ いており、何分の学習をすることができる。
生活 (理科)	A	ほんとの大きさ動物 園	小宮輝之, 福 田豊文	学研 マーケ ティング	1,500	動物の顔が実物大の写真で掲載されているた め、生徒が興味・関心をもちやすい。また、ペー ジ数も多過ぎず、生徒が容易に読むことができ る。
	A	かこさとしかがくの本 3 たねからめがでて	かこさとし	童心社	1,300	親しみやすい絵で、季節の変化が分かりやすい 色彩で表現されている。また、植物の成長の様 子が簡潔な文で示されている。
	B	改訂新版体験を広げ ることもずかん1 ど うぶつえん	牧野 公男	ひかり のくに	1,000	生徒が好きな動物が、写真やイラストでたくさん 掲載されている。動物の生態や特徴なども、イ ラストと文で紹介してあり、生徒が楽しむことが できる。
	B	改訂新版体験を広げ ることもずかん9 か らだとけんこう	牧野 公男	ひかり のくに	1,000	人の体の仕組みが、図で分かりやすく示されて いる。説明文も簡潔で分かりやすい。自分たち の体について、興味を引く内容が多く掲載され ている。

	B	昆虫とあそぼう	とだこうしろう	戸田デザイン研究室	1,300	身近な昆虫が、リアルな絵で描かれている。色遣いがきれいで、実際の大きさが分かるようにできている。昆虫の特徴も、親しみやすい手書き文字で表記されている。
	C	かいかたそだてかたずかん4 やさいのうえかたそだてかた	小宮山洋夫	岩崎書店	1,500	身近な野菜の育て方が、手順を追って絵で示されている。野菜が育っていく過程や収穫の様子を知ることができ、生徒が楽しみながら学習することができる。
	C	ふしぎをためすかがく図鑑 しぜんあそび	山下久美	フレーベル館	2,000	身近な自然を味わい、楽しむための「自然遊び(草花・木の葉・石ころなどを使った遊び)」を紹介。写真やイラストが多く、「作ってみたい」「おもしろそうだな」と興味をもちやすい。
美術	A	ぴんきいろっぷちゃんのらくがきえほんあそぼ!	久保たかし	ジュラ出版局	1,360	絵本の中に絵を描いて遊ぶ、ペン付き絵本。子ども達に表現する喜びや描いて遊ぶ楽しさを伝えやすい。描いた絵はティッシュで一拭きで消すことができる。
	A	クーとマーのおぼえるえほん1 ほくのいろなあに	はたこうしろう	ポプラ社	880	キャラクターが着替える場面を追い、身近なものに着目し、色の名称を学習することができる。
	B	ぬったりかいたりらくがきBOOK	五味 太郎	チャイルド本社	1,500	線画をヒントに、実際に描き込んでいくことができる本。身近な素材に関心をもって自由に描くことができる。ページ数も多いため、生徒がたくさん楽しんで描くことができる。
	B	エンバリーおじさんの絵かきえほん しもんスタンプでかいてみよう	エド・エンバリー	借成社	1,400	指紋のスタンプに簡単な線を書き足すだけで描くことができるかわいらしい絵が、たくさん掲載されている。きれいな色遣いで、生徒の興味を引く。
	C	あそびのひろば2 やさしいてづくりのプレゼント	徳田徳志芸	ポプラ社	1,200	少しの工夫で簡単に作ることができるプレゼントについて、その作り方とともに写真で紹介している。プレゼント作りのアイデアがたくさん載っている。
	C	あそびの絵本21 きりがみあそび	小宮山洋夫	岩崎書店	1,300	切り紙による行事の飾り作りを紹介している。はさみを使うのが苦手な生徒も、紙の形の変化を見て楽しんだり、行事の飾り付けを楽しんだりすることができる。
	C	エリック・カールの絵本(ぬりえ絵本)わたしだけのほらぺこあおむし	エリック・カール	借成社	1,000	なじみのある絵本がぬり絵になっていて、自分の好きな色をぬって完成させることができる。生徒の想像力を豊かにし、また、いろいろな技法を学習することができる。
	A	生活図鑑カード たべものカード	高橋 敦子	くもん出版	900	実物に近い鮮やかな絵で、生徒の身近な食べ物がカードに1品ずつ描かれている。カードの裏には、食べ物の名前が書いてあり、食べ物の名前を書いたり覚えたりする学習に活用することができる。

生活 (家庭)	A	むしばはどうしてできるの	小野芳明	金の星社	1,200	菌の仕組み、虫菌になる原因と予防法などについて、写真やイラストで分かりやすく書かれている。
	B	自立生活ハンドブック5 ほなぺていどうぞめしあがれ	副島宏克	全日本手をつなぐ育成会	600	調理手順がカラー写真で示され、調理する手元が大きく示されているため、生徒が理解しやすい。
	B	かがくのとも傑作集 平野レミのおりょうりブック ひもほうちょうもつかわかない	平野レミ	福音館書店	900	調理の手間が少ない主食について、包丁や火を使わずに作る方法・手順について、イラストを交えて分かりやすく紹介している。材料も手順も少ない調理で、手軽に調理活動をすることができる。
	B	ひとりできるもん4 うれしいごはん、パン、めん料理	平本ふく子	金の星社	1,960	調理の手間が少なく、生徒が簡単に作ることができる主食について、写真やイラストを交えて分かりやすく紹介している。
	C	子どもの生活3 マナーをきちんとおぼえよう!	浜田恭子	借成社	1,000	日常生活の基本的マナーについて、見やすい絵で紹介している。悪い例の記載もあり、生徒が理解しやすくなっている。
	C	自立生活ハンドブック8 食(しょく)	岩本真紀子・鈴木伸佳	全日本手をつなぐ育成会	1,200	番号順の写真を見ながら調理するだけで、18品のおいしいおかずを作ることができる。用具・材料・手順がカラー写真で示されており、見ていてわかりやすい。きれいでおいしそうな写真に興味をもち、自分で作ってみたいくなる。
	C	子どものマナー図鑑(1) ふだんの生活のマナー	峯村良子	借成社	1,500	電話のかけ方、掃除や洗濯の手順、買い物の仕方、お風呂の入り方、服のたたみ方、靴ひもの結び方・・・など、日常の基本的なマナーを分かりやすく載せている。「こんなときはどうしたらいいのかな・・・」と感じたときに参考になる。

議案第 11 号

平成 28 年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について

平成 28 年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用教科用図書の採択について、議決を求める。

平成 27 年 7 月 29 日提出

新潟市教育委員会

教育長 前田 秀子

高志中等教育学校前期課程用教科用図書
(答申)

平成28年度使用教科用図書選定委員会

高志中等教育学校前期課程部会報告

1. 専門調査員による研究経過について

(1) 専門調査員の打合せ会

平成27年5月25日（月）午後3時から、新潟市役所白山浦庁舎において、9教科の専門調査員による平成28年度使用教科用図書専門調査員打合せ会が開催された。

全体会では、教科用図書採択に関する基本方針、諮問内容の確認、調査研究業務遂行における基本的な心構え、研究報告書及び作業日程の説明等がなされた。

各教科部会では、調査研究の観点や作業日程等、今後の調査研究の推進について話し合い、確認しあった。

(2) 各教科の調査研究

各教科部会では、一人一人の委員が調査研究の観点を基に調査・研究を進めるとともに、計画に基づいて部会を開き、委員間で積極的に意見を交換し合い、検討結果を調査研究報告書としてまとめた。

2. 調査研究の結果について

(1) 各教科の調査研究の結果は、別紙報告書のとおりである。

(2) 調査研究に当たって、重視した考え方や理由等は、概ね次のとおりである。

学習指導要領の目標に照らすとともに、新潟市の中学生の学力や学習への取組の実態を踏まえ、新潟市立高志中等教育学校の教育目標及び教育内容を考慮して、教科の本質に関わるものを重視する。また、子どもの一人一人の学ぶ意欲を喚起し、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力を高めようとする工夫が見られるか、次の観点から調査・検討した。

ア 単元・題材構成や配列が、生徒の意識や思考の深まるように配慮されている。

イ 学習過程や学習の連続性を工夫し、学習活動への意欲付け、学習の進め方やまとめ方などに配慮されている。

ウ 各教科の基礎的・基本的事項の習熟への配慮がなされている。

エ 言語活動への充実に向け配慮されている。

オ 発展的な内容が生徒の実態に即しており、無理なく学習が進められるよう工夫が見られる。

カ ユニバーサルデザイン化に配慮しており、生徒の興味・関心を喚起したり、思考を助けたりできるように、写真やイラスト、図、資料等に工夫が見られる。

国 語

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の五種である。

発行者の番号 2	略称	東書
発行者の番号 1 1	略称	学図
発行者の番号 1 5	略称	三省堂
発行者の番号 1 7	略称	教出
発行者の番号 3 8	略称	光村

2 「国語科」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「国語科」指導における課題

- 前期課程に必要な基礎的な学力と活用力を3年次の途中までに身に付け、後期課程でさらに学力を伸ばすことができるようにすること。
- 広域の小学校から進学してくるため、学び方に差がある。そのため、1年次では丁寧に指導を行い、2年次からは学習進度を速めていく必要がある。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「国語科」指導における重点

- 読解力に加え、小論文の書き方などに重点をおいて指導をする。
- 難易度の高い教材と易しい教材をバランスよく組み合わせるとともに、後期課程につながるよう、様々な教材に触れせるようにする。

3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

1 5 三省堂 (平成27年度までの教科書 光村)

(構成面) 資料編が充実しており、小論文の書き方などの指導に使える。小論文は後期課程で重要な指導事項であり、本教科用図書では前期から継続して指導を行うことができる。また、短歌や俳句の数も他教科書よりも多く、多様な教材に触れさせることができる。「話すこと・聞くこと」「書くこと」などでは、言語技術や学習内容が体系化されており、より高次の学習につなげやすい。

(課題面) 文学的文章、説明的文章共に難易度のある教材であり、より高次の発問を構成しやすい。本校の国語の時数は他の中学校よりも多く、後期課程に向けて難易度のある文章を読解できるようにすることが使命の一つである。その点でも、本校の指導に適している。

これまで抽象的な単元目標が設定されていたが、改訂によって明確な言語技能が目標になっており、どのように身に付けるかも明確になっている。また各教材には関連する教材や資料のページが示されているので、その点でも発展学習につなげやすい。

国語（書写）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の五種である。

発行者の番号 2	略称	東書
発行者の番号 1 1	略称	学図
発行者の番号 1 5	略称	三省堂
発行者の番号 1 7	略称	教出
発行者の番号 3 8	略称	光村

- 2 「書写」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「書写」指導における課題

- 個人の技量の差は大きいですが、小学校で書写をしっかり学習してきているので、止め、はね、書き順などについては理解している。後期課程で海外の修学旅行などがあるので、日本の伝統文化を改めて見つめるように指導することが必要である。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「書写」指導における重点

- 伝統文化の継承を行い、自国の文化に対して誇りを持つことができること。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

3 8 光村 （平成27年度までの教科書 光村）

（構成面）題字とポイントがわかりやすく提示されている。また書き方や文字に関する資料が豊富である。

（課題面）自分の字をよりよくしたいという課題を基に、学びの過程に寄り添った内容であるので、日常に生かしていけると思われる。

社会（地理的分野）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の四種である。

発行者の番号 2	略称	東書
発行者の番号 1 7	略称	教出
発行者の番号 4 6	略称	帝国
発行者の番号 1 1 6	略称	日文

- 2 「社会科地理」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

（1）高志中等教育学校前期課程の「社会科地理」指導における課題

発展的な課題を提示し、話し合いを重ねながら課題解決を図る学習活動を行わせると、「難しかったけど、わかった時には達成感があった。」「楽しい。」などの感想が寄せられる。このことから、多くの生徒が小学校までの学習内容が定着していると考えられる。

したがって、前期課程の指導では、小学校の学習内容を十分に踏まえ、基礎的・基本的な知識の定着を図るとともに、後期課程のより広く深い教科内容につなげていけるような、発展的な学習を多く取り入れていく必要がある。

（2）高志中等教育学校前期課程の「社会科地理」指導における重点

用語や記号、その意味を暗記することも大切であるが、それだけに終始せず生徒の社会に対する関心を高めることや、資料活用の技能・思考力などの育成を図ることを意識して指導を行う。地理的分野では地図帳や統計資料などを活用し、生徒が事象を見出し、考察を通して理解し、知識として身につけさせる指導に重点をおいて、生徒の社会認識を高めていきたい。その際には、問題解決学習や課題追究的な学習、作業・体験を行う学習活動を組織していく。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

2 東書（平成27年度までの教科書 東書）

（構成面） 文章記述が簡潔にまとめられており、整理されている。そのために思考を促す活動がしやすい。

（課題面） 学習課題が系統的に関連を持ちながら次第に高次な内容になっている。そのために、基礎的・基本的な内容を繰り返し身に付けることができるとともに、言語活動を組織することによって事象を見出し、考察させることができる。

社会（歴史的分野）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の八種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	17	略称	教出
発行者の番号	35	略称	清水
発行者の番号	46	略称	帝国
発行者の番号	116	略称	日文
発行者の番号	225	略称	自由社
発行者の番号	227	略称	育鵬社
発行者の番号	229	略称	学び舎

- 2 「社会科歴史」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

（1）高志中等教育学校前期課程の「社会科歴史」指導における課題

発展的な課題を提示し、話し合いを重ねながら課題解決を図る学習活動を行わせると、「難しかったけど、わかった時には達成感があった。」「楽しい。」などの感想が寄せられる。このことから、多くの生徒が小学校までの学習内容が定着していると考えられる。

したがって、前期課程の指導では、小学校の学習内容を十分に踏まえ、基礎的・基本的な知識の定着を図るとともに、後期課程のより広く深い教科内容につなげていけるような、発展的な学習を多く取り入れていく必要がある。

（2）高志中等教育学校前期課程の「社会科歴史」指導における重点

用語や記号、その意味を暗記することも大切であるが、それだけに終始せずに生徒の社会に対する関心を高めることや、資料活用の技能・思考力などの育成を図ることを意識して指導を行う。歴史的分野では、史料や年表等を活用し、生徒が事象を見出し、考察を通じて理解し、知識として身につけさせる指導に重点をおいて生徒の社会認識を高めていきたい。その際には問題解決学習や課題追究学習、作業・体験を行う学習活動を組織していく。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

2 東書（平成27年度までの教科書 東書）

（構成面） 文章記述が簡潔にまとめられており、整理されている。いずれのページにも年表が示されており、歴史の中で事象の位置をとらえやすくなっている。

（課題面） 学習課題の内容が適切で具体的であり、課題追究に適している。模式図や比較表、ディスカッションなど言語活動が組織しやすい課題となっており、発展的な学習を行うにも適している。

社会（公民的分野）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の七種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	17	略称	教出
発行者の番号	35	略称	清水
発行者の番号	46	略称	帝国
発行者の番号	116	略称	日文
発行者の番号	225	略称	自由社
発行者の番号	227	略称	育鵬社

- 2 「社会科公民」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

（1）高志中等教育学校前期課程の「社会科公民」指導における課題

発展的な課題を提示し、話し合いを重ねながら課題解決を図る学習活動を行わせると、「難しかったけど、わかった時には達成感があった。」「楽しい。」などの感想が寄せられる。このことから、多くの生徒が小学校までの学習内容が定着していると考えられる。

したがって、前期課程の指導では、小学校の学習内容を十分に踏まえ、基礎的・基本的な知識の定着を図るとともに、後期課程のより広く深い教科内容につなげていけるような、発展的な学習を多く取り入れていく必要がある。

（2）高志中等教育学校前期課程の「社会科公民」指導における重点

用語や記号、その意味を暗記することも大切であるが、それだけに終始せず生徒の社会に対する関心を高めることや、資料活用の技能・思考力などの育成を図ることを意識して指導を行う。公民的分野では、統計資料等を活用し、生活が実生活と関連させながら事象を見出し、考察を通して理解し、知識として身に付けさせる指導に重点をおいて、生徒の社会認識を高めていきたい。その際には、問題解決学習や課題追究的な学習、作業・体験を行う学習活動を組織していく。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

2 東書（平成27年度までの教科書 東書）

（構成面） 写真・グラフ・地図などの資料が豊富であり、資料を読み取る視点が示唆されている。そのため、資料活用の技能や思考力の育成に適している。

（課題面） 中学生が積極的に社会に関わっている姿が紹介されており、また身近な地域に目を向けた調べ学習の事例が紹介されているため積極的に社会に参画していかうとする学習課題を生徒に示しやすい。短期間で取り組める言語活動も見聞きごとに示されており、課題追究に適している。発展的な学習を行うのにも適している。

社会（地図）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の二種である。

発行者の番号 2 略称 東書
発行者の番号 46 略称 帝国

- 2 「地図」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

（1）高志中等教育学校前期課程の「社会科地理」指導における課題

発展的な課題を提示し、話し合いを重ねながら課題解決を図る学習活動を行わせると、「難しかったけど、わかった時には達成感があった。」「楽しい。」などの感想が寄せられる。このことから、多くの生徒が小学校までの学習内容が定着していると考えられる。

したがって、前期課程の指導では、小学校の学習内容を十分に踏まえ、基礎的・基本的な知識の定着を図るとともに、後期課程のより広く深い教科内容につなげていけるような、発展的な学習を多く取り入れていく必要がある。

（2）高志中等教育学校前期課程の「社会科地理」指導における重点

用語や記号、その意味を暗記することも大切であるが、それだけに終始せずに生徒の社会に対する関心を高めることや、資料活用の技能・思考力などの育成を図ることを意識して指導を行う。地理的分野では地図帳や統計資料などを活用し、生徒が事象を見出し、考察を通して理解し、知識として身につけさせる指導に重点をおいて、生徒の社会認識を高めていきたい。その際には、問題解決学習や課題追究的な学習、作業・体験を行う学習活動を組織していく。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

46 帝国 （平成27年度までの教科書 帝国）

（構成面） 地域の特色が視覚的にとらえられる鳥瞰図があるため、地形を大観してとらえることができるとともに各地域において多面的な視点で情報量の多い資料が示されているので、より高次で課題追究的な学習に適している。

（課題面） 高志中等教育学校では、毎日継続して家庭学習を多く行っている。本地図では授業において地理の教科書と連携して学習するだけでなく、家庭学習において問題意識をもって資料を比較したり、分析したりすることができる。

数 学

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の七種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	4	略称	大日本
発行者の番号	11	略称	学図
発行者の番号	17	略称	教出
発行者の番号	61	略称	啓林館
発行者の番号	104	略称	数研
発行者の番号	116	略称	日文

- 2 「数学」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「数学科」指導における課題

- 6年間を見通して全国に通用する学力を身に付けることが課題であり、そのために自ら学ぶ意欲を高めていく必要がある。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「数学科」指導における重点

- 前期課程で数学に対する興味関心を高め、確実に知識や技能を身に付けさせる指導をすると共に、数学的な見方や考え方のよさを味わわせて、数学を学ぶ喜びを実感させる。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

61 啓林館（平成27年度までの教科書 啓林館）

（構成面）

小ステップで構成されており、予習や復習がしやすい。また、1～3年生はそれぞれ年間175時間で、数学の授業時数が多い。その中で問題数や難易度も適当であると考えられる。

（課題面）

数学を学ぶ有用感を醸成する項目があるので、生徒の関心意欲を高めることができる。高志中等教育学校では、思考・判断・表現力を高めようとしている。章末でじっくり思考させる問題があったり、数学広場で表現をさせる活動があったりするので適している。

平成28年度使用高志中等教育学校前期課程教科用図書研究報告書

理 科

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の五種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	4	略称	大日本
発行者の番号	11	略称	学図
発行者の番号	17	略称	教出
発行者の番号	61	略称	啓林館

- 2 「理科」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

- (1) 高志中等教育学校前期課程の「理科」指導における課題
- 長期休業中の科学研究への参加も積極的であり意欲的に取り組むことができる。しかしながら、読み取りや思考を必要とする学習は苦手としている。
 - 他の中学校と同じ授業時数であるが、その中で実験観察を確実にを行いながら、中学校の学習内容を3年の10月までに終え、11月からは高校の学習内容を行っている。
 - 後期課程で生物科学コースに1/3、理工学コースに1/3が進む。したがって、そのための力を確実につけなければならない。
- (2) 高志中等教育学校前期課程の「理科」指導における重点
- 理科における協働学習を取り入れ、理科への興味関心を高めるため、ペアを組んで実験・観察を行っている。
 - 学習内容を確実に習得させるために、精選しながらも、後期課程への系統性を大切に指導を行う。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

2 東書（平成27年度までの教科書 東書）

（構成面）

現行の教科書は後期課程の進学用のワーク「WINPASS」に適したレベルであるため、後期課程の学習内容への接続に適している。

（課題面）

高校の内容への系統性・継続性を持たせることができる上に、協働学習を組織する上で適切な課題である。また、観察・実験の目的を明確にしているので、生徒の目的意識が醸成される。

音楽（音楽一般）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の二種である。

発行者の番号 17 略称 教出
発行者の番号 27 略称 教芸

- 2 「音楽一般」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

（1）高志中等教育学校前期課程の「音楽科」指導における課題

- 当校では、新潟市内の広い範囲から進学してきているため、小学校時代の履修状態には差が多少なりともある。その差を考慮しながら指導する必要がある。
- 後期課程の「芸術」につながるのある授業を前期3年生で行い、選択音楽の生徒が4年間の学びの系統性や発展を感じる授業内容にしていく必要がある。
- ピアノや合唱、オーケストラなどを学校外で学んでいる生徒が多い。したがって音楽に日頃より触れている生徒とそうでない生徒の双方が音楽のよさを感じる授業にしなければならない。

（2）高志中等教育学校前期課程の「音楽科」指導における重点

- これまでの生徒の音楽に関する経験や学習内容が異なるので、多様な教材を準備し、生徒の状況に応じた選曲ができるようにする。
- 歌唱に限らず、器楽演奏や鑑賞でも様々な音楽に触れるようにする。
- 能楽師やソプラノ歌手をゲストティーチャーとして招き、音楽のよさにじかに触れるようにする。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

17 教出 （平成27年度までの教科書 教出）

（構成面）

学年のレベルに応じた選曲がされており、曲の中でイメージができる写真が上手に使用されている。古い歌詞については解説がしっかりしており、現代語に慣れている生徒にとって、歌詞を理解しやすい。

（課題面）

様々な音楽内容が掲載されており、幅広い音楽知識を学ぶことができるので、授業以外にも自主的な学習を行う上でも適切である。

音楽（音楽器楽）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の二種である。

発行者の番号 17 略称 教出
発行者の番号 27 略称 教芸

- 2 「音楽器楽」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「音楽科」指導における課題

- 当校では、新潟市内の広い範囲から進学してきているため、小学校時代の履修状態には差が多少なりともある。その差を考慮しながら指導する必要がある。
- 後期課程の「芸術」につながるのある授業を前期3年生で行い、選択音楽の生徒が4年間の学びの系統性や発展を感じる授業内容にしていく必要がある。
- ピアノや合唱、オーケストラなどを学校外で学んでいる生徒が多い。したがって音楽に日頃より触れている生徒とそうでない生徒の双方が音楽のよさを感じる授業にしなければならない。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「音楽科」指導における重点

- これまでの生徒の音楽に関する経験や学習内容が異なるので、多様な教材を準備し、生徒の状況に応じた選曲ができるようにする。
- 歌唱に限らず、器楽演奏や鑑賞でも様々な音楽に触れるようにする。
- 能楽師やソプラノ歌手をゲストティーチャーとして招き、音楽のよさにじかに触れるようにする。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

17 教出 （平成27年度までの教科書 教出）

（構成面）

学年のレベルに応じた選曲がされており、曲の中でイメージができる写真が上手に使用されている。古い歌詞については解説がしっかりしており、現代語に慣れている生徒にとって、歌詞を理解しやすい。

（課題面）

様々な音楽内容が掲載されており、幅広い音楽知識を学ぶことができるので、授業以外にも自主的な学習を行う上でも適切である。

美術

1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の三種である。

発行者の番号	9	略称	開隆堂
発行者の番号	38	略称	光村
発行者の番号	116	略称	日文

2 「美術」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「美術」指導における課題

- 美術の創造活動の喜びを味わわせ、美術を愛好する心情を育て、感性豊かに美術の基礎的能力を伸ばし、豊かな情操を養うために、表現や鑑賞の活動をバランスよく取り入れること。
- 生徒の発想を尊重すること。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「美術」指導における重点

- 学習内容、基礎的な技能の確実な定着を図り、生徒が個性を生かして主体的に学習できる指導計画とする。
- 4年間の学びの系統性を大切にする。
- 生徒一人一人が自分のよさを発見し、喜びをもって創造活動（表現活動・鑑賞活動）に取り組むことができる授業展開とする。

3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

116 日文 （平成27年度までの教科書 日文）

（構成面）

表現や鑑賞を幅広く扱っておりイメージしやすい図や写真を使用している。技法や解説がしっかりしている。

（課題面）

美術についての幅広い知識を身に付け、興味を喚起することができる。

保健体育

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の4種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	4	略称	大日本
発行者の番号	50	略称	大修館
発行者の番号	224	略称	学研

- 2 「保健」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「保健」指導における課題

- 全体的に基礎的な体力を付けると共に、健康の保持、増進をしていく関心意欲を醸成していく必要がある。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「保健」指導における重点

- 健康の保持、増進に必要な知識を身に付けさせるとともに、学習したことを生活の中で実践することができるように指導していく。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

- 4 大日本（平成27年度までの教科書 大日本）

（構成面）

章末の資料が豊富であり重要語句もまとめられているので、発展的に知識を身に付けることができる構成である。

（課題面）

学習課題とまとめが明確に示されており、また見開き2ページで示されているので、基礎的な知識の定着はもちろんのこと、思考も促すことができる。言語活動も充実しており、そのテーマも生徒の生活に役立つ内容である。

技術・家庭（技術分野）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の三種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	6	略称	教凶
発行者の番号	9	略称	開隆堂

- 2 「技術」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「技術」指導における課題

○工具の使用に不慣れな面が見られる。これまでの生活経験の不足が原因と考えられる。安全に工具を使用させるためには常に注意が必要である。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「技術」指導における重点

○授業では、知識の習得とともに、実際の作業を通して技術の習得と生活を自ら改善していく意欲をバランスよく育てていく。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

2 東書（平成27年度までの教科書 東書）

（構成面）

レイアウトや図がわかりやすい構成となっている。

（課題面）

ふだんの生活の中にある課題を取り上げているので、多くの生徒にとって生活を自ら変えていく力を身に付けていくことができる。

技術・家庭（家庭分野）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の三種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	6	略称	教図
発行者の番号	9	略称	開隆堂

- 2 「家庭」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「家庭」指導における課題

○日常生活の中で清掃や調理などを自らが行っていない生徒が多いようである。したがって、自らの生活の課題を見出していけないようである。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「家庭」指導における重点

○自分の生活の中での課題を見つけ、生活を自ら改善していく意欲を育てていく。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

2 東書（平成27年度までの教科書 東書）

（構成面）

レイアウトや図がわかりやすい構成となっている。

（課題面）

ふだんの生活の中にある課題を取り上げているので、多くの生徒にとって生活を自ら変えていく力を付けていると考えられる。

外国語（英語）

- 1 研究の対象とする検定済み教科書は、見本が送付されてきた次の六種である。

発行者の番号	2	略称	東書
発行者の番号	9	略称	開隆堂
発行者の番号	11	略称	学図
発行者の番号	15	略称	三省堂
発行者の番号	17	略称	教出
発行者の番号	38	略称	光村

- 2 「外国語」の教科書の調査研究の課題・観点は、次のとおりとする。

(1) 高志中等教育学校前期課程の「外国語」指導における課題

- 基礎的・基本的な技能を身に付けさせるとともに、後期課程の高度な内容に接続していけるように、より発展的な学習を行うことが必要である。

(2) 高志中等教育学校前期課程の「外国語」指導における重点

- 4技能をバランスよく指導すること。
- 長文に慣れ、概要をとらえることができるようになること。

- 3 高志中等教育学校の教材として（推薦理由）

15 三省堂（平成27年度までの教科書 三省堂）

（構成面）扱われている題材が幅広く様々な領域について取り上げられており、生徒の発達段階に適している。また、説明文、Eメール文、スピーチなど英文の形式も多様である。

（課題面）3年間を通じて4技能を総合的にバランスよく育成できるように、言語活動が配置されている。4技能の総合タスクも随所に配置され発展的な内容になっている。「この課で学ぶべきこと」「まとめ」「付録」などを適宜配置し、学び方を身につけたり、自主的に学ぶ態度を育てたりするレッスン構成になっている。

平成28年度使用新潟市立高志中等教育学校前期課程用推薦教科用図書

教科 発行者の番号 略称	使用 学年	教科書の 記号・番号	書名
国語 15 三省堂	1 2 3	国語729 国語829 国語929	現代の国語1 現代の国語2 現代の国語3
書写 38 光村	1-3	書写735	中学書写 一・二・三年
社会 (地理的分野) 2 東書	1・2	地理725	新編 新しい社会 地理
社会 (歴史的分野) 2 東書	1-3	歴史729	新編 新しい社会 歴史
社会 (公民的分野) 2 東書	3	公民929	新編 新しい社会 公民
社会(地図) 46 帝国	1-3	地図724	中学校社会科地図
数学 61 啓林館	1 2 3	数学732 数学832 数学932	未来へひろがる数学1 未来へひろがる数学2 未来へひろがる数学3
理科 2 東書	1 2 3	理科727 理科827 理科927	新編 新しい科学 1 新編 新しい科学 2 新編 新しい科学 3

音楽（一般） 1 7 教 出	1 2・3 2・3	音楽 7 2 5 音楽 8 2 5 音楽 8 2 6	中学音楽 1 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 上 音楽のおくりもの 中学音楽 2・3 下 音楽のおくりもの
音楽（器楽合奏） 1 7 教 出	1-3	器楽 7 7 3	中学器楽 音楽のおくりもの
美術 1 1 6 日 文	1 2・3 2・3	美術 7 2 8 美術 8 2 8 美術 8 2 9	美術 1 出会いと広がり 美術 2・3 上 学びの深まり 美術 2・3 下 美の探求
保健体育 4 大日本	1-3	保体 7 2 6	新版 中学校保健体育
技術・家庭 （技術分野） 2 東 書	1-3	技術 7 2 4	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
技術・家庭 （家庭分野） 2 東 書	1-3	家庭 7 2 4	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
英語 1 5 三省堂	1 2 3	英語 7 3 0 英語 8 3 0 英語 9 3 0	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 1 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 2 NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3

協 議 会

**教育委員会の事務の管理及び
執行状況に関する点検・評価報告書
(平成26年度対象)**

**平成27年 月
新潟市教育委員会**

— 目次 —

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況について	2
1	教育委員会会議の開催状況	2
2	教育委員会会議以外の活動状況	3
3	平成26年度の主な取組と成果	6
III	新潟市教育ビジョンの施策評価について	9
1	平成26年度施策評価一覧	9
2	主な施策・事業の評価状況	10
3	教育ビジョン推進委員からの主な意見・要望と教育委員会の対応	16

I はじめに

平成19年6月に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（以下「地教行法」という。）が一部改正され、平成20年4月から、各教育委員会において、毎年、教育に関する事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが規定されました。

本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地教行法第26条の規定に基づき、平成26年度の教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検・評価を行いました。

本報告書は、その結果をまとめたものであり、「II 教育委員会の活動状況について」では、教育委員会会議の開催状況や、会議以外の教育委員の活動状況について記載しています。

また、「III 新潟市教育ビジョンの施策評価について」は、本市教育委員会の活動の根幹をなす「新潟市教育ビジョン」の平成26年度の施策の実施状況、進捗状況等について、有識者などで構成される「新潟市教育ビジョン推進委員会」の知見を活用しながら、点検・評価を実施した内容となっています。

教育ビジョン推進委員会における施策評価の状況などについては、巻末に参考資料として掲載してあります。

【参考】

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

II 教育委員会の活動状況について

1 教育委員会会議の開催状況

○新潟市教育委員会定例会・臨時会

平成26年 4月 定例会	第22期新潟市文化財保護審議会委員の委嘱について他
平成26年 5月 臨時会	新潟市教科用図書選定委員会の委嘱について他
平成26年 5月 定例会	「アグリ・スタディ・プログラム」について他
平成26年 6月 定例会	潟東東小学校・潟東西小学校・潟東南小学校の統合に係る要望書について他
平成26年 7月 定例会	平成27年度使用新潟市立学校用教科用図書採択について他
平成26年 8月 定例会	平成26年度新潟市奨学生等の選考結果について他
平成26年 9月 定例会	平成26年度全国学力・学習状況調査 新潟市の結果について他
平成26年10月 定例会	平成25年度児童生徒の問題行動調査の結果の速報について他
平成26年11月 定例会	新設統合校（新潟市立日和山小学校）の通学区域の設定について他
平成26年12月 定例会	平成26年度 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について他
平成27年 1月 定例会	教職員の人事措置について
平成27年 2月 定例会	平成27年2月議会定例会の議案について他
平成27年 2月 臨時会	教育委員の辞職について他
平成27年 3月 臨時会	指導が不適切な教職員に関する委員会の報告について他
平成27年 3月 定例会	新潟市教育ビジョン第3期実施計画の策定について他

○教育委員会会議の公開等に関すること

- ・ 会議について 原則公開（人事案件等非公開の場合あり）
- ・ 開催案内について ホームページ・市報にいがた等に掲載
- ・ 会議案件について ホームページで案件名を事前に公開
- ・ 会議録について 会議終了後、会議速報をホームページに掲載
会議録作成後、速やかに、ホームページに掲載及び市政情報案内室において公開
- ・ 傍聴の平均人数 2.53人

- ・ 地教行法等に基づき、新潟市では毎月、教育委員会定例会及び必要に応じて臨時会を開催しており、平成26年度は15回の会議（定例会12回、臨時会3回）を開催しました。（付議事件44件、報告案件21件）
- ・ 教育委員会定例会の案件となる前に、事前に協議会などを開催し、案件について十分な検討を行っています。平成26年度は、「新潟市スポーツ推進計画第2次「スポ柳(ル)都(ト)にいがた」プランに対する意見について」などの検討を行いました。また、会議の資料については事前に教育委員に配付され、各教育委員が十分内容を把握した上で定例会に出席しており、毎回活発な意見が交わされています。
- ・ 会議は、原則公開で行われています。（人事案件等非公開の場合あり。）

2 教育委員会会議以外の活動状況

○市内視察

- 平成26年 5月 新関小学校（地域連携事業）
 平成26年 9月 大淵小学校，白根小学校（地域連携事業）矢代田小学校（マイスター公開授業）
 平成26年10月 山潟小学校（マイスター公開授業）松浜中学校（ミーティング）
 平成26年11月 女池小学校，両川小学校（マイスター公開授業）白根第一中学校，大江山中学校，
 山の下中学校，新潟小学校（ミーティング）教育相談センター（研究会）
 平成26年12月 岩室中学校，金津中学校，小針中学校（ミーティング）
 平成27年 1月 潟東中学校，潟東南小学校（統合予定校）
 ※中学校区教育ミーティング実施校を含む。

17カ所程度の学校の視察を行い，実際の教育現場の状況を把握するようにしています。
 また，視察の際は，教職員等と意見交換を行うなど，情報交換に努めています。

○行政視察（県外視察）

平成26年11月 宮城県仙台市

- ・仙台市教育委員会仙台子ども体験プラザ - Elem（エリム）
 （自分づくり教育を小学校高学年と中学生を対象に，体験型経済教育プログラムを実施）
- ・仙台市教育委員会仙台市立西中田小学校
 （放課後子ども教室事業。地域と一体となり子供をはぐくむ環境が充実，放課後等の学校施設を活用し，児童に学習・スポーツ・地域の体験活動及び交流活動等の機会を提供と，放課後児童健全育成事業を一体的あるいは連携して実施）
- ・仙台市教育委員会沖野学園（仙台市立沖野中学校）
 （自分づくり教育を小中連携により，確かな学力の向上を図るとともに，人とのかかわりを大切にしながら望ましい勤労観・職業観・自立する力をはぐくみ，社会人としてより充実した生き方を切り開いていくことを目的とした教育を実施）

- ・先進地の教育行政を参考にして，新潟市の教育行政に役立てるため，1年に1度，県外での行政視察を行っています。
- ・仙台市教育委員会の先進的な取組である体験型経済教育プログラム（仙台子ども体験プラザ - Elem（エリム）），地域と一体となり子供をはぐくむ環境を充実させる放課後子ども教室事業（仙台市立西中田小学校），他に沖野学園での取り組みを視察しました。

○指定都市教育委員・教育長協議会・他団体関係

- 平成26年 6月 第1回指定都市教育委員・教育長協議会
 平成26年 7月 新潟県市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
 平成26年10月 新潟県都市教育長協議会 秋季定期総会（新潟市開催）
 都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会
 平成27年 1月 第2回指定都市教育委員・教育長協議会

- ・ 指定都市教育委員・教育長協議会に委員長，新潟県都市教育長協議会に教育長が参加している他，その他連合会にも加盟し，他指定都市や他市町村の教育委員とも積極的に情報交換をおこなっています。

○懇談会・意見交換会

- 平成26年 7月 区教育ミーティング（中央区及び西蒲区）
 平成26年 8月 区教育ミーティング（南区及び西区）
 平成26年 9月 区教育ミーティング（秋葉区及び東区）
 平成26年10月 区教育ミーティング（北区及び江南区）
 中学校区教育ミーティング（北区）
 平成26年11月 区教育ミーティング（西区）
 中学校区教育ミーティング（南区，江南区，東区及び中央区）
 平成26年12月 区教育ミーティング（北区，中央区，東区及び南区）
 中学校区教育ミーティング（西蒲区，秋葉区及び西区）
 平成27年 1月 民間人校長との意見交換会（校長の採用から現在までを振り返り，現場での奮闘ぶりや目指す学校像と今後の課題について）
 小中学校PTA連合会との懇談会
 区教育ミーティング（江南区，秋葉区及び西蒲区）
 平成27年 2月 市長・副市長との懇談会

- ・ 教育委員会と地域との連携強化，開かれた教育委員会を目指し，各区の自治協議会委員と区教育ミーティングを年2回行いました。第1回は「教育委員会制度等について」，第2回は「地域と学校の連携について」をテーマに懇談しました。また，各区1中学校区で中学校区教育ミーティングを行いました。
- ・ 民間人校長である立仏小学校長，竹尾小学校長との意見交換の他，市長・副市長と，「平成26年度教育ミーティングについて」をテーマに懇談会を開催しました。また，PTA連合会の幹部と，テーマは特に定めずに懇談を行い，連携を深めました。

○学校周年事業等への教育委員の出席状況

平成26年 5月 新潟柳都中学校開校記念式典

平成26年 6月 笹口小学校竣工記念式典，下山小学校創立60周年・竣工記念式典

平成26年 9月 沼垂小学校竣工記念式典

平成26年10月 栄小学校閉校式典，坂井輪小学校創立40周年記念式典，岩室中学校創立50周年記念式典，浜浦小学校創立80周年記念式典，木崎小学校創立140周年記念式典，小合小学校創立50周年記念式典，臼井小学校創立20周年記念式典

平成26年11月 亀田西中学校創立30周年記念式典，有明台小学校創立60周年記念式典，鎧郷小学校創立80周年記念式典，湊小学校閉校式典，味方小学校創立40周年記念式典，豊照小学校閉校式典，入舟小学校閉校式典，中之口中学校創立50周年式典

○卒業式への教育委員の出席

平成26年 3月 万代高等学校，明鏡高等学校，高志中等教育学校，東特別支援学校，西特別支援学校

○その他の出席

成人の日のつどい，小・中学校教員採用選考検査確認，市立学校園長全体研修会，教育フォーラム，市民フォーラム等

3 平成26年度の主な取組と成果

平成26年度も教育ビジョン後期実施計画に基づき、「確かな学力の向上」、「家庭・地域の教育力の向上」、「学・社・民の融合による教育の推進」などに引き続き取り組みました。

教育委員会の主な取組と成果として、次のことがあげられます。

① 教育委員の増員と教育ミーティングのモデル実施

教育委員が区の特長や教育現場の実情を把握し、市全体の教育に活かすため、教育委員を3人増員して9人体制とし、教育長を除く8人が4人1組で4つの区を担当しました。

区担当教育委員の活動として、教育情報を地域に発信するとともに、地域の実情を把握するため、各区の自治協議会と意見交換を行う区教育ミーティングを各区で年2回モデル実施しました。

また、中学校区内のコミュニティ協議会、保護者、地域教育コーディネーター等と意見交換を行う中学校区教育ミーティングを、各区1中学校区でモデル実施し、その中学校区の教育の実情や取組などを把握し、中学校区内の地域と学校の連携を深めて、取組の向上・発展を図りました。

② 学校適正配置の推進

子どもたちのより良い教育環境の確保を目指して策定された「学校適正配置基本方針」に基づき、複式学級や教室の不足が見込まれる緊急性の高いいくつかの地域で「地域検討会」が設立されて協議を開始しています。

潟東地域では、平成28年4月に潟東東小学校、潟東西小学校及び潟東南小学校の3校を新設統合することを正式に決定しました。また、平成29年4月を目途に満日小学校を阿賀小学校に編入することを地域検討会から要望書が提出され、統合に向けた調整を進めています。

一方で、学校存続の要望のあった学校区のコミュニティ協議会とも、情報交換等を行い、今後の学校のあり方について検討を継続しています。

③ 基礎・基本を身につける教育の推進

本市独自の単元評価問題の学校向けWeb配信を継続し、その結果や分析をWeb通信で紹介し、授業改善に役立つよう促しています。

単元別の基礎的・基本的な知識・技能の習得状況を把握し、児童生徒へのきめ細かな指導に役立てることができ、全国学力・学習状況調査等の結果においても向上が見られました。

また、大学生などの学習支援ボランティアを引き続き各校に配置するなど、児童生徒一人一人の学力実態の的確な把握と、きめ細かな指導に努めました。

④ 地域と学校パートナーシップ事業の充実

学・社・民の融合による教育を推進する取組として、「地域と学校パートナーシップ事業」を引き続き実施しました。事業に伴う、地域教育コーディネーターは274名、学校支援ボランティアの活動機会は延べ51,178回、延べボランティア数は219,848人となり、学校を中心とした地域コミュニティや地域の教育力の一層の醸成が図られました。

また「地域と学校ウェルカム参観日」を市内16校で開催し、教育活動の公開、学校職員や参加者同士の交流を深めることで事業の周知と推進を図りました。

⑤ アグリ・スタディ・プログラムの取り組みの開始

昨年6月に「いくとぴあ食花」、「アグリパーク」がオープンし、学校教育田、学校教材園、近郊の農家での農業体験を合わせた教育ファームの取組を開始しました。その中心となるプログラムが「アグリ・スタディ・プログラム」です。

このプログラムは、子どもたちが知識と体験を結びつけ、実感の伴った学びを实践できるように、学習指導要領との関連を図ると共に、五感を働かせて学習課題を解決したり、仲間や農家、専門家とかかわりながら、体験を言語化、数値化、絵図化したりする学習を行うことができるように作成したものです。教育ファーム全体の取組は、市内の全ての学校で行われており、アグリパークの利用については、小学校延べ72校、中学校延べ13校でした。

今後、「アグリ・スタディ・プログラム」の活用を通して、実感の伴った確かな学びが着実に行われるよう、日頃の授業改善の取組と同様に、学習課題の設定とそれに対応したまとめに重点を置いて、教員への研修を進めていきます。

⑥ いじめに関する第三者委員会の設置

いじめ防止対策推進法の施行に伴い、本市のいじめ防止等のための基本的な方針を制定しました。この基本的な方針では、いじめの未然防止や発生した場合の調査に関して、外部人材を取り入れた「いじめ防止市民連絡協議会」「新潟市いじめ防止対策等専門委員会」「新潟市いじめ問題調査点検委員会」の3つの組織を設置しました。

委員の方々の意見を参考に、いじめの未然防止、早期発見・対応の取組を推進しています。

⑦ 第20期にいがた市民大学事業の実施

第20期目の節目を迎えたにいがた市民大学事業において、記念講座を含む全7講座を実施しました。

講座受講生や一般市民を対象とした入学式兼公開講演会では、ノーベル賞受賞者の白川英樹博士をお招きし、「私の歩んだ道～自然に学ぶ楽しさ～」と題した記念講演を行いました。

また、開設講座においては、まちづくりや、災害への備えについて考察する講座のほか、過去に実施し人気を博した「いのちの文化論」講座を、現代の時流に合わせ内容をリメイクし、20周年記念講座として開設するなど、講座内容の充実を図りました。

⑧ 新津図書館、坂井輪図書館の開館と新たなサービスの実施

新津図書館の新築・移転が完了し7月に開館、延床面積は1.8倍、蔵書収容能力は1.1倍になりました。併せて、廃止された視聴覚センターの視聴覚教材等貸出業務を引き継ぎました。

平成26年1月から開始した坂井輪図書館の耐震改修工事が終了して8月に開館し、延床面積は3倍、蔵書収容能力は1.4倍になりました。規模拡大を機に西区の中心図書館に位置付けました。

両館ともに、利用状況は従前の約3割増となっています。

上記2館について、施設拡充と業務量増加に対応するため窓口業務の民間委託を導入した他、木戸地区図書室については、蔵書を併設施設の指定管理者に移管することにより廃止するなど、効率的・効果的な運営に努めました。

また、新たなサービスとして、子ども連れで気軽に利用できる「赤ちゃんタイム」を設定した他、高齢者施設向けのテーマ図書セット（愛称「いきいきBOX」）を作成し団体貸出を始め、図書館利用の拡大を図りました。

Ⅲ 新潟市教育ビジョンの施策評価について

新潟市教育ビジョンの平成26年度の実施状況について、有識者の知見を活用した評価を以下に示します。

1 平成26年度施策評価一覧

全施策の平均 3.09 (学びの扉の平均3.03)

評価分布(評価対象60指標)

・目標を上回って達成…23.3% ・目標どおり達成…51.7% ・目標を少し下回った…23.3% ・目標を大きく下回った…1.7%

凡例
 目標を上回って達成 …4
 目標どおり達成 …3
 目標を少し下回った …2
 目標を大きく下回った…1

基本施策(14施策)	施策(62施策)		H26施策評価 (後期進捗)	
	網掛…5つの「学びの扉」に該当する施策	☆…説明に取り上げる施策		
1 確かな学力の向上	1-(1)	学ぶ目的意識をもち、将来の生き方を考える教育の推進	3.0	3.2
	1-(2)	自ら学び自ら考える教育の推進	3.0	
	1-(3)	基礎・基本を身に付ける教育の推進 ☆	3.2	
	1-(4)	学習習慣の定着と読書活動の推進	3.3	
2 豊かな心と健やかな体の育成	2-(1)	いのちの教育・心の教育の推進	2.0	2.7
	2-(2)	体験活動・ボランティア活動の支援 ☆	3.0	
	2-(3)	文化・芸術活動体験の推進	4.0	
	2-(4)	いじめ・不登校への対応 ☆	2.0	
	2-(5)	非行等への対応 ☆	2.0	
	2-(6)	体力づくりの推進 ☆	2.0	
	2-(7)	健康づくりの推進	4.0	
	2-(8)	食育の推進 ☆	3.5	
	2-(9)	青少年の居場所づくり	2.0	
	2-(10)	青少年の健全育成の推進	1.5	
3 世界と共に生きる力の育成	3-(1)	地域学習の充実	3.0	3.0
	3-(2)	国際理解教育の充実	3.0	
	3-(3)	コミュニケーション能力の育成	2.0	
	3-(4)	情報教育の充実	3.0	
	3-(5)	環境教育の充実	3.0	
	3-(6)	海外帰国子女教育・外国人児童生徒への教育の推進	4.0	
4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進	4-(1)	自立を目指す特別支援教育の推進	3.0	3.8
	4-(2)	特別支援教育のサポート体制の推進 ☆	4.0	
	4-(3)	市立養護学校のセンター的機能の充実	4.0	
	4-(4)	ノーマライゼーションの推進	4.0	
5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり	5-(1)	校種間連携の推進 ☆	3.0	3.0
	5-(2)	学校間連携の推進	3.0	
	5-(3)	幼児教育の充実	3.0	
6 人権を守り共に支え合う社会の推進	6-(1)	人権教育・同和教育の推進 ☆	3.0	3.3
	6-(2)	交流・体験活動の推進	4.0	
7 家庭教育の充実と子育て支援	7-(1)	家庭教育充実の支援 ☆	2.7	2.4
	7-(2)	子育て支援の充実 ☆	2.0	
8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実	8-(1)	主体的な学習を支えるシステムづくり	2.0	2.8
	8-(2)	学び育つ各世代への支援 ☆	2.0	
	8-(3)	地域における生涯学習活動への支援 ☆	4.0	
9 まちづくりに生かす生涯スポーツの推進	9-(1)	生涯にわたるスポーツ活動の推進	3.0	3.2
	9-(2)	競技力の向上	2.5	
	9-(3)	みる機会・交流機会の拡大	3.5	
	9-(4)	住民主体のスポーツを支える組織の構築	3.0	
10 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり	10-(1)	地域と共に歩む学校づくりの推進 ☆	3.7	3.4
	10-(2)	広報広聴活動の推進	4.0	
	10-(3)	学校・地域・NPO等の協働の推進	3.8	
	10-(4)	高等教育機関及び企業等との連携促進	2.0	
	10-(5)	子ども・保護者・地域住民の学校運営への参画	3.0	
	10-(6)	市民の生涯学習施設運営への参画	3.5	
	10-(7)	区単位での教育支援体制の整備	4.0	
11 子どもの安全確保と学校・園の安全管理	11-(1)	保護者や地域と連携した安全対策の推進	2.0	3.3
	11-(2)	安全教育の充実	4.0	
	11-(3)	安全な学校施設	3.5	
12 学校教育・生涯学習環境の整備	12-(1)	効果的な指導を支援する施設設備の整備	3.0	3.1
	12-(2)	コミュニティの拠点としての学校整備	4.0	
	12-(3)	学校施設の整備	3.0	
	12-(4)	公民館・図書館を核としたネットワークづくり	3.0	
13 市民に信頼される教育関係職員の育成	13-(1)	教育関係職員の研修プログラムの充実 ☆	3.0	2.9
	13-(2)	教職員への支援体制の充実 ☆	3.0	
	13-(3)	信頼される教職員の採用・登用	2.5	
	13-(4)	教育関係職員の人事管理の適正化	3.0	
14 ニーズと課題に応える教育行政の推進	14-(1)	教育情報の収集と発信	4.0	3.4
	14-(2)	学校を支援する新たなシステムづくり	4.0	
	14-(3)	多様な教育の機会・支援体制の整備	3.0	
	14-(4)	学校の適正配置	3.0	
	14-(5)	効率的な執行体制の整備	3.0	
	14-(6)	教育施策に対する評価の充実	3.0	

2 主な施策・事業の評価状況

「学びの扉」に該当する施策に加え、そのほかに重点的な取組を進めてきた施策を取り上げています。

1 確かな学力の向上

1- (3) 基礎・基本を身に付ける教育の推進

H26施策評価
3.2

主な事業 ・学力実態調査 ・理数大好きプロジェクト
 ・学力定着支援事業
 ・学習支援員派遣事業

●施策の目標

指標	現状	H22	H23	H24	H25	H26	H26評価
指標 1-(1) 学力調査で全国平均を上回った児童(小6・国語)の割合(%)							4
指標目標	60.8	→	→	64.0	→	65.0	
進捗状況		65.6	65.5	64.2	70.0	70.7	
指標 1-(2) 学力調査で全国平均を上回った児童(小6・算数)の割合(%)							4
指標目標	55.2	→	→	58.0	→	59.0	
進捗状況		54.1	68.9	67.8	66.2	73.4	
指標 2-(1) 学力調査で全国平均を上回った生徒(中3・国語)の割合(%)							2
指標目標	63.5	→	→	67.0	→	69.0	
進捗状況		60.5	61.4	67.6	65.9	67.3	
指標 2-(2) 学力調査で全国平均を上回った児童(中3・数学)の割合(%)							4
指標目標	53.4	→	→	55.0	→	56.0	
進捗状況		53.7	52.1	54.2	59.3	62.8	
指標 3 評価問題を活用している学校数(校)							3
指標目標	—	32	64	173	173	172	
進捗状況		171	173	173	173	172	
指標 4 学習支援員の派遣数(人)							2
指標目標	156	164	172	180	183	183	
進捗状況		154	193	159	173	164	

【学びの扉】

継続した授業改善の取組により、学力調査で、多くの児童生徒が全国平均を上回った。

・全国学力調査の全国平均を上回った児童生徒の割合で、小学校算数では、前年度と比べて7.2%、中学校数学では、3.5%向上した。

・教員の指導力向上を図るため、受講対象者を絞り込んだ研修会や全国学力・学習状況調査の結果を基にした授業改善研修会の実施、指導主事学校訪問で授業改善について具体的な指導を行った結果、ほとんどの教科で学力が向上した。

・算数・数学の単元評価問題、解説、補充問題の配信を継続してきたことから、算数・数学の学力が向上した。

・学校支援ボランティアでは、活動に携わる学生数は昨年とほぼ同数であるが、活動に長期的に取り組む学生が増えた。

2 豊かな心と健やかな体の育成

2- (2) 体験活動・ボランティア活動の支援

H26施策評価
3.0

主な事業 ・子ども農山漁村交流プロジェクトの推進
 ・子ども体験活動・ボランティア活動推進事業

●施策の目標

指標	現状	H22	H23	H24	H25	H26	H26評価
指標 1 子ども農山漁村交流プロジェクト参加校の割合(%)							2
指標目標	93	97	97	100	100	100	
進捗状況		95.6	93.8	100	100	94.6	
指標 2 ジュニアリーダー育成講座の修了者数(人・累計)							4
指標目標	0	30	40	50	60	70	
進捗状況		16	111	151	176	266	

【学びの扉】

ほとんどの小学校が、自然体験学習や集団宿泊体験学習に取り組んだ。

・子ども農山漁村交流プロジェクトでは、自然体験学習や集団宿泊体験学習に、ほとんどの小学校で事業に取り組んだ。

・土日や夏休み期間を中心に、家庭ではできない集団活動やキャンプなどの野外活動、ものづくりなどの生活体験活動を実施し、異年齢や学校の違う子どもたちの仲間づくりを推進し、青少年の健全育成を図った。

2-(4) いじめ・不登校への対応

H26施策評価
2.0

主な事業 ・教育相談ネットワーク事業
 ・カウンセラー等活用事業
 ・不登校等未然防止プロジェクト

●施策の目標

指標 1 いじめの解消率(%)							H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	72	78	84	100	100	100	
進捗状況		81.7	82.4	80.1	83.9	78.8	
指標 2 30日以上欠席した児童生徒数(人)							H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	848	減少	→	→	→	→	
進捗状況		747	743	719	666	681	

30日以上欠席した児童生徒数が若干増加した。

・区教育支援センター，教育相談センター，訪問教育相談員，区教育相談室などの関係機関で不登校に関する情報を共有し，不登校の未然防止に向けた意識を高めた。

・管理職，主任層を対象とした「自律性と社会性をはぐくむ生徒指導」推進のための研修会を年間を通して実施することで，新潟市が推進する生徒指導の浸透を図った。

・生徒指導ガイドブックやリーフレットを全教職員に配付し，学校訪問等で，いじめや不登校を生まない学校・学級づくりの重要性を指導した。

2-(5) 非行等への対応

H26施策評価
2.0

主な事業 ・非行防止対策事業
 ・中学校非行防止体制の充実
 ・非行対策サポート事業

●施策の目標

指標 1 非行・暴力事故の解消率(%)→H25評価から発件数の減少							H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	70	80	85(338)	減少	減少	減少	
進捗状況		82.0	85.0(338)	240	288	362	

予防的な生徒指導の推進により，非行等の未然防止を図った。

・非行・暴力事故は，平成19年以降は減少傾向にあったが，平成25年度以降は増加傾向に転じた。

・SSW，SSTの派遣により，問題行動が深刻化する前の対応ができた。

・管理職，主任層，指導主事などを対象とした「自律性と社会性をはぐくむ生徒指導」推進のための研修会を年間を通して実施することで，課題解決型だけでなく予防的な生徒指導を推進した。

2-(6) 体力づくりの推進

H26施策評価
2.0

主な事業 ・体力向上ジャンプアップ推進事業
 ・体力向上・運動大好きプロジェクトの推進
 ・中学校部活動エキスパート・サポーター活用事業

●施策の目標

指標 1 中学校の体力テスト各項目で全国平均値を上回った項目の割合(%)							H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	59.3	61.0	63.0	65.0	67.0	67.0	
進捗状況		75.0	66.7	47.9	50.0	52.1	

【学びの扉】

新潟市の児童生徒の体力は高い水準を維持している。

・「体力向上ジャンプアップ」について，各学校から実施計画を集約し，各校の実践の参考となるよう印刷配付した。

・文部科学省の中央研修「子どもの体力向上指導者養成研修」への派遣教員による実技講習を，幼・小・中すべての校種の教諭を対象に実施し，幼児から生徒までの体力づくりを進めた。

・部活動エキスパートを52校延べ76人，サポーターを26校延べ48人派遣し，運動部活動の活性化を図った。

2-(8) 食育の推進

H26施策評価

主な事業 ・「食に関する指導」推進事業 ・学校給食の充実事業
 ・学校と家庭との連携・協力事業
 ・中学校スクールランチ推進事業

3.5

【学びの扉】

●施策の目標

指標 1	児童生徒の朝食欠食率(%) (朝食を全く・ほとんど食べない割合)						H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	3.9	2.0	1.5	1.0	0.5	0	
進捗状況		3.0	1.1	1.2	1.5	1.4	
指標 2	給食の残食量の減少(%)						H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	4.0	3.8	3.6	3.4	3.2	3.0	
進捗状況		5.0	3.7	4.2	3.3	2.8	
指標 3	地場農林水産物の使用率(%) (食材数ベース)						H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	14.5	15.0	15.0	15.0	15.0	15.0	
進捗状況		14.7	15.5	15.8	15.5	15.8	
指標 4	肥満傾向の児童生徒の割合(%)						H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	8.30	8.25	8.20	8.15	8.10	8.00	
進捗状況		7.56	7.10	6.90	7.01	6.82	

朝食欠食率、給食の残食量、肥満傾向の児童生徒の割合が、低い水準を維持している。

・継続した食に関する指導や健康教育の取組により、指標の朝食欠食率や給食の残食量、肥満傾向の児童生徒の割合が、低い水準を維持している。

・学校給食の充実では、ご飯を基本とした地域の食材を使った栄養バランスのよい日本型の食事(完全米飯給食)を引き続き推進した。地場産食材の使用率もさらに向上した。

4 自立と社会参加を目指した特別支援教育の推進

4-(2) 特別支援教育のサポート体制の推進

H26施策評価

主な事業 ・特別支援教育の相談支援事業
 ・特別支援教育ボランティアシステム

4.0

【学びの扉】

●施策の目標

指標 1	特別支援教育サポートセンターによる校内委員会支援延べ件数(件)						H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	—	220	230	230	240	240	
進捗状況		391	423	536	433	473	
指標 2	特別支援教育ボランティアの登録者数(人・累計)						H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	82	110	115	120	125	125	
進捗状況		151	197	241	267	172	

特別支援教育サポートセンターが核となり、学校や保護者の支援に努めた。

・特別支援教育サポートセンターが核となり学校や保護者の相談支援を行った。
 学校からの支援依頼 369件
 保護者からの相談 63件
 (※電話相談も含む)

・特別支援教育ボランティアを募集し、登録した172人のうち、99人が学校・園で活動し、配慮を要する児童生徒の支援にあたった。

5 校種間・学校間連携を活かした特色ある学校・園づくり

5-(1) 校種間連携の推進

H26施策評価

主な事業 ・幼・小・中連携・一貫教育の推進
 ・中学校・高等学校教員交流

3.0

【学びの扉】

●施策の目標

指標 1	課題解決のための一貫した指導計画を作成した中学校区の割合(%)						H26評価
現状		H22	H23	H24	H25	H26	3
指標目標	20	40	60	80	90	100	
進捗状況		46.0	67.0	83.3	90.0	100.0	

9カ年を見通し、一貫した指導計画をすべての中学校区で作成した。

・幼・小・中学校連携推進会議を開催し、前年度の実績を踏まえた計画を立てるとともに、連携推進の方向性を検討した。

・すべての中学校区において、小・中一貫した指導計画を立て、教育活動を行った。

6 人権を守り共に支え合う社会の推進

6-1) 人権教育・同和教育の推進

主な事業 ・人権啓発事業
 ・公民館の人権教育
 ・人権教育・同和教育の推進
 ・男女平等教育の推進
 ・子どもの権利条約の啓発

H26施策評価
3.0

●施策の目標

指標 1	人権同和教育研修会の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	152	175	201	231	266	300	
進捗状況	165	312	291	780	311		
指標 2	公民館の人権教育事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	3,073	3,100	3,200	3,300	3,400	3,500	
進捗状況	2,750	3,234	2,939	3,817	3,341		
指標 3	外部講師による人権教育・同和教育に関する校内研修を実施した学校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	60	85	110	135	160	185	
進捗状況	111	155	204	248	309		

各種研修会の実施により、人権・同和教育の充実が図られた。

・人権同和教育研修会に、指標目標を上回る市職員・教職員311人が参加した。また、公民館では、男女共同参画講座や人権講座、国際理解講座を実施し、多数の市民の参加を得た。

・人権教育、同和教育に関する校内研修への講師派遣事業を継続し、小・中学校合同(中学校区を指定)での研修会等を支援した。この研修会等により人権教育、同和教育への理解を深めることができた。

7 家庭教育の充実と子育て支援

7-1) 家庭教育充実の支援

主な事業 ・家庭教育振興事業
 ・「家庭と地域の教育力」調査・研究事業

H26施策評価
2.7

●施策の目標

指標 1	子育て学習出前講座の実施か所数(か所) (小・中学校など)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	110	112	114	116	118	120	
進捗状況	106	111	106	113	116		
指標 2	各種家庭教育学級の実施か所数(か所) (プレママ学級を除く)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	48	49	50	51	52	52	
進捗状況	52	54	55	58	58		
指標 3	プレママ学級の実施か所数(か所)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	3	3	3	5	5	5	
進捗状況	4	5	5	5	5		

【学びの扉】

子育て学習出前講座実施か所を増やし、家庭教育充実の支援に努めた。

・朝ごはん料理講習会の実施 参加者 959人

・子育て学習の出前講座の実施(小・中学校) 参加校 116校

・乳幼児期等家庭教育学級及びプレママ学級の実施 参加者 9,031人

・家庭教育フォーラムの実施 参加者 166人

7-2) 子育て支援の充実

主な事業 ・子育て支援事業

H26施策評価
2.0

●施策の目標

指標 1	子育て支援事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	5,625	5,700	5,800	5,800	5,900	6,000	
進捗状況	5,757	5,802	5,569	5,737	5,781		
指標 2	子育てフリースペース等の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	13,266	13,500	13,500	14,000	14,000	15,000	
進捗状況	14,412	11,690	10,783	12,282	11,492		
指標 3	保育者研修会の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	259	260	270	280	290	300	
進捗状況	237	274	306	261	263		

【学びの扉】

子育て支援事業及び保育者研修会の参加者が漸増した。

・子育て中の親子を対象に、絵本の読み聞かせや親子遊び等を実施した。新規事業の開催や事業内容の見直しにより、参加者が漸増した。

・公民館等の16箇所子育てフリースペースを開設して、親の悩みを相談できる場の提供を行った。

・気軽に子どもを連れて出かけることができ、子育てに関する情報交換の場として、子育てに不安やストレスの解消に役立っている。

8 生涯を通じて学び育つ学習機会の充実

8- (2) 学び育つ各世代への支援

主な事業 ・ビジネス支援講座 ・にいがた市民大学開設事業
 ・アクティブシニア支援事業 ・現代的課題を学ぶ公民館事業
 ・学習成果を発表する場の提供 ・子どもの読書環境の整備
 ・子どもが読書に親しむ機会の充実 ・ビジネス情報提供事業

H26施策評価
2.0

【学びの扉】

●施策の目標

指標	にいがた市民大学の受講者数(人)→定員に対する受講者の割合(%)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	506	500	500	95	95		
進捗状況	406	420	429	96.0	84.5		
指標	公共図書館における児童書の貸出冊数(冊)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	1,056,000	1,126,000	1,162,000	1,181,000	1,200,000	1,220,000	
進捗状況	1,063,000	1,099,900	1,099,500	1,046,300	1,042,000		
指標	公共図書館で実施する子ども・親子対象事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	17,300	18,500	19,000	19,600	20,250	20,900	
進捗状況	22,700	19,980	15,700	16,500	18,000		
指標	ビジネス支援調査の相談件数(件)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		2
指標目標	210	270	300	360	390		
進捗状況	340	340	250	347	377		

市民の学習活動の場の確保に努めた。

・にいがた市民大学は、専門性の高い講座や時代の変化や市民の学習ニーズに対応した講座を合計7講座開設した。

・児童書の貸し出し冊数が、指標に達しなかったが、公共図書館での12歳以下の子ども1人あたりの貸出冊数は、5年間で2.5%増加した。

・ビジネス関連事業では、起業・経営相談会(36回)やビジネス支援セミナー、データベースセミナーなどを開催した。ビジネス支援調査の相談件数が過去最多となった。

8- (3) 地域における生涯学習活動への支援

主な事業 ・地域学関連事業
 ・地域コミュニティ活動活性化支援事業

H26施策評価
4.0

【学びの扉】

●施策の目標

指標	地域学関連事業の参加者数(人)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	2,977	3,500	3,700	4,000	4,500	5,000	
進捗状況	3,193	3,799	5,176	6,148	6,994		
指標	公民館と連携事業を実施するコミュニティ協議会のか所数(か所・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	24	26	28	30	32	36	
進捗状況	41	54	60	65	67		

全区で地域学関連事業が実施され、学びと学びの還元を通じて地域のネットワークづくりが図られた。

・各区の歴史や文化・自然を学ぶ講座を企画・実施し、地域づくりに結び付ける学習につなげた。

・コミュニティ活動活性化支援事業では、各館が地域団体と連携し、超高齢・少子社会に対応する事業・イベントを実施した。地域のつなぎ役となるコミュニティコーディネーターの育成講座を全区で実施した。

10 学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくり

10- (1) 地域と共に歩む学校づくりの推進

主な事業 ・地域と学校パートナーシップ事業
 ・ふれあいスクール事業
 ・学校開放事業

H26施策評価
3.7

【学びの扉】

●施策の目標

指標	地域教育コーディネーターの配置校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		3
指標目標	64	104	→	→	→	171	
進捗状況	105	139	158	173	172		
指標	ふれあいスクール事業の実施校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	43	47	51	54	57	60	
進捗状況	47	51	57	62	68		
指標	公民館出前型事業の実施校数(校・累計)						H26評価
現状	H22	H23	H24	H25	H26		4
指標目標	32	32	36	36	38	40	
進捗状況	35	56	73	87	106		

すべての市立学校に配置された地域教育コーディネーターが地域と共に歩む学校づくりを推進した。

・市立の全校(172校)に配置された地域教育コーディネーターの資質向上を図るため研修会を実施した。また、一般市民に事業趣旨の理解や参画意欲の醸成を図るため、地域と学校ウェルカム参観日を16校で実施した。

・子どもふれあいスクール公民館出前型事業は、運営主任や地域教育コーディネーターが連携を取り、新規校を含め66校で実施され、地域と学校がつながるきっかけとなった。

13 市民に信頼される教育関係職員の育成

13-（1）教育関係職員の研修プログラムの充実

H26施策評価

3.0

【学びの扉】

主な事業 ・マイスター養成塾等スキルアップ研修の推進
 ・学社民融合研修の推進
 ・社会教育主事の養成の推進

●施策の目標

指標	各研修講座における受講者の満足度(%) (充実した研修だったかをA,B,C,Dの4段階で評価したときAと答えた受講者の割合)						H26評価
指標 1	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	80	80	80	80	80	80	
進捗状況		84.5	88.3	86.6	85.8	88.4	
指標 2	マイスター養成塾の修了者数(人・累計)						H26評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	47	60	70	80	90	100	
進捗状況		57	66	78	90	102	
指標 3	学社民融合研修の受講者数(人)						H26評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	437	503	578	636	699	770	
進捗状況		1,104	745	839	1,126	749	
指標 4	社会教育主事講習の修了者数(人・累計)						H26評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	36	39	42	45	48	50	
進捗状況		37	33	35	37	41	

研修プログラムの改善により、講座受講者の満足度が目標を上回った。

・前年度に引き続き、研修後の受講者満足度が目標を大きく上回った。指導主事が直接学校に出向いて研修を開催する「出前研修」の申込みは前年度31件から140件に増加し、校内研修の活性化に寄与している。

・マイスター養成塾では、他の模範となる優れた教師力をもつマイスター教員養成のため、指導主事がマンツーマンで指導を行い、1年目受講者12名全員が終了し、7名がマイスターに認定された。

13-（2）教職員への支援体制の充実

H26施策評価

3.0

【学びの扉】

主な事業 ・支援を要する教職員の研修
 ・教職員ヘルスケアシステム
 ・多忙化解消対策の推進

●施策の目標

指標	支援を要する教職員の人数(人)						H26評価
指標 1	現状	H22	H23	H24	H25	H26	3
指標目標	30	減少	→	→	→	→	
進捗状況		25	21	17	16	15	
指標 2	教職員の病気休暇・退職者の人数(人)						H26評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	2
指標目標	108	減少	→	→	→	→	
進捗状況		108	87	89	103	128	
指標 3	放課後に子どもと接する時間が1週間あたり5時間以上の教員の割合(%)						H26評価
	現状	H22	H23	H24	H25	H26	4
指標目標	18.5	19.0	20.0	—	—	—	
進捗状況		25.8	49.7	58.7	64.7	64.2	

多忙化解消の取組により、教員が子どもと接する時間が高い割合で保たれている。

・総合教育センターと連携し予防的研修を行うことにより、支援を要する教員が漸減した。

・教職員ヘルスケアシステムによる研修や過重労働者に対する保健指導を実施しているが、23年度以降、増加傾向にある。

・管理主事訪問や校長面談を通じ、全学校園で多忙化解消の取組状況の把握と指導を行った。

3 教育ビジョン推進委員からの主な質問・意見・要望と教育委員会の対応

施策1－(3) 「基礎・基本を身に付ける教育の推進」

○ 外部の方と学校と一緒に学習支援に取り組んでいることは大変評価しているが、学習支援員の派遣数が伸びない状況にある。学習支援員、学校支援ボランティアの派遣数の改善に向けての取組を進めてほしい。

⇒ 学習支援員は、おもに大学生による学習支援ボランティアの人数である。募集方法は、新潟大学、青陵大学、県立大学の3校に、小・中学校から要望があったという掲示（校名を明示）を行い、学生のニーズと学校側のニーズが一致した場合に派遣するというようなシステムになっている。指標目標は、全小中学校に配置を目安として183人となっているが、実際は、各大学の学生の住居が西区や中央区近辺に偏っており、交通手段等の問題もあり、派遣できない学校もあることが課題である。派遣可能な範囲では多くの学生が学校に入っており、派遣校においては、子どもにも教職員にも大変好評である。課題については、27年度開始のアフタースクール支援事業の展開により解決を進めていきたい。

施策2－(8) 「食育の推進」

○ 児童生徒の朝食欠食率が1.4%という数字が出ている。今、子どもの貧困について大きな社会問題となっているが、この1.4%というのは、教育委員会では、どのような子どもたちが朝食を食べていないのだとらえているのか。食育推進の中で、子どもたちの基本的な生活習慣を確立する上で、朝食というのはとても大事である。貧困が原因の子どもたちへのサポートは福祉と連携していかなければいけないと思うがいかがか。

⇒ 1.4%の中に、どのくらいの割合で、経済的な理由による朝食の欠食が含まれているのかは把握していない。今後、関係課とも情報を共有し、食育のさらなる充実に向けての連携を検討していきたい。

施策3－(3) 「コミュニケーション能力の育成」

○ 後期進捗の評価は厳しい結果となったが、ALTの派遣システムからいって、これ以上の数値向上は大変難しい。現場は一生懸命やっていると思うので、指標目標の設定の工夫が必要である。

⇒ 指標目標の設定については指摘のとおりである。今後、英語については、ALTの指導力と数の確保、教員の英語力の向上、指導法の改善といった切り口から検討し、中学校長会からも協力していただきながら取組を進めていきたい。

施策 3－（４） 「情報教育の充実」

○ タブレットを活用できる教員の育成という面から、学校へのタブレット整備が必要である。タブレットを入れるという条件整備、さらにそれを使う教員育成という、教育の基盤整備にかかわる部分の予算等について十分な措置を講じてほしい。

⇒ タブレット型コンピュータについては、平成 26 年度から、小・中学校 1 校あたり 10 台の基準で配置を始め、小学校 2 校で 20 台、中学校 7 校で 70 台、合計 90 台整備した。今後も予算をにらみながら、配置を進めていく。

施策 4－（２） 「特別支援教育のサポート体制の推進」

○ 特別な支援が必要な子どもたちに対するサポートとして、区教育支援センターがどのような役割をしているのか。また、入学支援ファイルの活用状況はどのようなものか。

⇒ 教育支援センターは昨年度より全 8 区に設置され、教育の相談窓口として、指導主事が配置されている。特別な支援を必要とする子どもの相談窓口としての機能もあり、そこで、解決しなければ、より専門的な機関へ紹介するという形をとっている。入学支援ファイルについては、校長会を通して、その意味、価値について説明し、活用を十分図るように校長に指導している。ただ、課題として、今は、年長児からだが、なるべく早い段階（3 歳児）からスタートすることが可能なかどうかということ、関係課と情報交換をして検討していきたい。

施策 7－（２） 「子育て支援の充実」

○ 新潟市では、昨年 12 月に、新すこやか未来アクションプランということで、子ども子育て支援新制度に対応した計画が出たばかりだが、新教育ビジョンとの関連はどのようなものか。

⇒ 新プランの作成段階から教育委員会も部会に入って、一緒に策定してきた。新教育ビジョンでは、保育園や福祉サイドとも連携しながら幼児教育を進めていくというところで、幼保小の連携として位置付けられている。特に幼稚園、保育園のこども園化というところは、福祉サイドとの検討がスタートを切ったところである。

施策 8－（２） 「学び育つ各世代への支援」

○ 図書館は、学校図書支援としてオレンジ BOX を設けたということで、大変、すばらしい取組だと思っている。もし可能であれば、社会教育支援という形で BOX を考えることはできないものか。

⇒ 今でも公民館の講座で要望があれば、そこに、一緒に入っている図書館なりから資料を提供している。その都度いろいろな資料があるので、BOX をあらかじめ作って提供するのがあるのか、それとも、その講座ごとに要望を聞いて、その都度本を揃えて提供するのがあるのか検討したうえで、これから取り組んでいきたい。また、要望が多ければ、家庭教育の BOX なども考えていきたい。

施策10－(1) 「地域と歩む学校づくりの推進」

○ 大都市校長会での情報交換の中で、新潟市のように、地域教育コーディネーターを全校に配置をしているところは大都市の中にはなかった。新潟市は大変進んでいると思っている。ただ、社会教育施設の持っているポテンシャルを、学校が十分に活用できていないのではないか。公民館、図書館、美術館、博物館、様々な施設と、もっと学校が手をつないでいく必要がある。新教育ビジョンでも、ぜひここを大きく取り上げてもらいたい。

学校と社会教育施設との連携のほかに、社会教育団体であるPTAとの連携、NPOとの連携も模索し、様々な資源の活用が進むとよい。

⇒ 公民館においては、学・社・民融合支援主事、支援担当者を各館に配置して、地域教育コーディネーターが相談しやすい体制をとっている。今後も、学校や社会教育団体等との連携を深めていきたい。

施策13－(1) 「教育関係職員の研修プログラムの充実」

○ 新潟市の高校の授業改善について、アクティブラーニングが一つのキーとなるが、高校における現状を聞きたい。また、アクティブラーニングでは教師の技量が求められている。そうしたときに、マイスター同士でプロジェクトを組んで、よりよいものを授業で作るなどの取組を進めてほしい。

⇒ 新潟市立高校の場合は、教育委員会の学校訪問の際、アクティブラーニングの手法を繰り返し指導し、その必要性は高校現場でも感じてもらっている。これからも繰り返し、継続的に指導していきたい。高校は、どうしても出口指導である大学進学に関する授業が中心的になる傾向がある。ただし、今後、大学入試制度改革に応じて、高校でもアクティブラーニングによる資質向上を目指していく必要があると考えている。

マイスターの活用については、今年度からの新たな取組として、校内研修や市の小・中学校の教育研究協議会へマイスターチームによる授業づくり支援、マイスターチームによる指導案検討等を始めている。

参考資料 新潟市教育ビジョン推進委員会平成26年度施策評価経過

No.	開催会議等	開催年月日	協議内容等
1	第26回推進委員会	平成26年 2月12日(水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度主要事業について 次期教育ビジョンについて
2	第28回推進委員会	平成26年 10月29日 (水)	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度施策実施状況について(中間評価) 新潟市教育ビジョン第3期実施計画(案)について
3	第30回推進委員会	平成27年 5月26日(火)	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度施策評価について

新潟市教育ビジョン推進委員会(第4期)委員名簿

任期：平成24年4月1日～平成26年3月31日

No.	氏名	所属
1	岩田 すみ江	横越小学校長
2	梅津 威	公募委員
3	岡 昌子	北新潟地域づくり学会副代表
4	川端 弘実	白新中学校長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護福祉心理学部教授
6	眞谷 誠祐	元新潟市小中学校PTA連合会会長
7	宮蘭 衛	新潟大学教育学部教授

新潟市教育ビジョン推進委員会(第5期)委員名簿

任期：平成26年4月1日～平成28年3月31日

No.	氏名	所属
1	石坂 学	鳥屋野中学校長
2	岩田 すみ江	山田小学校長
3	大宮 一真	新潟市小中学校PTA連合会会長
4	高橋 文子	新潟県生涯学習協会事務局長
5	中村 恵子	新潟青陵大学看護福祉心理学部教授
6	松下 久美子	公募委員
7	宮蘭 衛	新潟大学教育学部教授